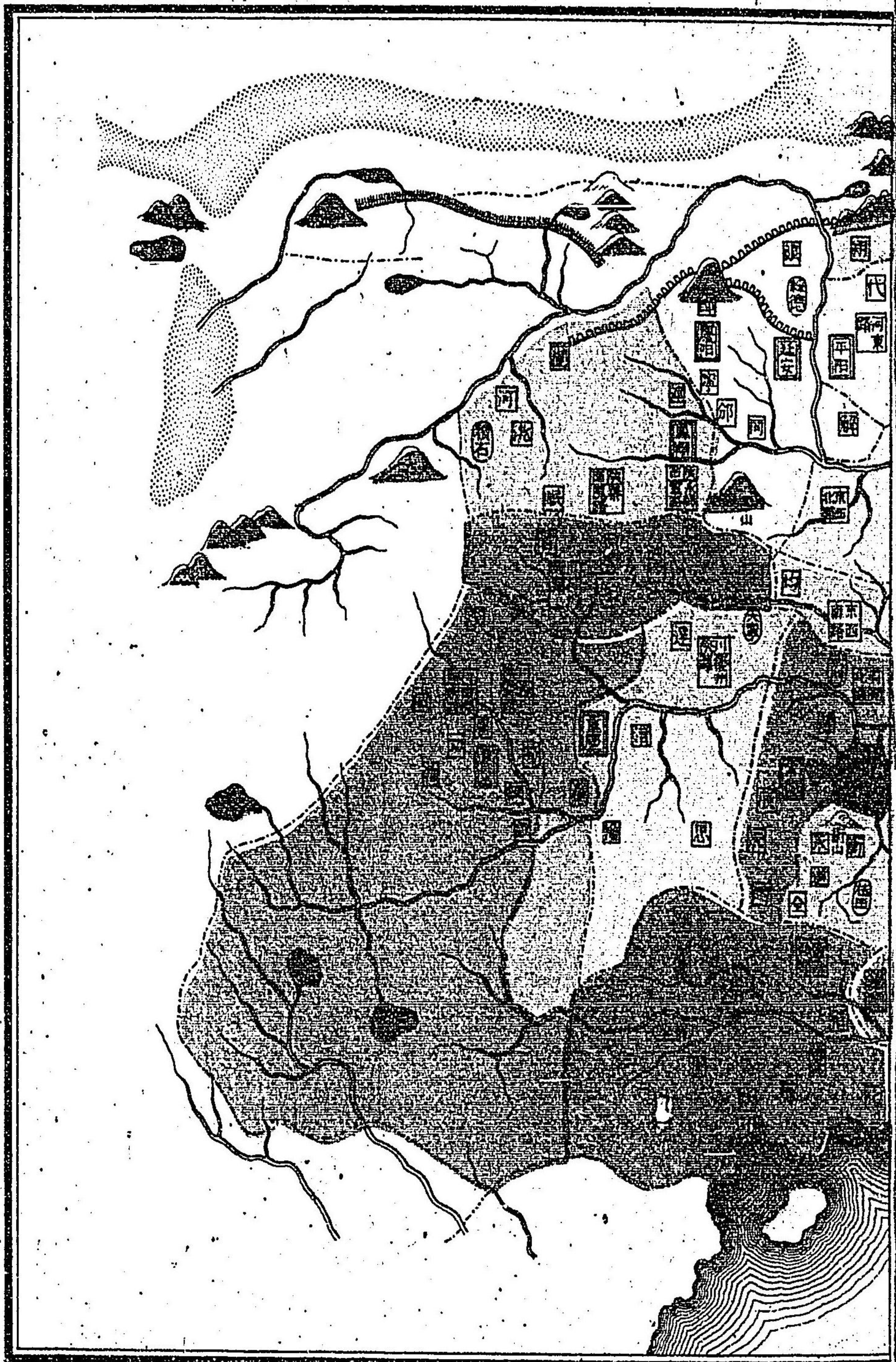


特 20  
162



海國圖志卷之二十一 地海圖 329

宋沿革圖



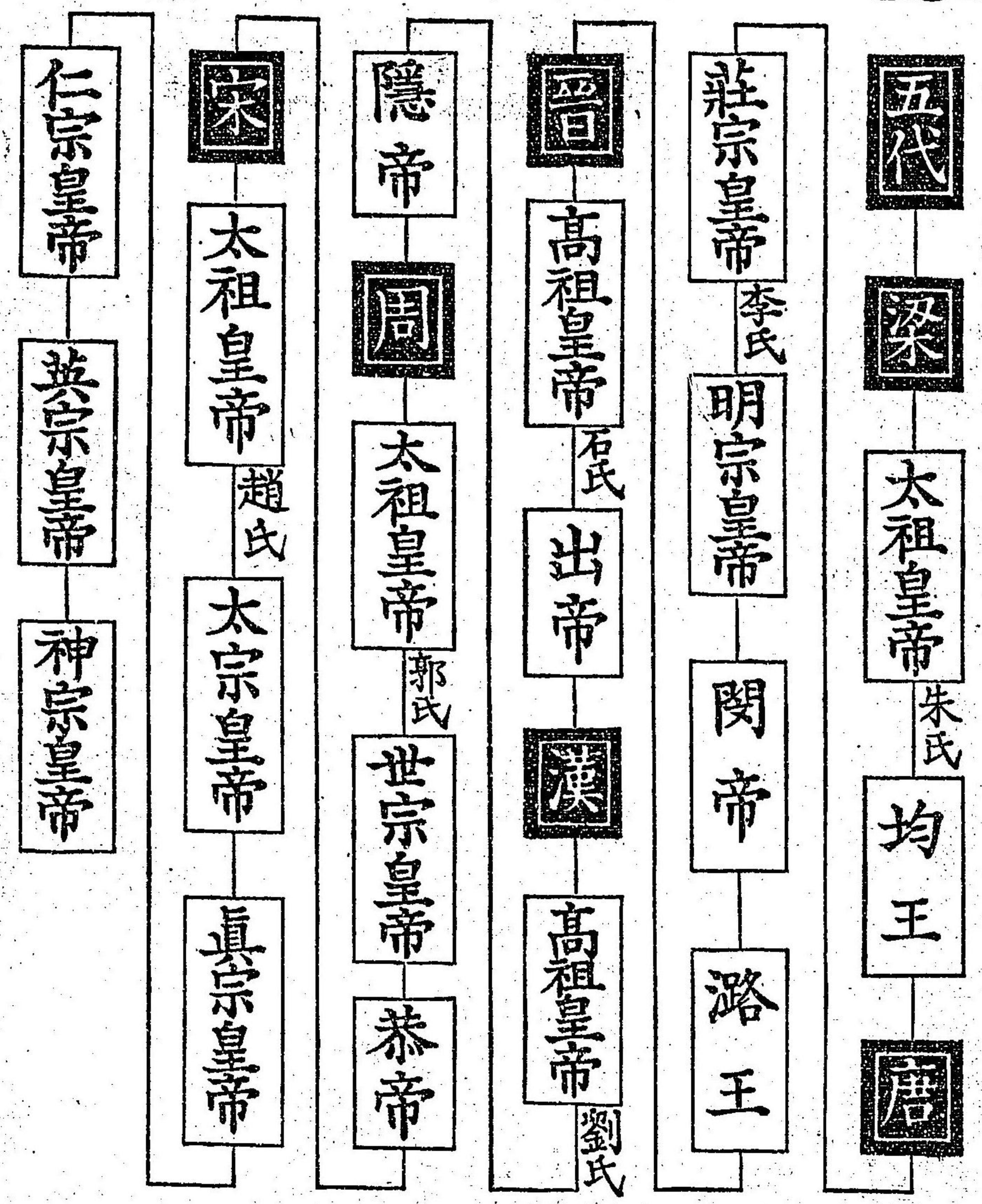
# 宋之圖

例凡

- 監
- 軍
- 路
- 府
- 州
- 諸路界



歷代國號統

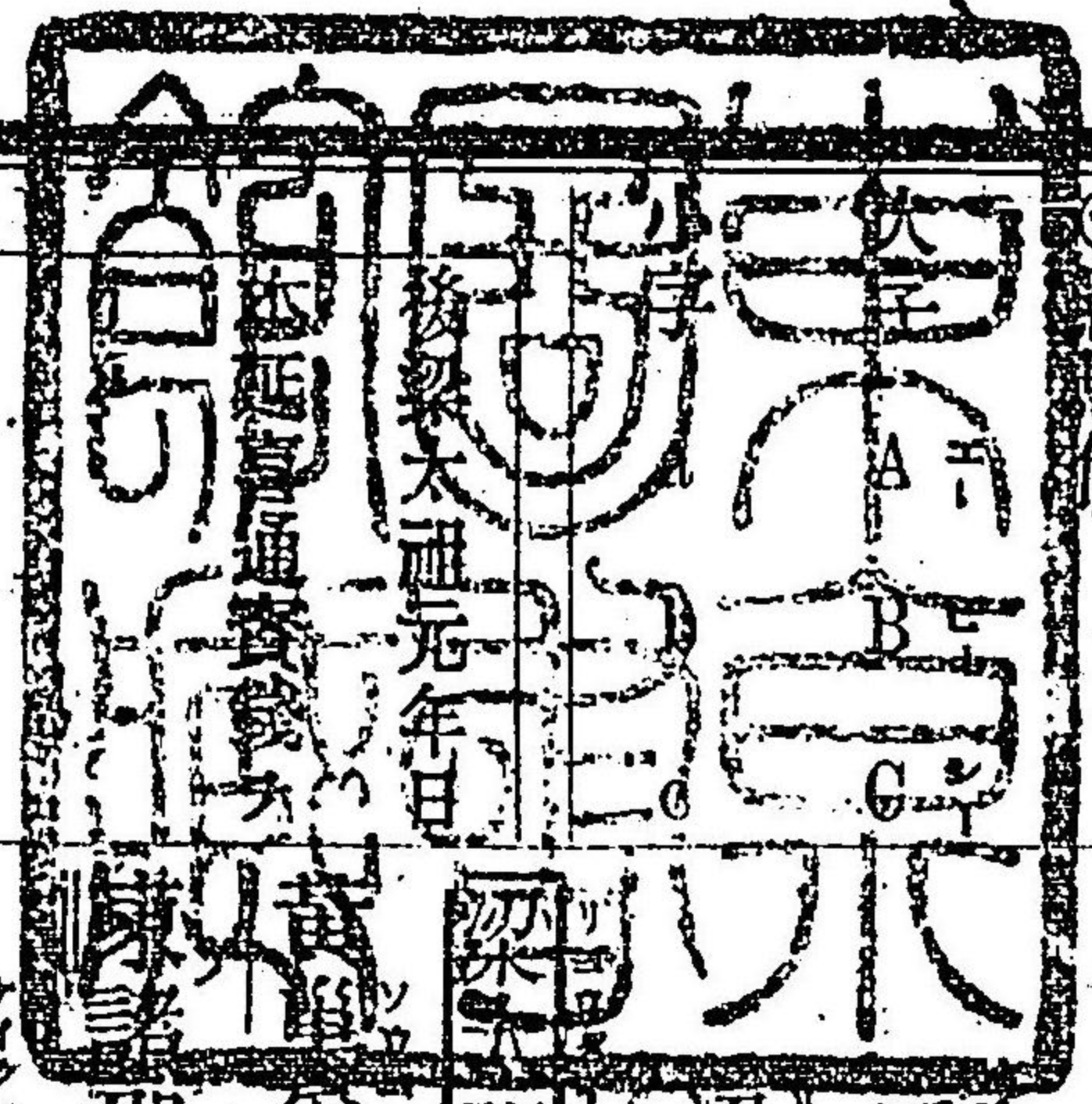


文書門 其二

繪入 十八史略釋義卷之六

菊池三溪 校閱

在大阪 藤江卓藏 口述  
門人 小西兵之助 筆記



日本左大臣時平  
薨ス始メテ御影  
供ナ行フ

D 系  
E イ  
F 弓  
G シ

五代  
梁 世ニ後梁ト云フ、ノチ 唐、晉、漢、周、皆ラナシ

祖皇帝初名温姓朱氏。碭山人。朱五經之子也。少無賴。從 爲盜。降唐。賜名全忠。初鎮汴。攻併徐州。兗州。鄆州。攻河北。河 南。諸郡。屢與李克用交兵。尋取河中。晉絳。用兵華岐。東降青州。南 取荆襄。橫行諸鎮。間劫遷唐都於洛。遂篡唐。更名晃。封其兄全 昱爲王。嘗罵之曰。朱三汝作天子。邪。汝從黃巢作賊。天子用汝 爲四鎮節度使。何負於汝。奈何滅唐家三百年社稷。自爲帝王。 行當族滅矣。

梁太祖皇帝初名温。姓朱氏。碭山人。朱五經之子也。少無賴。從 爲盜。降唐。賜名全忠。初鎮汴。攻併徐州。兗州。鄆州。攻河北。河 南。諸郡。屢與李克用交兵。尋取河中。晉絳。用兵華岐。東降青州。南 取荆襄。橫行諸鎮。間劫遷唐都於洛。遂篡唐。更名晃。封其兄全 昱爲王。嘗罵之曰。朱三汝作天子。邪。汝從黃巢作賊。天子用汝 爲四鎮節度使。何負於汝。奈何滅唐家三百年社稷。自爲帝王。 行當族滅矣。

梁太祖皇帝

d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
エイ	アイ	ゼイ	ケイ	イ	ジ	ケイ	キ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ

竊盜ヲナシタリシ、唐ノ國ニ降参シテ全忠ト名ヲ賜リタリ、最初汴州ヲ守ル、徐、兗、郟ノ三州ヲ押領シ、又々河北、河南ノ地ヲ攻メテ、毎々李克用ト云フ人ト(交兵)互ニ戰討ス、マヽヽイテ河中、晉、絳ノ三州ヲ攻メ取リ、兵卒ヲ華州岐州ニ出シ、東ノ方青州ヲ服從シ、南ノ方荆、襄二州ヲ手ニ入レ、衆蕃鎮ノ間ニ(横行)我がカマ、氣盛ニアルキマハル、(劫奪)天子ヲオトシカケテ、無理ニ唐ノ都洛陽ニ遷カヘ、ツイニハ唐都ヲ篡ヒテ天子トナリ、名ヲ見ト改メ、世兄ノ全昱ヲ封シテ王トナス、或ル并全昱カ(馬)太祖ヲ周ツテ曰フ、朱三ヨ(太祖)第三男ナルヲ以テ朱三ト呼ブ(汝)天子トナルツモリカ、汝(黃巢)ニツキ盜ミヲナス、天子ハ汝ヲトリ用ヒテ四州ノ節度使トシタ、汝ニ取テハ過分ノ譴ニテ、何ノ汝ニ負カルコトアツテ、其方ニワルキシムケカアラフヤ、然ルニ汝ハドウシテ唐ノ家三百年モツキシ國家ヲツブシ、自分氣マ、ニ天子トナルン、行末ハ一族ヲ併セ誅滅セラル、ニ至ルヘシト

是時李克用王晉李茂貞王岐楊行密爲吳王王淮南行密已卒子渥代之王建王蜀錢鏐王兩浙王潮據閩已卒弟審知代之馬殷據湖南劉隱據廣皆自唐末以來

割據諸州 當時李克用ハ晉ニ據テ王ト稱ヘ、李茂貞ハ岐ニ據テ王ト稱ヘ、楊行密ハ吳王ト名乗テ、淮南ニテ王ト稱セシガ、行密ハ前ニ死テ、其子渥ト云人カ相續ス、王建ハ蜀ヲ有シ、錢鏐ハ(兩浙)浙ト云江ノ東西ノ兩地ニ王トナリ、王潮ハ閩ニ據リ、先ニ死ス、其弟審知カ代テ其地ヲ領ス、馬殷ハ湖南ヲ有シ、劉隱ハ廣ヲ領ス、各皆唐ノ末ヨリコノ方、諸國ニ(割據)立テコモル

○蜀主王建稱帝 蜀主ノ王建ガ天子ト號ス ○晉王李克用卒初克用有養子曰存孝最驍勇有功養子存信疾而諧之存孝懼禍而叛克用討獲

ダブルユー	W	X	Y	Z	Z	草体	大字	小字
エツタス	X	Y	Y	Z	Z	○草体	A B C	a b c
ワイ	Y	Y	Y	Z	Z	○草体	D E F G H	d e f g
						○草体	I J K	i j k
						○草体	L M N O	l m n o
						○草体	P Q R S	p q r s
						○草体	T U V	t u v
						○草体	W X Y	w x y
						○草体	Z	z

囚歸惜其才意臨刑必有爲之請者諸將疾其能竟無一人言遂死又有薛阿檀亦勇密與存孝通恐事泄自殺自是克用兵勢寢弱唐未數爲汴人所攻失數州汴兵直抵晉陽城下克用登城備禦不遑寢食後汴兵再圍晉陽以疫還克用幾欲走會汴兵去而止克用不能與汴人爭者累年悒悒以至於卒子存勗立時梁兵侵晉圍潞州晉李嗣昭閉城固守踰年梁築夾寨守之存勗與諸將謀曰朱溫所憚者先王耳聞吾新立以爲童子必有驕怠之心若簡精兵倍道趨之出其不意取威定霸在此一舉不可失也帥兵發晉陽伏三垂岡下且乘大霧直抵夾寨填塹擊鼓譟而入梁兵大潰遂解潞圍

晉主李克用死去シタ、以前克用ニ養子アリ、存孝ノ手柄アリ、養子ノ存信ガニクシク用ヘワルツケシタ、存孝皆メヲ恐レテホシシタ、克用討テ、捕獲シテ歸ル、(惜其才)チエハタラキノ人ニスグレタルヲ惜ミ、心ニオモフニハ、仕置ノ際、誰カ生命ヲ請フ者アラフト、他ノ諸將ハ存孝ノ才能ヲソシミ、竟ニ誰一人モ生命ヲ請ヒ願フ者ナク、遂ニ刑ニ死

イ	ニ	三	四	五	六	七	八	九
イ	ニ	三	四	五	六	七	八	九
イ	ニ	三	四	五	六	七	八	九
イ	ニ	三	四	五	六	七	八	九

ス、又薛阿檀ト云者アリ、此人モ勇氣勝レタリ、内々存孝ノムホシノ相談ニ預ル、専ノ露見シタルヲ配シテ自害ス、是カラシテ克用ノ軍兵ハ(慶強)追々衰ヘタ、(世ノ末タビク)汴人ニ攻メラレテ、(朱敷州)刑洛磁、汝等ヲ取ラレ、汴ノ兵卒直ニ晉陽ノ城下ニ攻メ抵ル、克用城ニホリテ(備禦)フセキノ手立ヲナス、(不進)食子オキ食事ヲスル間モナクイソカハシ、其後汴ノ兵再度城下ニ攻メ入りシニ、疫病流行ノタメ引取ル、克用オホクニ城ヲ棄テ逃レントセシニ、汴兵ノ引去ニアロテヤメタ、克用汴兵ト競ヒ拒マフデキヌ、幾年ナリ、(怛々)シソバシテ樂マズ遂ニ死シタ、子ノ存助繼テ王トナル、時ニ梁ノ兵ガ晋ヲ攻メ、潞州ノ城ヲ圍ム、晋ノ昭義軍ノ節度使李嗣昭ハ城ヲ鎮シテ固クマモリ(贖年)一年ヲスギタ、梁(夾寨)城ヲトリマロテドリテテラ染イテマモル、存助諸將ト相談シテ云ニ、朱温ノ恐ル、所ハ、(先王)親父克用バカリナリ、我始メテ嗣立ヘルヲキカバ小兒トミナシテ、キヅト(驕意)タカプリユダシアルニタカハス、其片モシ(節精兵)熱練シタル兵卒ヲヨリヌキ(倍道)ニ日路ヲ一日ニユキ、(趨之)潞州ヘユキ、其油斷ノ場所ヲ討タバ、(取威定霸)武威ヲ立テ大名ノ頭トナル此一仕事デキマル、時節ハ失フテハナラヌト、兵卒ヲ引ツレ晋ノ都ヲ發足シ、三垂岡ト云フ山下ニ兵ヲ隱シ、朝ノ大霧ニ附入り、スゲ取手ニ迫リ、掘ヲウメ、(鼓譟)時ノ聲ヲ舉ゲテ攻メ入、梁ノ兵(大潰)大ニ列ヲクズシミダレ逃ク、遂ニ(淮南)將張顛徐温弒楊渥温復殺顛將吏推立楊隆演徐温自領昇州而以養子徐知誥往治之、淮南ノ大將張顛、徐温が國主揚渥ヲ殺シタ、温ガママ顛ヲ殺シタ、(將吏)武將官更ガ楊隆演ト云フ人ヲ推シ尊シテ王トス、徐温自分ヨリ昇州ノ守トナリ、養子ノ徐知誥ヲ遣シ政事ヲトラシメタ ○梁以王審知爲閩王、梁主ガ審知ヲ以テ閩王トス ○梁以劉守光爲燕王守光者盧龍節度使仁恭之子也先是囚其父而自領軍府、梁ノ劉守光ニ命シ燕王トス、守光ハ盧龍ノ節度使仁恭ノ子テアル、是ヨリマヘカタ父仁恭ヲ押込、自分ニ軍務所ヲ統轄ス ○梁夏州亂殺節

7	seven	七	4	four	四	1	one	一
8	eight	八	5	five	五	2	two	二
9	nine	九	6	six	六	3	three	三

度李彝昌以其族父仁福代之夏州李氏本姓拓跋上世自唐賜姓鎮久矣、梁ノ夏州ニ内亂ガオキタ、節度使ノ李彝昌ヲ殺シ、其(族父)父ノマタイトコノ仁福ヲ以テ代リトス、此ノ人ハ夏州ノ李氏ナリ、本姓ヲ拓跋トシフ、(上世)ハカシ唐國ヨリ今ノ姓ヲ賜ヒ、鎮守ヲ守ル、多年テアル ○廣州劉隱卒弟巖代之、廣州ニ立テコモル劉隱ガ死シテ、弟巖代リ立ツ ○劉守光稱燕帝、劉守光ガ燕帝ト稱ス ○鎮州王鐸定州王處直推晉王爲盟主梁攻鎮州襲取諸郡晉王伐其兵於柏鄉大破之晉帥二鎮伐燕梁求救之大敗走歸、鎮州ノ王鐸、定州ノ王處直ガ俱々晋王ヲ推シ尊シテ(盟主)約束ノ頭領トス、梁ノ兵ガ鎮州ヲ攻メ、不意ヲウチ附屬ノ諸郡ヲ押領ス、晋王存勗梁ノ兵ヲ柏鄉ト云處ニテ伐チ取り、大ニ其兵ヲヤブル、晋(二鎮)鎮州、定州ノ兵ヲ引ツレ燕國ヘ伐チ入ル、梁主兵ヲ出シテ援フ處ガ、大敗(オホホロニヤブレテ)ニケカヘル 先是梁主已有疾至是慙憤曰我經營天下三十年不意大原遺孽更昌熾如此、先是、梁主已有疾至是慙憤曰我經營天下三十年不意大原遺孽更昌熾如此、 吾觀其志不小我死諸兒非彼敵也吾無葬地矣疾愈劇且加躁怒愛假子友文之妻將立友文爲嗣遂爲其子友珪所弒在位六年改元者二日開平乾化初以汴州爲東都開封府洛陽爲西都遷都洛陽者凡四

16	シキムチーン sixteen	十六	13	スアーチーン thirteen	十三	10	テン ten	十
17	セブンチーン seventeen	十七	14	フォルチーン fourteen	十四	11	エレヴン eleven	十一
18	エイチーン eighteen	十八	15	フィフチーン fifteen	十五	12	ツエルヴ twelve	十二

40	フォーティ forty	四十	22	トゥエンティツワ twenty two	廿二	19	ナインチーン nineteen	十九
50	ファイフティ fifty	五十	23	トゥエンティ スリー twenty three	廿三	20	トゥエンティ twenty	二十
60	シキスディ sixty	六十	30	スアーティ thirty	三十	21	トゥエンティワン twenty one	廿一

年友珪自立尋伏誅均王立。是ヨリサキニ梁主派ニカ、ル、是ノ時ニ及ンテ、(愍憤)十年ナリ、(不惑)オモロノホカニ(大原)晋ノ都ノ(遺孽)季氏ノヒコバヘニテ即チ存助ガ、又モ(昌熾)イキホヒサカシナルカヤウデアアル、吾其リヤウケンヲハカルニ、(不小)尋常ナラス、我レ死シタナラバ、我兒等ハ彼ノ存助ニハアヒテニナレヌ、(吾無葬地矣)我國ハカノ晋ニ押領セラレフノ葬地モナキト、疾ヒタシク、ニオモクナル、其ウヘ(躁怒)氣ガミシカクテヨク立腹ヲナシ、(假子)ツレ子友文ノツマラカアイガリ、友文ヲ以テ嗣トセントス、(遂)トウク、子ノ友珪ニ殺サレタ、天子ノ位ニアル、六年、年號ヲカヘタル、開平ト云ヒ、乾化ト云フ、初メニ汴州ヲ東都開封府トナシ、洛陽ヲ西都トナス、都ヲ洛陽ニ遷シテカラ都合四年間ナリ、友珪自ラ王トナル、ツマイテ友貞ニ刑殺セラル、均王友貞ガ立テ帝トナル

均王名友貞初爲東都指揮使友珪篡弒起兵誅之而即位於汴。更名瑱。均王ノ名ヲ友貞ト云フ、初メ(東都)汴州ノ政事ノ指揮官ニ任セラル、友珪ガ位ヲウバヒ父ヲ殺スニ及デ、兵ヲ起シ之ヲ刑殺ス、而シテ汴ニテ帝位ニツキ、名ヲ瑱ト改ム

○晋王入幽州執燕劉仁恭及守光歸斬之。晋王存勗ガ攻メテ幽州ヘ入り、燕ノ劉仁恭ト守光トヲ執ラヘ歸リ、代州ニテ斬リ殺シタ

○梁賜荆南節度使高季昌爵爲王。梁主ガ荆南ノ節度使高季昌ニ爵位ヲ賜ヒテ王トス

契丹阿保機稱帝古東胡種也其國先在橫山南本鮮卑舊地元魏時自號契丹初太賀氏有八子號八部大人推一人爲主三歲一代唐開元中有邵固者統衆詔許襲王 至是諸部以耶律幹

里少子阿保機爲主并奚渤海諸國始建元不復受代國人謂之天皇王。契丹ノ阿保機ガ帝ト稱ス、(古東胡種也)此ノ者ハ昔シ東シノ種類デアアル、其國以前ニ橫山ノ南ニアリ、元ト鮮卑ノ舊キ土地ナリ、元魏ノトキ、自ラ契丹ト號ス、初メ太賀氏ニ八人ノ子アリ、(八部大人)ハ部落ノ頭領ト稱ス、内一人ヲ立テ、王トス、三歲毎ニ一回ツ、代ル約東ナリ、唐ノ開元ト云年號ノ片、固邪ト云者アリ、(統衆)部衆ヲトリス、唐詔ヲ下シ相襲テ代々王トナルト云ル、是ニ至テ(諸部)モロクノ組々ガ耶律幹里ノ末ノ子阿保機ヲ立テ、王トス、(奚渤海諸國)支那本部ヨリ東北邊ニアルクニ、テ并セトリテ、始テ年號ヲ立テ、復タビ交代ヲセス、其國人ハ之ヲ天皇王ト稱フ

○廣州劉巖稱越王已而稱帝改國號曰漢后又更名。廣州ノ劉巖ガ越王ト稱ヘ、其ノ子帝ト稱シ、クニ

○吳徐温徙治昇州以徐知誥入輔吳政。吳ノ徐温ガ徙テ昇州ニ政治ノ府ヲ立テ徐知誥ヲ以テ呼ビ入レテ政事ヲ手傳セシム

○蜀主王建殂子宗衍立。蜀主ノ王建ガ死シテ、子宗衍ガ立テテ位ニツク

○吳主楊隆演卒弟溥普立。吳主楊隆演死シテ、弟溥普代リ立ツ

以錢鏐爲吳越國王。梁ノ錢鏐ヲ以テ

○晋與梁連歲交兵梁魏州降于晋。晋與梁連歲交兵、梁魏州降于晋

不克而還攻鎮定營晋帥敗之鄆攻魏州晋王又敗之梁又遣兵襲晋陽晋人擊鄆之晋克衛磁洛相邢滄貝州掠濮鄆梁人决河以限晋晋王攻拔其四

梁均王

七十	セブンティ	七十	百	70	one hundred	ワン	ハンドレッド
八十	エイティ	八十	二百	80	two hundred	ツウ	ハン ドレッド
九十	ナインティ	九十	三百	90	three hundred	スリー	ハン ドレッド

寨已而大學伐梁戰于胡柳晉周德威敗死晉王収兵復戰大破  
 梁軍晉築德勝南北兩城梁攻之不克梁招討王瓚爲晉所敗梁  
 河中降晉鎮州將弒趙王王鎔晉王討平之先是吳蜀屢書勸晉  
 王稱帝晉王自謂先王有遺言當務復唐社稷既而得傳國寶  
 於魏州將佐皆賀勸進不已遂即帝位於魏國號唐遣李嗣源襲  
 取梁鄆州梁以王彥章爲招討唐主戒德勝守者曰王鐵槍勇  
 決謹之彥章果拔南城進拔諸寨至楊劉力攻不克而退梁遣  
 彥章攻鄆唐主救之梁敗彥章死唐以源嗣爲前鋒五日入大梁  
 梁主猶慮諸兄弟乘危謀亂盡殺之尋命其下殺已在位十一  
 年改元者二曰貞明龍德梁自太祖稱帝至是二世一十七年而  
 亡晉國八梁國下每年互二兵ヲ以テ戰フ梁ノ領地ナル魏州ハ晉國ニ降參シタ、晉王魏國へ入込、  
 德州瀋州ヲスキ取ル、梁ノ將劉鄩ヲ晉陽ヲツイニウチシ、戰ロカタズシテカヘル、鎮定二州ノ陣

1000000	ワン ミリヤン	百萬	1000	ワン サウ センド	one thousand
	one million		10000	テン サウ センド	ten thousand
			100000	ハンドレッド サウ センド	hundred thousand

所ヲ攻メタ、然ルニ晉ノ兵ニ敗ラル、鄆州ハ魏州ヲ攻メ、晉王又其軍ヲ敗ツタ、梁王又兵卒ヲツカハシ  
 テ晉ノ鄆城ヲ襲ハシム、晉兵サカ討ニオホカヘス、晉ハ鄆、磁、洛、相、邢、洹、貝ト云フ諸州ニ討チ勝  
 チ、漢、鄆ト云地ヲカスメトル、梁人ハ河水ヲキリ落シテ晉兵ノミカタヘコラレスヤウシキリナスル、  
 晉王攻メテ其四ツノトリテヲ拔キトル、ソレヨリシテ大軍ヲ引ツレテ梁國ヲ伐チ、胡柳ト云フ地ニ合  
 戰ス、晉ノ將周德威ト云フ人戰ロ敗レテ死シタ、晉王(收兵)兵ヲマツメテテフタ、ビタ、カロ、大ニ梁  
 ノ軍勢ヲ伐チ破ル、晉ハ德勝ト南北ノ城トヲ築ク、梁ハ之ヲ攻メテ利ヲ得ズ、梁ノ招討ノ官王瓚ハ晉  
 ノ爲メニ敗ラル、梁ノ河中郡ハ晉ニ降參シタ、鎮州ノ將趙王鎔ヲ殺シタ、晉王其亂ヲ討チ平ク、  
 是ヨリサキ兵蜀ビタ、書面ヲ差上ケテ晉王ノ帝位ニ即クヲナス、ム、晉王自分ニ思フニ先王ノ克  
 用ニハ(遺言)イ、オキノ言アリ、(常務)ナシテモ義務ヲ以テ唐ノ國家ヲ興サント、トヤカクスルウチ  
 (傳國寶)天子ノ寶玉ヲ魏州ヨリ手ニ入レタ、(將佐)將帥佐官ノコラズ慶ヲ奉リ、即位ヲス、メテオカ  
 ス、遂ニ天子ノ位ニ魏ニ於テ即ク、國ヲ唐ト號ス、李嗣源ヲ遣シテ梁ノ鄆州ヲウチイリトラス、梁ヨ  
 リハ王彥章ト云フ人ヲ以テ、招討使トシテ拒マシム、唐王ハ德勝ノ守兵ニイマシメテ曰フ、王鐵槍ハ  
 (此ノ時)人彥章ヲ呼ンデ鎗槍ト云フ(勇決)勇冠アリ決斷ヨシ、ヨクツ、シンデ守レト、彥章アソ  
 如ク南城ヲ拔キ取リ、猶モ攻コンデ多クノトリテ取ル、揚鎗ト云城ニ至リ、ワトメテ其城ヲ攻メ  
 カコムニ、利ヲ得ズシテ引トル、梁主又彥章ヲヤツテ鄆ヲ攻メ取ルコトヲ命ス、唐主鄆ヲ援フ、梁ノ兵敗  
 北シテ彥章死ス、唐ヨリ嗣源ヲ以テ先鋒ノ將トナシ、五日ヲヘテ大梁ノ城下ヘセマイル、梁主ヤハ  
 リ(諸兄弟)友誼友能ガアヤウキニツケコムホシナ起スカト心配シテ、殘ラズ殺シテ、後其臣下ヘ  
 云ロ付ケ己レヲ殺シメタ、天子ノ位ニ居ルコト十一年ナリ、年號ヲカヘル二度、貞明ト云ロ、龍德ト云フ  
 梁太祖ガ帝ト、ナヘテヨリ、コノ片マデ二代ニテ、年號ハ十七ケ年デ亡ビタ

唐莊宗皇帝

唐莊宗皇帝名存勗沙陀人也本姓朱邪先世立功賜姓李父克  
 用有勇略一目微眇號獨眼龍爲唐平黃巢立大功王于晉與朱

do r da テ ci サイ bu ヲ be ヲ o \* a エ  
 du ヲ de テイ co コ ea ケ bi ヲイ u ヲ e イ  
 fa ヲ di ヲイ cu キ ce シ bo ヲ ba ヲ i ヲイ

ju ヲ je シエ ho \* ha ~ gi ガイ fu ヲ fe フ  
 ka ナ ji シヤイ hu ヲ he ヒ go ヲ ga ナ fi フイ  
 ke \* jo シヨ ja ヲ hi ナイ gu ヲ ge ヲ fo フ

氏爲仇暮年頗爲所蹙憂形於色存勗幼進言曰朱氏窮凶極  
 暴人怨神怒極將斃矣吾家世襲忠貞大人當遵養時晦以待  
 其衰奈何輕爲沮喪使群下失望乎克用說臨終立爲嗣謂其  
 下曰此子志氣遠大必能成吾事年十七嗣晉王位即舉兵破梁  
 解潞圍自是連勝梁祖歎曰生子當如李亞子吾兒豚犬耳  
 名存勗ト云フ、沙陀ト云地ノ人ナリ、本姓ヲ朱邪ト云フ、先代武功ヲ立テ、姓ヲ李ト賜ハリ、其父克  
 用ハ武勇謀略アリ、一ツノ目(微眇)カシチナリ(號獨眼龍)ト云フ、其子存勗ト云フ、唐ノタメニ  
 巢ヲウチトシ、大ナル手カララテ立テ晉ニ王トナル、(朱氏)梁ノ太祖トアガカテキヲナシ、(暮年)宋ノ  
 トシヨホトホト共ノタメニ(盛)土地ヲトリテ、心配カ顔色ニ見ヘル、養子ノ存勗若年ナカラ  
 ス、ミ出テテ云フニ、朱氏ハ(窮凶極惡)アシキトヲナシトケ、アラキトヲナス、(人怨神怒)人モ天モ  
 恨ミイキドツル、(極將斃矣)惡シキトノハテハ自然ニ斃レルデアアル、吾代々(忠貞)忠義ノタメニ  
 道ヲ積ミカサヌル故、(大人)尊父(遵養時晦)時ニ隨ヒ身ノ善行ヲ守リ其才智ヲカクシテ、カレノ衰運  
 ヲ待タレヨ、トウシテ存勗ニ(沮喪)氣ヲフルクシテ衆人ノ志望ヲオトサシメヤト、ソコデ克用ハヨ  
 ロコブ、死ニギハニナツテ存勗ヲ世嗣ニ立テ、其家來ニツケテ曰フ、此ノ子ハ氣力テカオホキクテ、キ  
 ヲトヨク吾ガ事業ヲナシトゲント、年十七歳ニテ晉王ノ位ヲツギ、スグサマ兵卒ヲ引ツレ梁國ニ打  
 リ、潞ノ圍ミヲハラトク、ソレカラ毎度戰ニカツ、梁ノ太祖タシシクン日フ、子ヲ生ムナラバナシ  
 モ李亞子(存勗)小名ナリ)ノ様ナル子ヲ生マナラヌ、吾ガ兒ハ(豚犬)アタイヌ同様マニアラヌ

存勗東併幽州北卻契丹南與梁夾河百戰先是晉陽監軍故唐

宦者張承業爲晉王撝拾財賦召補兵馬攻戰連年接應不乏皆  
 承業力承業意在復唐宗社聞王將稱帝力諫知不可止慟哭  
 曰諸侯血戰本爲唐家今王自取之誤老奴矣悒悒成疾而卒  
 王即位改晉爲唐奉唐祀入汴滅梁都大梁已而遷潞陽侍中郭  
 崇韜有謀畧佐唐主成業至是權兼內外謀猷規益竭忠無隱薦  
 引人物他相受成而已  
 (叔存勗ハ東ノ方幽州ヲトリコミ、北ハ契丹ヲオホシリゾケ、南ハ  
 (夾河)河ヲ隔テ(梁河南ニ在唐河北ニアリ)、タビク合戦ス、コ  
 レヨリ以前晉陽ノ軍目付モトノ唐ノオクツトメノ役張承業、晉王ノタメニ(撝拾財賦)人民ヘカケル  
 軍用ノ金銀ヲトリ繼メ、(召補兵馬)兵卒軍馬ノ不足ヲツノリアツメテ、攻メタ、カフ「毎年ナレモ、  
 (接應)不之)兵糧ナド賸入賈ヲ取り續ケテタヘヌ、此レハ皆承業ノホ子オリナリ、承業ノ心ハ唐ノ國家  
 ヲ元ノ如クカヘスニアリ、(王)存勗ガ帝トナラシムルヲ聞テ、イケン申入レトモキ、入レヌヲ知  
 テ、(慟哭)キビシク避ラアゲテカナシミテ曰フ、諸大名ノ(血戰)血マシレニナツテ戰フハ、モト唐家  
 ノ興復ノ爲メニスルナリ、今王ニハ自分カラ天下ヲトル、(誤老奴)オホタル僕ヲアザムキタリト(悒  
 々)ウレヘカ病氣ノ原因トナリテ死タ、存勗位ニツキ晋ヲ改メテ唐ト云フ、(奉唐祀)唐先代ノ祭祀ヲ  
 修ム、汴ヘ打入り梁ヲ亡ボシ、大梁ニ本城ヲ定ム、ソレヨリシテ洛陽ヘ遷リカハル、(侍中)ンバッキ  
 ヤク郭崇韜(謀畧)ヨキハカラヒ智エアリ、唐主ヲタスケテ帝業ヲナス、コノ片ニナリ權威ガ(内外)朝  
 廷及ヒ鎮台ニフルヒワタル、(謀猷規益)ハカリ「モクロミ事ノ取計ヲヒアリ、(竭忠無隱)忠義ノ心腹  
 願スルナク(薦引人物)ヨキ人ヲヒキアゲル、外  
 ○荆南高季興入朝季興者季昌

唐莊宗皇帝



pa ni mu me lo la ki  
 pe no na mi lu le ko  
 pi nu ne mo ma li ku

之改名也唐以為南平王荆南ノ高季興ガ入朝シタ、季興ハモトノ名ヲ蜀主王  
 行盤遊淫酒國亂盜起唐遣皇子繼岌與郭崇韜伐之遂滅蜀  
 帝降唐赤其族繼岌信讒殺崇韜而還蜀主王行、盤遊淫酒ニサンバカリシテ  
 盜賊ハ起ル、唐主皇子ノ繼岌ト郭崇韜ヲヤツテ伐チ平ラケ、遂ニ蜀ヲ亡ボシテ、王行降參シタ、唐赤  
 其族行ノ一族殘ラズ殺シ盡シタ、繼岌及人ノツル  
 唐以孟知祥為西川節度使唐孟  
 節度使トシタ  
 唐帝自克梁後寔驕首以伶人為刺史帝幼習音律  
 或時自傳粉墨與優人共戲優名謂之李天下嘗自呼曰李天下  
 李天下優人敬新磨遠前批其頰帝失色新磨徐曰理天下只一  
 人尙誰呼邪帝悅諸伶出入宮掖侮弄搢紳群臣憤疾莫敢出  
 氣亦有反相附託納貨展轉以干恩澤盡政害人恣為讒慝  
 帝疎忌宿將不恤軍士數出遊獵蹂踐民田上下咨怨魏博將成  
 瓦橋代歸復遣留屯貝州遂作亂奉趙在禮入據鄴都唐遣將李

ti su se ro ra que po  
 to ta si ru re qui pu  
 tu te so sa ri quo qua

嗣源討之至城下軍士大譟曰將士從主上十年百戰以得天下  
 今貝州成卒思歸主上不赦從馬直數卒喧競遽欲盡誅其族  
 我輩初無叛心但畏死今欲與城中合勢拔白刃擁嗣源入城城  
 中不受外兵逆擊之皆潰嗣源詭辭得出將召兵攻亂者安重  
 誨曰公為元帥不幸為凶人所劫不若星行詣闕見天子庶可  
 自明嗣源乃南趨相州諸者奏嗣源已叛嗣源上章自理退  
 不得通始疑懼石敬瑭曰安有上將與叛卒入城而佯日得保  
 無恙者乎大梁天下都會願先往取之始可自全康義誠曰主  
 上無道軍民怨望公從衆則生守節必死嗣源乃以散塘為前  
 鋒李從珂為殿引兵入大梁唐主如關東聞嗣源已據大梁諸軍  
 離叛神色沮喪歎曰吾不濟矣即命旋師從馬直郭從謙帥兵攻

yo	ya	xi	wu	we	vo	va
yu	ye	xo	xa	wi	vu	ve
za	yi	xu	xe	wo	wa	vi

帝於汜水唐主中流矢而殂稱帝僅三歲而遇弒改元者一日同  
 光伶人歛樂器覆屍而焚之嗣源聞之痛哭乃入洛陽百官上賤  
 勸進不許又三請嗣源監國乃許之繼而自蜀歸途聞內難至長  
 安自殺監國立是為明宗皇帝  
 少ヨリ(音律)音ノ曲ヲ習ヒ、或ハ時トシテ自分ニ(粉墨)オシロヒヤ眉ズミチヌリツケテ(優人)ヤク  
 シヤト云ク(アソビ)ハイ名ヲ李天下ト云フ、(唐ノ姓)李ト理ト音通ス(嘗テ)自分カラ李天  
 下々々ト呼ブ、優人ノ敬新磨忽チ進ミ出テ天子ノ顔ヲク、帝ビツクリシテ顔色チカヘタ、新磨  
 ソロ／＼ト云フ、天下ヲ治メルハ只帝一人ナリ、然ルヲ二度マデ天下々々ト、今一人ハ誰ヲ呼ブ  
 ザ、帝悦ビテ怒リ解ケタリ、諸樂人(宮掖)オクムキニ出入シ、(侮辱)レキ／＼ノ貴官ヲアナトリ  
 ナブル、多クノ臣下ハ怒リニクム、然レテ散テ(莫出)イキモ出サズ默シテオル、マタ反テ(相附託)  
 ソレニ付キソフテ賂ヒテ贈リ、(展轉)ソレカラコレト段々手ツルヲ以テ(子恩澤)ヲカケ仕合ヲ願  
 ヒ、(惡政)人(政事)ヲソコナヒ、人民ヲシヒタゲ、ホシイマ、ニ(讒惡)善ヲアクニ言ヒ、ヒソカニ惡事  
 ナナス、帝(宿將)舊キ大將ヲ(疎忌)ウトミキラフテ、軍士ヲ心シテ惡マヌ、タビ／＼(讒惡)出テ、民ノ田  
 畑ヲ(蹂躪)フミアラス、上ニ奉職スル人モ下ニ家業スル民モ(容怨)ナケキウラム、魏博ノ大將ガ瓦  
 礮ニ關門ヲ固メ守リ、交代ヲ受ケテ歸ル、又タモ命シテ貝州ニ永留メ屯セシム、遂ニ叛亂ヲナシ、趙在  
 禮ヲ推シテ帥トス、攻メ入テ魏都ニ立テコモル、唐主大將ノ李嗣源ヲシテ討チ平ケセシム、帥兵ハ魏  
 都ノ城下ニ至ル片、軍士トモ大ニサハギテ云フ、大將ヤ士卒ハ(主上)天子ニ從フ十年之間ナリ、其  
 中幾度モ戰闘シテ以テ天下ヲ手ニ入レタ、今貝州ノ守ノ兵ガ都ヘ歸ルヲ願フ、然ルニ主上許可ナラ  
 ヌ故、從馬直(莊宗)諸軍驍勇者ヲエランテ魏都トナス、是レヲ從馬直ト號ス、兵卒ガ(喧嘩)互ニカマ  
 ビスシクサハグナリ、遂ニ彼ノ衆ヲ殘リナク誅死セント欲ス、我々初ヨリ叛ク心ナシ、但誅死ヲ畏ル  
 故、今マ城ニコモル兵ト力ヲ合セント思フト云ヒツ、(白刃)刀ヲ拔テ嗣源ヲ取り圍ミ、城中ヘ入込

oc	ac	ib	zu	ze
uc	ec	ob	ab	zi
ad	ic	ub	eb	zo

ム、城中ノ兵ハ外ヨリ入込ム夫ヲ受ケ付ケヌ、逆ニ擊拂フ、外兵皆敗散ス、嗣源(詭辭)ウマク趙在禮ヲ  
 イツハツテ城外ヘ出ルヲガテキタ、敗兵ヲアツメテ叛亂者ヲ或メ落サント思フ、安重誨ガ云ニ、公ハ  
 總大將ナリ、不仕合ニツル者ノ爲メ却サレタ、(星行)朝早ク夜ノアケヌ内ニイソギ、(詣闕)朝廷ヘ出  
 テ天子ニ見ヘ、本意ヲ申上ルヨリ外ニ衛ハナシ、嗣源ソコテ南ノ方相州ヘ趨リ歸ル、(譯者)ワルツケ  
 スルモノガ奏聞スルニ、嗣源モハヤムホンシタト、嗣源書面ヲ差上テ申シツケラナス、其書ヲ(還)ラ  
 サヘトメテ天子ヘ差出タヌ、嗣源ヨウスヲ察シテ(疑懼)ウタカヒ恐レル、石敬瑭ガ曰フ、ドウシテ大  
 將ガムホン心アル兵卒ト共々城ヘ入りテ、後日其身ヲツ、ガナク保ツガアラフ、大梁ハ天下第一ノ  
 場所ガナリ、ドウカサキニ往テ此地ヲ攻メ取レ、サスレバ身ヲ無事ニ保ツガナル、康義誠ガ曰フ、  
 主上ハ(無道)道理ニハツレタ行ヒヲナシテ、(軍民)怨望(軍兵)人民共ニ怨ミヲ思フ、ソナタ衆人ノ言ニ  
 從テ(船)アトヲサヘトシ、兵卒ヲ引キツレテ大梁ノ都ヘ入り込ム、唐主ニケテ關東ヘニシ洛陽ヘ入  
 ル、嗣源ガモハヤ大梁ニ立テコモリ、諸軍兵ハソムキハナル、トキ、帝ハ(神色)沮喪ビツクリシテ  
 カホ色カヘテ、歎息シ曰フ、吾レノ業ガオハラズト、命ジテ兵ヲ引キカヘス、從馬直ノ指揮使郭從謙兵  
 ヲ引ツレテ、帝ヲ汜水ニ攻メ圍ム、唐主流レ矢ニ中リテ死ス、帝ト稱ヘルヲタツタ三年ニテ家來ノ者  
 ニ殺レタ、年號ヲ改メテ同光ト云フ、樂人ガ音樂ノ道具ヲ以テ屍ヲカコヒ、火ヲ付ケテ焚  
 ク、嗣源此ノ事ヲ聞キ(痛哭)イタク歎ケキ、ソコテ洛陽ヘ入り込ム、(賤)諸官員上表ノ書ヲ差出シテ  
 天子ニナルヲラス、ム、然ルニ許サレヌ、ソレ故又三度マデ(監國)天子ノ事ヲ攝シ國ヲマモルヲ  
 願フタ、ソコデ許シタ、繼而蜀ヨリ洛陽ヘ歸ル、途中ニテ内亂ノヲキタルヲキ、莊宗ノ骨ヲ拾ヒ歛  
 葬シ、長安ニ至リテ自殺シタ、監國ノ人ガ位ニ即ク、是ヲ明宗皇帝トス

**明宗皇帝本胡人邈佖烈也為晉王克用養子名嗣源莊宗滅梁**  
 嗣源功最高為書中令蕃漢馬步總管受命討鄴為叛卒所推自  
 鄴趨汴入洛遂即位更名亶

明宗皇帝ハ本(胡人)エビスノ人ナリ、名ヲ邈佖烈ト  
 云ヒ、姓ハナシ、晉王克用ノ養子トナリ、名ヲ嗣源ト

明年右大臣忠平  
 延喜式ヲ撰ス  
 明宗長興元年即  
 子日本延長八年  
 ナリ此年醍醐帝  
 崩ス  
 明年ハ朱雀帝即  
 位元年ナリ  
 明宗長興四年ハ  
 日本朱雀帝四年  
 ナリ藤原純友反  
 ス

ed エド  
 id イド  
 od オド

ツケタ、註宗ガ梁ヲ七ス片、嗣源ノ武功(最高)ヒトキハ勝ル、中書令(番漢馬歩總管)番兵、漢兵、馬軍、  
 歩軍ノ總トリシマリ役トナリ、命ヲ受テ勤ヲ討ツ、ソムキタル兵卒ヨリ推シテ、處トナリ、勤ヲ去  
 リ沐ニ趨ムキ、洛陽ヘ入込ム、遂ニ  
 ○契丹阿保機卒子德光立  
 契丹ノ阿保機死シテ、  
 天子ノ位ニツク、名ヲ宣ト更ム  
 ○閩王王審知卒子延翰立驕淫殘暴其下弑之而立其弟延鈞  
 閩王王審知死シタ、子ノ延翰代リ立ツ、(驕淫殘暴)オゴリタカブリ酒色ニ  
 後稱帝更名璘  
 閩王王審知死シタ、子ノ延翰代リ立ツ、(驕淫殘暴)オゴリタカブリ酒色ニ  
 オホレ下々ヘムゴクシムケル、其家來ガ之ヲ殺シテ、其弟ノ延鈞ヲ相續ト  
 ス、後シテ天子ト、稱  
 ○吳王楊溥稱帝  
 吳王楊溥ガ天  
 ○南平王高季興卒子  
 從誨立  
 南平王高季興ガ死シテ、  
 子ノ從誨ガ相續シタ  
 ○楚王馬殷卒子希聲立後希聲卒希範  
 楚王馬殷ガ死テ、子ノ希聲ガアトヲ嗣ギ、  
 其後希聲死シテ、弟ノ希範ガ嗣イデ立ツ  
 ○吳越王錢鏐卒子元瓘立  
 吳越王錢鏐ガ死シテ、  
 子ノ元瓘ガ嗣イデ立ツ  
 ○西川孟  
 立テ王トナル  
 ○夏州李仁福卒子彝超嗣  
 夏州ノ李仁福ガ死シテ、  
 子ノ彝超ガ嗣イデ立ツ  
 ○唐秦王從榮  
 知祥併東川以知祥爲蜀王  
 西川ノ孟知祥ガ東川ノ地ヲ併セ  
 驕狼自知時論不與常懼不得爲嗣唐主寢疾遽率牙兵千  
 人至端門下將入禁衛討之從榮兵潰走歸府皇城使斬之唐主

il イル  
 ol オル  
 ul ウル  
 uk ノク  
 al アル  
 el エル  
 ek エク  
 ik イク  
 ok オク  
 og オグ  
 ug ユグ  
 ak アク  
 ag アグ  
 eg エグ  
 ig イグ  
 it イト  
 of オフ  
 uf ユフ  
 ud ユド  
 af アフ  
 ef エフ

悲駭疾劇遂殂唐主性不猜忌與物無競登極之年已踰六十  
 每夕於宮中焚香祝天曰某胡人因亂爲衆所推願天早生聖人  
 爲生民主在位八年改元者二曰天成長興內無聲色外無遊畋  
 不任宦官廢內藏庫賞廉吏治穢蠹雖不知書所行暗合於道年  
 穀屢豐兵革罕用 校於五代粗爲小康子宋王立是爲閔帝  
 唐ノ秦王從榮ハ(驕狼)ヲゴリテ道理ニモトリ、自分カラ(時論不與)時人ノ議論トソゴスルヲ察シ、フ  
 タンニヨツギトナルノデキヌヲ心配ス、唐主病氣ニテヤヌム、ニハカニ(牙兵)旗本ノ兵卒千人ヲヒ  
 キツレテ、端門ト云御殿ノ門前マデ來リ、内ヘ入込ントセシマ、(禁衛)御殿警衛ノ兵卒ガ討チヤブル、  
 從榮ノ兵散亂シ逃テ表役所ヘ至ル、然ルニ(皇城使)朝廷ノ目付ノ安從益ガ切殺ス、唐主悲シオトロキ  
 テ、病氣ヒトクナリ、遂ニ死シタ、此ノ唐主ノ生レッキハ(不猜忌)ムヤミニ人ヲ疑ヒテハズ、(與物  
 無競)人ト争ヒハリアハス、(登極)帝位ニ即ク年、ハヤ六十歳ヲコエル、毎夕御殿ニテ線香ヲヤキ天帝  
 ヲ祈リテ曰フ、私ハエビス人デアル、世ノ中ノ亂ニヨツテ衆人ニ推シ立テラレタリ、トウソ天帝早  
 ク(聖人)才德スグレタルヒトヲ産ンデ、人民ノ主宰トセヨト、位ニ在ルノ八年ナリ、年號ヲカヘタ  
 二度、天成ト云ヒ長興ト云フ、内ニハ(聲色)オンカク美婦ノ娛ミヲセズ、外ニ出テ遊獵ノ樂モセズ、宦  
 官ニ政事ヲマカセズ、(內藏庫)天子ノ手モトグラヲ置クヲヤメ、其費金ヲ以テ(廉吏)正直ナル官定  
 ノ賞與金トシ、(蠹)賂ヲトリコシ、人民ヲシイタグル者ヲトリタマハス、書物ハ讀マヌナレバ、(唐)  
 自然ト行ヒカ道理ニカナフ、(年穀)年々ミノルコクモツハタビ、ヨク登リ、(兵革)攻戰ノ機器ハ用  
 ルトスクナシ、五代ノ天子ニヒキクラベテシレバ(粗)マツク  
 (小康)少シク治ル世ト稱ス、子ノ宋王位ヲツグ、是ヲ閔帝トス

唐明宗皇帝 閔帝 潞王

or	ar	ip	un	en	om	am
ur	er	op	ap	in	um	em
as	ir	up	ep	on	an	im

閔帝名從厚明宗次子也。即位有志爲治。然不知其要。寬柔少斷。閔帝名從厚。下云。明宗ノ二男ナリ。天子トナリテ大ニ世ヲ治ムルノ志ハアレドモ。其要領ヲ心得ヌ。寛柔ノ柔弱ニナガレテ物事ノ決斷ナシ。蜀孟知祥稱帝。蜀ノ孟知祥ガ帝ト稱シタ。唐潞王反於鳳翔。舉兵長驅至洛陽。閔帝出奔在位。改元應順。數月而已。潞王立。唐ノ潞王鳳翔府ニテナムキ。兵ヲオコシテ長路ヲ馳テ年号ヲ應順ト改ム。ソヅカニ五六ケ月ナリ。潞王代リテ天子トナル。

潞王名從珂。本姓王氏。明宗之養子也。少從明宗征伐。有功名。得衆心。用事者忌之。從珂鎮鳳翔。閔帝命移鎮河東。將佐以爲難。鎮必無全理。乃移檄鄴道起兵。入清帝側。從珂至。陝諸軍皆迎降。至洛宰相馮道等百官班迎。遂即位。遣人鳩殺閔帝於衛州。潞王名ハ從本姓ハ王氏ナリ。明宗ノ養子トナル。幼少カラ明宗ニツキテ征伐ス。軍事ニ勳キ。ノ評判アリ。衆人ノ望ヲ受ク。政事ヲトリ行フ者ハ之ヲニクム。從珂鳳翔府ヲシツム。閔帝言ヒ付テ河東ヲ守ラシム。大將佐官ノ思フニハ。離鎮任所ヲ去レバキツト。全理ノ身ノ不難ナルツケナシト。ソコニ移檄鄴道。廻文ヲ近旁ノ街道スサヘマハシ。兵卒ヲ出サシメテ都ヘ入込シ。帝ノ側ノ惡人ヲハラヒ退ケント。從珂陝州マデ出張ス。諸州ノ軍兵皆迎ヘテ降參ス。洛陽ニ來レバ宰相ノ馮道等諸官員。班迎順次ニ帝

blu	ble	ox	ax	it	us	es
bra	bli	ux	ex	ot	at	is
bre	blo	bla	ix	ut	et	os

ヲ設ケテ迎ヒニ出デ。ツイニ天子トナル。人ニ申シ合メテ。閔帝ヲ衛州ト云土地ニテ。鳩殺。毒害サセタ。蜀主孟知祥殂子相立。蜀主孟知祥死シテ。子ノ蜀主立リ。夏州李彝超卒。兄彝殷代之。夏州ノ李彝超死シテ。其兄ノ彝殷ガ代テ嗣ク。閩人殺其王璘而立其子繼鵬。更名和。閩人ガ其國王璘ヲ殺シ。子ノ繼鵬ヲ立テ。名ヲ和トアラタム。唐主初與河東節度使石敬瑭素不相悅。唐主立敬瑭不得已。入朝尋歸。鎮陰爲自全之計。唐主移之。遂反。求援於契丹。契丹敗唐兵。立敬瑭爲晉帝。引兵向洛陽。唐主自焚死。在位不三年。改元者一曰清泰。唐自莊宗至是。四主。凡一十四年。唐主ハシメ河東ノ節度使石敬瑭トモトカワ。致方ナク。參朝シテヨロコヒラ陳ヘ。ソノイテ國ヘ歸ル。陰オモテタテズニ。自全之計。我身ガタメニナル思案ヲメグラス。唐主國ガヘ。ソノ言付ケテ。天年ノ節度使トス。ツイニムホンシテ。援兵ヲ契丹ヘタノム。ソコニ契丹ガ兵隊ヲ出シ。唐兵ヲウチヤブリ。敬瑭ヲ推シタテ。晉帝トシテ。其兵隊ヲ引フ。レ洛陽ノ方ヘ攻メコム。唐主自分ト火中ヘ入りテヤケ死ス。位ニアル三年ニ足ラス。年號ヲカヘル。一度。清泰ト云フ。唐國莊宗ヨリ潞王マデ四代。年數クルメテ十四年ナリ。

石氏代北ヨリ晉王ニ從ヒ太原ニ起リ。晉國ニ治ス。故ニ國號ヲ晉トナス。

晉高祖皇帝。姓石氏。名敬瑭。沙陀人。唐明宗之婿也。初與從珂皆

後晉高祖二年ハ  
日本朱雀帝七年  
ナリ此ノ年富士  
山火ク「高祖ノ  
四年ハ日本朱雀  
帝天慶二年ナリ  
平將門反ス天慶  
四年ニ新羅ノ舟  
七艘隱岐ニイダ  
ル

cla トレー  
ele トレー  
eli トレイ  
bri フライ  
bro フロー  
bru フロエ

勇力善闘事明宗皆有功内相忌從珂稱帝敬塘自河東來朝將  
佐皆勸留之時久病骨立唐主不以為虞遂得歸鎮公主在  
洛陽辭歸唐主醉曰何不且留遠歸欲與石郎反邪敬塘聞之  
益懼尋命移鎮鄆州敬塘拒命唐主發兵討之桑維翰為敬塘  
草表稱臣於契丹事以父禮約事捷割地劉知遠以為太過厚  
賂金帛足致其兵不必許以土田恐異日大為中國之患敬塘不  
聽表至契丹主大喜將騎五萬而來與唐兵戰於晉陽大敗之契  
丹主立敬塘為帝國號晉割幽薊瀛莫涿檀順新媯儒武雲應  
寰朔蔚十六州與之契丹以晉主南下又破唐兵至潞州契丹北  
還晉主引而南唐將校皆飛狀以迎唐主殂晉主入都洛已而還  
汴晉高祖皇帝姓ハ石氏、名ハ敬塘ト云フ、沙陝ノ人、魏國公主ヲ尚シタル故唐ノ明宗ノムコナリ、ハ  
シメ從珂ト、皆勇力武勇ガアリテ善クイクサラスル、明宗ニ仕ヘテ皆手カラアリ、(内相忌)内  
心互ニキラヒアフ、從珂帝位ニノボル、敬塘ハ河東カラ參朝ス、將帥佐官等ノコラス帝ニス、メテ敬

chlo クロイ  
chlu クリュ  
chra クレイ  
chla クレイ  
chle クライ  
chli クライ  
chi チヤイ  
cho チョイ  
chu チュ  
eru グリュ  
cha チエ  
che チ  
ere クライ  
eri クライ  
ero クロイ  
elo クロイ  
clu クリュ  
era クレイ

塘ヲ拘留セシム、敬塘當時久シク病氣ニテ(骨立)ヤセ衰ヘテ骨バカリニナリオル、唐主ハキツカヒニ  
思ハヌ、ツイニ鎮國ヘ歸ル、(公主)帝ノ妃ハ洛陽ニ居リ唐主ニ別レテ告ケテカヘル片、唐主酒ニヨヒ  
テ曰フ、ドウシテ當分留リ居ラスゾ、選ニカヘルハ(石郎)夫婦石敬瑭ト一ツニナツテムホンセント思  
フデアルカト、敬塘其言ヲキ、テヤンクオンレテ抱キツイテ命令アツテ鄆州ヘ國力ヘ申付ラル、敬  
塘命令ヲキカヌ、唐主兵隊ヲ操出シテ敬塘ヲ征討ス、桑維翰ガ敬塘ノ意ヲ受テ(草表)表又ノ草稿ヲ  
作り、契丹ノ家來トナリ、父ノ禮儀ヲ以テ契丹ニツカヘ、約束スルニ戰ニ勝タバ土地ヲ割キテ進上セ  
ント、劉知遠思フニ(太過)アマリヤリスギデアルト、多ク(賂金帛)金銀絹帛ヲマヒナイトセバ、契丹  
ノ兵隊ヲ引出ス「ガデキル、別段土地田畑ヲ以テヤルニハ及バヌ」ナリ、若シ土地ヲヤル片ハ、(異  
日)後日大ニ本國ノ難澁ヲ致スデアラフト、敬塘其議ニ從ハヌ、ツイニ表文ヲ契丹ニ差出ス、契丹ノ主  
大ニ喜ビ、騎兵五萬人ヲ引率シテ來リ、唐ノ兵卒ト晉陽ノ地ニテ合戰シ、大ニ唐兵ヲウチヤブル、ソコ  
テ契丹主ガ敬塘ヲ立テ天子トシ、國名ヲ晉ト名ケタ、前約ノ如ク幽州以下ノ十六州ヲ割キ返禮トシテ  
契丹ニ與フ、契丹ハ晉主ヲツレテ南ノ方中州ヘ下リ、又唐ノ兵ヲ討チ破リ、潞州ニ至リ、契丹別レテ北  
ヘ歸ル、晉主尚南ヘ進ム、唐ノ(將校)大將佐官ハ互ニ(飛狀)急狀ヲ差出シテ石敬瑭ヲ出迎ヘスル、唐  
主死シテ、晉主入テ洛陽ニ居ル、  
○吳徐知誥稱帝奉吳主溥為讓皇初徐温  
命知誥治昇州致繁富城市府舍甚盛温自徙居之知誥入廣陵  
輔吳政温卒知誥以中書令鎮昇而留其子輔吳政廣金陵城吳  
加知誥大元帥封齊王備殊禮至是遂受吳禪知誥本徐州李氏  
子也自謂唐後國號唐尋復姓李更名昇是為南唐吳ノ徐知誥天子  
溥ヲ尊テ讓皇トス、徐温ガ知誥ニ云付テ昇州ヲ守ラレム、知誥ノ政事ハヨク行届テ(繁富)器財多ク人  
民ニタカニナル、(城市府舍)城下ノ市中ヨリ役所ヨホドオホクニギアフタ、温自分ニウツリテ昇州ニ

fre	flo	fla	dri	chru	chre
fri	flu	fle	dro	dra	chri
fro	fra	fli	dru	dre	chro

スマ非ス、知誥ハ陵郡ニ入り、兵ノ政事ヲタスケル、温死シテ、知誥中書令ノ官ヲ以テ昇州ヲ支配シ、其子ヲ吳ニ留メ、オキテ其政務ニアツカラシム、ソウシテ已レハ金陵城ヲロク修葺スル、吳王ヨリ知誥ニ(大元帥)總大將ノ官ヲ加ヘ、齊ノ地ニ王トシ、(殊禮)特別ノ禮式ヲ以テモテナス、コノ時ニナツテ遂ニ吳王ノ禪リヲウケタ、知誥ハモト徐州ト云處ノ李氏ト云人ノ子ナリ、自分カラ國ノ末孫ト云フテ、國ヲ唐ト稱ヘ、ツイデ姓ヲ李ト付ケカヘ、名ヲ昇ト改タム、是ヲ世ニ南唐ト云フ

○契丹改國號大遼 遼國名ヲ大遼ト改メ、遼トカヘタ

○閩王曦弒其主和而自立 閩ノ王曦其主人和ヲ殺シテ自分ニ立テ王トナル

○吳越王錢元瓘卒子弘佐嗣 吳越王錢元瓘死シテ子弘佐ト云人嗣デ立ツ

○南漢主劉龔又更名龔尋殂子玠立 南漢主劉龔又名ヲ龔ト改メ、幾ツ程モナク死シタ、子ノ玠ガ立ツ

○晉主在位不七歲殂改元者一日天福齊王立是爲出帝 晉主位ニアルフ七年ニタラズシテ死シタ、年號ヲ改メル

○南唐主李昇殂子璟立 南唐ノ主李昇死シテ、子ノ璟ガ立テ、延儀ガ政事ヲトリアツカフ

○南唐主李昇殂子璟立 南唐ノ主李昇死シテ、子ノ璟ガ立テ、延儀ガ政事ヲトリアツカフ

○晉主在位不七歲殂改元者一日天福齊王立是爲出帝 晉主位ニアルフ七年ニタラズシテ死シタ、年號ヲ改メル

○南唐主李昇殂子璟立 南唐ノ主李昇死シテ、子ノ璟ガ立テ、延儀ガ政事ヲトリアツカフ

plu	ple	gro	gra	gli	fru
pra	pli	gru	gre	glo	gla
pre	plo	pla	gri	glu	gle

立

○閩王之弟王延政據建州稱殷帝 閩王ノ弟王延政ハ建州ニコモツテ殷帝ト云フ

○南漢主劉玠之弟弘淵弒玠而自立更名晟 南漢ノ主劉玠ノ弟弘淵ガ玠ヲ殺シテ國ヲ押領シ、名ヲ晟ト改メタ

○閩朱文進弒其主王曦而自立殷主延政遣兵討之閩人殺文進傳首於殷殷改國號曰閩唐人攻拔建州延政出降閩亡唐攻福州不克後吳越遣兵取之 閩ノ朱文進其主人王曦ヲ殺シテ、自分ニ王トナル、殷主延政兵隊ヲ遣テ、福州ヲ攻メ、取ラズ、其首ヲ殷ヘ獻上シタ、殷國號ヲ更ヘテ閩ト曰フ、唐ノ人攻メテ建州ヲヌキトル、延政自分ニ出テ降參シタ、ソコデ閩ハ七ビタ、唐ノ都福州ヲ攻メ、利ナクシテ返ル、其後吳越ヨリ兵隊ヲサシツカハシテ福州ヲ手ニ入レタ

○初晉高祖事契丹甚謹至少主即位景延廣主議告哀不復稱臣契丹大怒延廣又囚其回圖使已而遣歸大言曰歸語而主先帝爲北朝所立故稱臣奉表今上乃中國所立爲隣稱孫足矣翁怒則來戰孫有十萬橫磨劍相待桑維翰屢請遜辭以謝契丹每爲延廣所沮於是契丹入寇渡河晉主自將及遣李守貞等分道擊之契丹敗走契丹再至

wri	ライ	tru	ツリ	tre	ツリ	slo	スロ	sla	スレ	pri	プライ
wro	ロ	wra	レ	tri	ツライ	slu	スリュ	sle	スレイ	pro	プロ
wru	リュ	wre	レ	tro	ツロ	tra	ツレイ	sli	スライ	pru	プリュ

相州引還晋主又自將追之契丹旋兵南下晋人擊之契丹又敗走晋主既再勝意契丹不足長契丹主大舉入寇晋將杜威降契丹遣兵入汴執晋主以歸其國在位五年改元者一日開運晋自高祖至是再世一十二年而亡契丹主入大梁胡騎四出剽掠謂之打草穀丁壯斃鋒刃老弱委溝壑自東西兩畿及鄭滑曹濮數百里間財帛殆盡契丹主謂判三司劉昫曰契丹兵應有優賜遂括都城士民錢帛遣使者數千人括於諸州皆迫以嚴誅人不聊生活至初無頒給皆欲輦歸中外怨憤皆思逐之所

在盜起契丹主曰我不知中國難治如此居汴三月而還晋劉知遠先一月即位於晋陽ハジメ晋ノ高祖ガ契丹ニシタガフ(甚護)至テ丁寧ナリ、年若キ帝重貴ガ位ニツキテヨリ、延慶議論ヲ立テ、先帝高祖ノ死去ヲ知ラセルニモ二度下家來トイハス、契丹主大ニ立腹ス、延慶マタ契丹ヨリオク處ノ、(回國使)コトヲハカラヒ交易ヲ掌ルヤク人ヲ囚トシ、トヤカクスルウチ殺シテ歸ス、其節(大言)エラソウニ云フニ國ヘカヘリテソノ方ノ主人ニツケヨ、前ノ天子ハ(北朝)契丹ノセハニテ立ラレタ、ソレニヘ家來ト稱

sho	ショ	sha	シェ	swi	スワイ	two	ツウ	twa	ツウ	dwe	ドゥ
shu	シュ	she	シェ	swa	スワ	swu	スウ	swe	スエ	twi	ツイ
sma	スマ	shi	シ	swu	スウ	swe	スエ	twi	ツイ	dwo	ドゥ

ヘテ書簡ヲ差出ス、今ノ天子ハ(中國)支那本部ノ立ルトコロ、隣國ト稱ヘ孫ト云フテ充分ナルヘシ、若シ契丹ノオヤカ力立腹ナラバ來テ戰爭セヨ、孫ノ國ニハ十萬ノ軍兵ガ(懸劍)トキスマセタ刀ヲ腰ニサシテ待チ受ケル、桑維翰ハタビビ(遜辭)テイ子イナル言バヲ以テ契丹主ヘコトハリセント願ヘ、イツモ延慶ニジヤマサレテ用非ラレス、是時ニナリテ契丹攻入テ河水ヲコヘテ來タ、晋主自分ニ大將トナリ、李守貞ナドヲヤリ道筋ヲ手ツケシテウチトメタ、契丹ノ兵ヤアラレテニケヌ、契丹ノ兵隊再度相州マデキテ兵ヲ引キカヘス、晋主又々自分ニ總兵ヲ持シテ追ヒハラフ、契丹(旋兵)攻メ口ヲカヘテ南方ヘクダル、晋兵之ヲウツ、契丹又マケテニケル、晋主モハヤ再ヒ戰ニ勝チ、契丹ハ畏レテ用心スルニ及ハヌト思フ、契丹主國中ノ大軍兵ヲ引ツレテ(入寇)晋國ヘウチイル、晋ノ將社威手兵ヲツレ契丹ヘ降參シタ、契丹主兵隊ヲ換テ汴ノ都ヘ攻メ入り、晋主ヲトリコニシテ國ヘツレカヘル、晋主位ニアル五年、年号ヲ改メタ、一度、開運ト云フ、高祖ヨリ出帝マデ二代ナリ、十二年ニテ國ホロビタリ、扱テ契丹主ハ大梁ノ都ヘ入リ、エビスノ兵隊四方ヘ出テ人民ノ幣帛ヲ(剽掠)オビヤカシカスメトル、之ヲ(打草穀)草ヤ穀物ノ類ヲカリウツ同様ト云フ、(丁壯)二十歳以上ノワカキ者ハ戰ヒニ出デ(斃鋒刃)ハモノニカ、リテ死シ、トシヨリコトモハ(委溝壑)ミソヤ谷ニオチコソデ死ス、東京、西京ヨリ河南、山東ノ鄭、滑、濮ノ邦々五六百里ノ間ハ、金錢財寶ハオホカタ掠メ取ラレテ尽キタ、契丹主(判三司)鹽鉄、戶籍等ヲ掌ル劉昫ニ云フ、契丹ノ兵ニハナシテモ(優賜)テアツキアイサツガアルハツナリト、ツイニ城下士民タレカレラ云ハズカチヤキヌモノヲ(括)サラヘトル、使者五六千人ヲ處々ノ國ヘヤツテ、民ノ財物ヲシメク、リ、皆追以嚴誅キビシクセメ付テ財物ヲ出サヌ者ヲハ殺スト云フテ、オトシカケル、人々安心セヌ、取立ノ使ヒキタル、ハジメカラシテ人民ニワケ與ヘズ、殘ラズ車ニ載セ去ラントス、(中外怨憤)都府村落トモ怨ミ怒リテ、ヒトヒト皆其使ノ者ヲ逐ヒハラント思フ、トコロ、ニ盜賊ガ起ル、契丹主ガ曰フ、此方ハ(中國)支那本部ノ政事ノ施シニクキコノヤウナルトハ思ハナシト、汴ニ居ル三月テ國ヘカヘル、晋ノ劉知遠契丹ノカヘル一月前ニ、晋陽ニテ天子トナル

漢高祖自姓ノ劉ナルヲ以テ國号ヲ漢ト曰フ、此レヲ後漢トス

漢高祖皇帝姓劉氏初名知遠沙陀人也事晋祖敬瑭於兵間功

後漢高祖元年ハ  
日本村上帝即位  
元年ナリ

spo	spa	sni	smu	sme
spu	spe	sno	sna	smi
sta	spi	snu	sne	sno

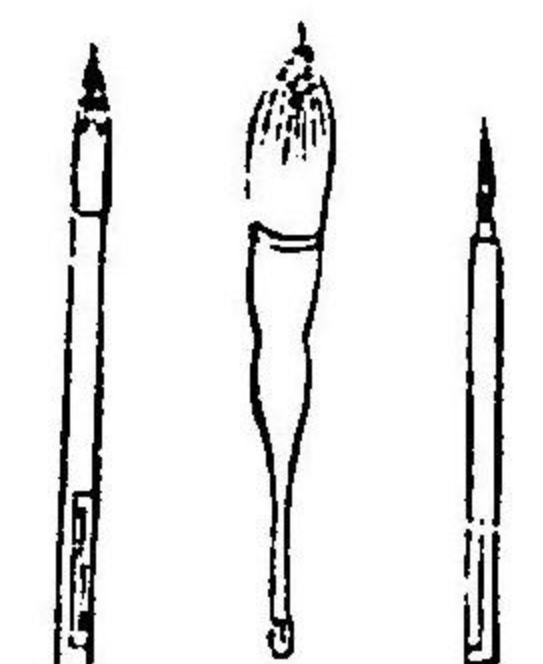
最多晋祖在河東唐路王移之鎮。鄆知遠曰明公久將兵得士卒心今據形勝之地士馬精強若稱兵傳微帝業可成奈何以紙制書自投。虎口遂拒命。唐遣將攻之不克。晋祖舉兵滅唐人。洛陽知遠時爲侍衛馬軍都指揮使分漢兵入營館契丹兵於寺城中肅然後晋祖以知遠鎮河東晋祖殂遺命以知遠入輔政。晋人匿之知遠由是怨朝廷。契丹連入寇晋雖以知遠爲行營都統知遠不行契丹滅晋入大梁知遠稱帝於晋陽契丹去乃發太原入洛遂入汴國號漢後更名曷。漢高祖皇帝姓劉氏、初ノ名ヲ知遠ト云フ、人ニ軍中ニ於テ家來トナリ、功名ハタラキハ(最多)人ニスグレテタカシ、晋祖河東ノ地ニ居ル、唐ノ幽王晋祖ノ治國ヲカヘテ、地ヲ支配セシム、知遠ガ曰フ、(明公)主君亦々兵隊ノ大將トナリ、士官兵卒ノ人望ヲ受ケテオトル、今要害ノヨキ土地ニ據リ、兵士軍馬ハ(精強)スグレテ強シ、モシモ兵ヲオコシ回交ヲ傳ヘテ人ヲトリ入ルレバ、帝王トナル仕事ハ出キルデアル、然ルヲドウシテカ一枚ノ詔ニシタガヒ、(投虎口)危キ處ヘ行クヤト、晋祖ツイニ(拒命)幽王ノ命ヲキカヌ、唐主大將兵ヲサシ向ケテ攻メシム、然レテ勝ツコトデキヌ、晋ノ高祖兵ヲクテ出シテ唐ヲ亡シテ、洛陽ノ都ヘ入コム、知遠コノ片(侍衛馬軍都指揮使)オ側ノ騎兵ノ差遣役ナリ、中國ノ兵ヲ分配シテ陣所ヘ入レ、契丹ノ兵隊ヲ洛陽ノ天宮寺ヘ止宿サセル、城中ノ兵(肅然)ロツソリ慎ム、從シテ晋祖知遠ニ云付テ河東ヲ支配セシ

gno	gna	thi	stu	ste
gnu	gne	tho	tha	sti
kna	gni	thu	the	sto

隱帝即位元年日  
本陽成帝崩ズ

晋祖死ス、死ニギハニ云ノコシテ知遠ヲ以テ都ヘ召シ入レ政事ヲ手傳ハシム、而ルヲ晋ノ官員ガカクシテ通知セヌ、知遠コレカラシテ朝廷ヲウラム、契丹毎度打テ亂暴ス、晋ハ知遠ヲ(行營都統)出張先ノ總大將トスレテ、知遠出張セヌ、契丹晋ヲホロボシ大梁ヘ入込、知遠天子ト晋陽ノ地ニテ稱フ、契丹引カヘル、ソコデ大原ヲ發足シテ(洛)西京ニ入り、**○契丹主耶律德光歸至殺胡林而死剖腹實鹽載去人謂之帝弑子兀欲立**。契丹ノ主耶律德光ト云處ニテ死シタ、其腹ヲ切割リ(實鹽)鹽ヲ腹ニツメコンデ腐敗ヲ防キ、車ニノセテ歸ル、晋ノ人ガコレヲ(帝弑)テイノヒボシト云フ。**○楚王馬希範卒子希廣立**。楚王ノ馬希範死シタ、**○吳越王錢弘佐卒弘侗立其下廢之而立弘俶**。吳越王錢弘佐死シテ、弘侗トシテ弘俶ト云人ヲ立テタ。**○漢主昶在位一年改元乾祐子周王立是爲隱帝**。漢主知位ニ居ル一年、年號ヲ乾祐トカヘタ、子ノ周王ガ嗣グ、コレヲ隱帝トナス。**○先是漢祖以弟崇尹太原爲留守河東節度使崇與郭威有隙至是威爲樞密使侍中執政崇爲自全之計選募勇士招納亡命繕甲兵實府庫罷上**



 毛錐子	stra スツレー	schī スカイ	knu コ	kne ニ
	stre スツロー	scho スコー	scha スカー	kni ナイ
	stri スツライ	schu スキウ	sche スキ	kno ノ

供財賦朝廷詔令多不稟承  
コレヨリ以前漢ノ高祖ガ弟ノ崇ヲモツテ太原ノ令トシテ留主河東節度使トシ崇ハ郭威ト云入ト  
 漢主自即位以來同平章事楊尨總機政樞密使郭威主  
 征伐侍衛指揮使史弘肇典宿衛三司使王章掌財賦尨頗公忠  
 弘肇察京師道不拾遺章捃拾遺利供饋不乏國家相安弘肇  
 嘗謂天下須用長槍大劍安用毛錐子章曰若無毛錐財賦何由  
 取辨章輕文人嘗曰此輩握算不知縱橫何益於用漢主左右  
 ○河中李守貞反郭威督諸軍討克之守貞自殺  
漢ハ郭威ニ命シ郭威ノ(留)守(天子ノ留守ヲ)マモル役トス  
 ○楚王馬希廣之兄希萼殺希廣而自立  
楚王馬希廣ノ兄弟  
 ○漢以郭威爲鄴都留守  
漢ハ郭威ニ命シ鄴都ノ(留)守(天子ノ留守ヲ)マモル役トス  
 ○荆南高從誨卒子賢融知軍府  
荆南高從誨ノ子賢融ヲ知軍府トシ  
 ○河中李守貞反郭威督諸軍討克之守貞自殺  
河中郡ノ李守貞ト云人ムホンシタ、郭威諸兵隊ヲ圍指シテ、討テ勝ツ、守貞自害シテ死シタ  
 差出ス(財賦)時々ノ貢物ヲヤメタ、朝廷ヨリノ命令ハ十ノ八九マデ(稟承)ウケ從ハヌ  
 從誨死ス、其子賢融ガ軍陣ノ事務ヲツカサドル  
 差出ス(財賦)時々ノ貢物ヲヤメタ、朝廷ヨリノ命令ハ十ノ八九マデ(稟承)ウケ從ハヌ  
 從誨死ス、其子賢融ガ軍陣ノ事務ヲツカサドル

rho	rha	phi	ghu	ghe	stro
rhu	rhe	pho	pha	ghi	stru
wha	rhi	phu	phe	gho	gha

變倖寢用事親戚干政尨等每裁抑之漢主益壯厭爲大臣所  
 制楊尨嘗議事於前曰陛下但禁聲有臣等在漢主積不能平  
 左右因譖之乾祐三年殺尨弘肇遣密詔欲殺郭威於鄴將佐  
 勸威入朝自訴威引大軍至漢主遣兵拒之或降或不戰而還漢  
 主爲亂兵所弑威白太后迎武寧節度贇未至聞契丹入寇遣威  
 將兵擊之威至澶州將士大譟裂黃旗以被威躄共扶抱之呼  
 萬歲震地擁威南行遂代漢漢二世四年而亡  
漢主天子トナツテコノカタ、同平章事ノ役楊尨ガ(機政)政務ノモトヲスベル、樞密使ノ役郭威ハ(征伐)軍ノヲツカサドル、侍衛指揮使ノ役史弘肇ハ(御殿)護リヲツカサドル、三司使ノ役王章ハ(財賦)金穀ノ貢物等ヲツカサドル、尨ハ格別ニ(公忠)カケヒナタナク正直ニシテ上ヘ忠職ナリ、弘肇ハ京師ノ觀察ヲナス、道ニ落タル物ヲヒラハヌホド人ガ恐レル、章ハ(掃捨遺利)ヲチステタ利益トナルモノハヒロヒアケル、(供饋)不足(貨物)類ヲ差シ送り不充セヌ、(國家)國內ハオホカタ安ク治マル、弘肇或ル中ニ云フ、天下ハ(長槍大劍)長キヤリ大ナル劍ヲ以テ治ムベシ、安ソ(毛錐子)筆サキヲ以テ仕事ヲナサント、章ガ云フ、モシフデナケレバ、何ヲ以テ筆貢租稅ノ取り立ヲツキマヘヤウヤト、王章(文人)文章ヲ作ル人ヲ輕シ尊バヌ、或ル片曰フ、(此輩)此人等(握算)十籌盤ヲモツテモ、(縱橫)其タテヨコトリアツカイヲ知ラヌ、トウシテ役ニ立フヤト、漢主(左右)ソバ役(變倖)キニ入ノ者ガタンクト政事ニタツサハル、(親戚)天子ノ縁家ガ政事ノサシツラナス、尨等兼テ(裁抑)之、其ノデスキヌヨウニラサヘル、漢主タンク年タケテカラ大臣ニ(所)

制)オシツケラルヲキラフ、楊尨ハ以前ノ丁ニ上ノ前ニテ事ヲ相議シテ曰フ、主君ハタマ(禁聲)モ  
 ノ言ヲコラヤンヨ、私共ガ居ルナリト、漢主體憤懣モリテ心ガオチツカス、(左右)ソバノモノソコデ  
 大臣ヲワルツケシタ、乾祐三年、尨、弘肇、章、殺シ、(密報)内々ノ詔リヲ以テ人ヲヤリ、郭威ヲ罰ニテ  
 殺サント思フ、(將佐)大將佐官ガ郭威ニス、メテ朝廷ヘ出デ、自分ニ申分ケセント、郭威大勢ノ兵隊  
 ヲ引キツレテユク、漢主兵卒ヲ出シテ拒ミトイム、其兵ノ中或ハ威ニ降参シ、或ハ服ヒラセズシテ逃  
 グカヘル、漢主ハ亂レタル兵卒ノ爲メニ殺サレタ、郭威太后ニ言上シテ武寧ノ節度使ナル登ヲ迎ヘ來  
 リ天子トセントス、未ダ來ラヌウチニ、契丹ウチ入り亂暴スルト聞キ、威ヲツカハシテ兵隊ノ大將ト  
 シテフセギウタシム、威瀘州ニ至ル、將士大ニサハキタチテ(黃旗)黃色ノハタヲ引キサキ威ノカラダ  
 ヘツケテ兵士トモク(扶抱)タスケイタキテ出度トイハヒ、其驛地ニヒマクホドナリ、天子ハ黃袍  
 ヲキル、軍中黃袍ナキ故、黃旗ヲ代用スルナリ、郭威ヲツレテ南ヘカヘリ、  
 ワイニ漢國ニ代リテ天子トナル、漢ニ代、年數四年ニテホロビタ

周 郭威自ヲ周 統叔ノ後トス、故ニ  
 國號ヲ周ト曰フ、此レヲ後周トス

周太祖皇帝姓郭氏名威太原人也唐莊宗有宮人柴氏歸其家  
 擇姻一日窺于門見有疾走而過者柴氏大驚問何人告者曰  
 從馬軍使郭雀兒也柴氏欲嫁之父母不肯曰汝帝左右人當嫁  
 節度使奈何嫁此人柴氏堅不嫁他人竟歸威漢祖鎮河東威爲  
 孔目官契丹在汴威勸漢祖舉兵遂成帝業漢隱帝時威專主征

後周太祖元年日  
 本朱雀帝崩ズ

och	ach	thri	whu	whe
uch	ech	thro	thra	whi
ack	ich	thru	thre	who

伐隱帝欲殺之不克威擁兵入汴已而出禦契丹軍士擁還汴時  
 已迎贊於徐州乃以漢太后令廢贊爲湘陰公威爲監國尋即位  
 自謂周虢叔之後國號周贊崇子也崇初聞隱帝遇害欲起兵南  
 向及聞迎立贊則曰吾兒爲帝吾復何求贊廢死崇乃稱帝  
 於晉陽所有并汾忻代嵐憲隆蔚沁遼麟石十二州之地謂  
 其臣曰願我是何天子汝等是何節度使邪是爲北漢遣子承鈞  
 伐周不克遣使乞師於契丹契丹策命北漢主更名旻  
 威、大原ト云處ノ人ナリ、唐ノ莊宗ニ與女中柴氏ト云フ者アリ、其父母ノ家ヘ歸リテ(擇姻)ムコト  
 求ム、アル日門前ヲウカヒヒテ居ルニ、(疾走)ハヤクワシリテ門前ヲ通り過グル者アリ、柴氏殊更ニ  
 驚キ何レノ人ト問フ、告ル者曰フ、從馬軍使ノ役郭雀兒デアルト、郭威項ニ雀兒ノイレ墨アリ故ニ斯  
 ク云、柴氏此人ヘヨメイリセント思フ、其父母承知セズシテ曰フ、汝ハ帝ノ傍ニ勤メタル人デアアル、キ  
 ヲト節度使ノ身分アル人ニ嫁入スベシトウシテコンナ人ニ嫁セサセヨウヤト、柴氏心ヲキメテ他人  
 ヘ嫁ラヌ、ツイニ郭威ニトツグ、漢ノ高祖(河東)ヲマモル、威孔目官ト云役ヲ勤トム、契丹ガ汴州ニオ  
 ル片、威ハ高祖ニス、メテ兵ヲ起サセテツイニ天子トナル業ヲタテメ、漢ノ隱帝ノ片ニ、(威)專一  
 ニ(征伐)軍事ヲツカサトル、隱帝威ヲ殺サント思フ、然ルニ殺ス力ナハヌ、威ハ兵隊ヲ引ツレテ汴  
 州ヘ入ル、ソレヨリシテ汴州ヲ出デ契丹ヲフセギトツム、軍士等威ヲトリマフテ汴ヘカヘル、コノ片  
 モハヤ贊ト云人ヲ徐州マデ迎ヘ來ル、漢ノ太后ノ命令ヲ以テ贊ヲオシヲトシテ湘陰公トシテ、威ヲ

周太祖皇帝

emp	olp	alp	ift	uck	eck
imp	ulp	elp	oft	aft	ick
omp	amp	ilp	uft	eft	ock

unk	ank	ong	ang	ind	ump
ant	ink	ung	eng	ond	and
ent	onk	ank	ing	und	end

(監國)天子ノカリニ國ヲマモル役トシ、ツイテ天子ノ位ニホル、自分ニ謂フ、周ノ統叔ノ末孫ナリト、ソコテ國名ヲ周ト改メタ、齊ハ崇ノ子デアアル、崇ハジメ隱帝ガ殺サルトキ、兵隊ヲ出シ南ノ方ヘ攻メ入ラント思フ、子ノ齊ガ迎ヘラレテ天子トナルトキ、ソコテ曰フ、自分ノ子ガ帝トナラバ、吾マタ外ニ願ヒハナシト、ソレカラシテ齊ガ殺ラレテ死スル片、崇イカリ怨テソコテ帝ト晉陽ニテ稱ヘ、支配スル地ハ并、汾、潞、代、嵐、憲、隆、蔚、沁、遼、麟、石ノ十二州ナリ、其家來ノ者ニイフテ曰フ、(願)カンガヘミルニ我領地ハ何ニホドモナシ、コレ何ント云天子デアラフヤ、各等ハ是レ何ノ勤メヲスル節度使デアアルゾ、何レモ名ト實ト相當セヌコト云フ、世間ニテコレヲ北漢ト云フ、子ノ承釣ヲヤツテ周國ヲ攻ム、軍ニマケテ利ナシ、使ヲ契丹ヘヤリ、援ノ兵ヲ頼ム、**○契丹述軌弒兀欲而自立述律討殺述軌而代之** 契丹ノ述軌ト云家來ガ主人ノ兀欲ヲ殺シテ自分ニ王トナル、述律ト云モノガ述軌ヲ殺シテ代テ王トナル

**楚自希廣希萼以來相攻奪無寧歲其下又廢希萼而立希崇南** 楚國ハ希廣、希萼カラ後ハ、内

**唐遣邊鎬擊楚希崇降南唐遷馬氏之族于金陵楚亡** 楚國ハ希廣、希萼カラ後ハ、内

**命于周周以言鎮朗王達鎮潭邊鎬走言取湖南請** 楚國ハ希廣、希萼カラ後ハ、内

**達還潭後又以行達鎮潭達自居朗** 楚國ハ希廣、希萼カラ後ハ、内

言 湖南ノ地ヲ取り、進退スル命令ヲ周國ヘ願フ、周ハ劉言ヲ以テ朗州ヲ支配セシム、王達ヲ以テ潭州ヲ

erm	opt	apt	int
irm	upt	ept	ont
orm	arm	ipt	unt

世宗二年八日本 村上帝天曆九年 ナリ此ノ年營迄 相ナリテ天滿天 神ト諡ス

支配セシム、遠ソソカニ攻オソロ、劉言ヲ朗州ニテ殺シ、周行逢ト云人ヲ以テ朗州ヲマモラセ、自分ハ潭州ヘカヘル、其後又行逢ニ潭州ヲ治メサセ、自分ハ朗州ニ居住ス **○周主在位三年殂改元者一日廣順晉王** 周主天子ノ位ニオルコト三年ニテ死ス、年号ヲ改メタル

**立是爲世宗皇帝** 周主天子ノ位ニオルコト三年ニテ死ス、年号ヲ改メタル

**世宗皇帝名榮本姓柴氏周祖妻兄柴守禮之子也周祖無子故** 養之周初領節鎮已而尹開封封晉王周主臨終命晉王聽政

**尋即位北漢主聞周主殂大喜請兵於契丹契丹遣將楊衮將** 萬騎北漢主自將三萬人來周主欲自將禦之群臣皆諫主曰崇

**幸大喪輕朕年少新立此必自來朕不可不往以吾兵力之** 強破崇如山壓卵耳馮道力爭惟王溥勸行北漢主軍于高平

**周前鋒擊之北漢兵卻主慮其遁去趣諸軍亟進後軍未至衆** 心危懼而主志氣益銳合戰未幾周右軍將樊愛能何徽先遁

**右軍潰步軍千餘解甲降主見軍勢危自引親兵犯矢石督戰宿**

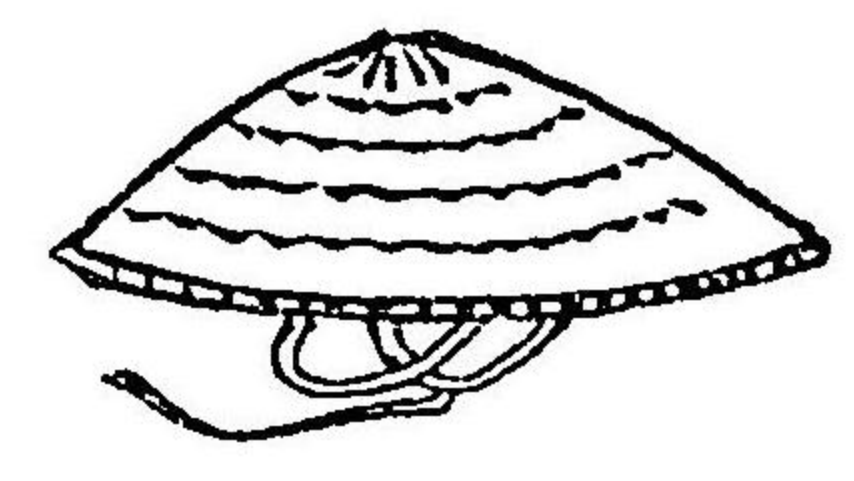
urd	erd	ost	ast	isk	urm
ald	ird	ust	est	osk	ask
eld	ord	ard	ist	usk	esk

衛將趙匡胤曰主危如此吾屬何得不致死又謂禁兵將張永德曰賊氣驕可破也公引兵乘高西出爲左翼我爲右翼以擊之國家安危在此一舉永德從之各將二千人進戰匡胤身先士卒馳犯其鋒士卒死戰無不一當百北漢兵大敗楊衰不敢救北漢主晝夜北走僅得入晉陽周主收樊愛能何徽及所部軍使以上七十餘人責之曰汝輩非不能戰正欲以朕爲奇貨賣與劉崇耳悉斬之自是驕將惰卒始知所懼不行姑息之政矣張永德盛稱趙匡胤智勇權殿前都虞侯周主謂侍臣曰兵務精不務多農夫百未能養戰士一奈何浚民之膏血養此無用之物乎乃命大簡諸軍又詔諸道募天下壯士咸遣詣關命匡胤選其尤者爲殿前諸班其騎步諸軍各命將帥選之由是士卒精強所向克捷世宗皇帝名煚下云、本姓柴氏、周太祖之妻、兄柴守禮下云人の子ナリ、周太祖子ナシ、ソ

ai	o	a	二合韻	ild
ea	u	e	diphthong.	old
ey	y	i		uld

ノ韻字二個 相連ルテ二 合韻ト名ケ  
レ故榮ヲ養子トス、太祖ハジメ命ヲ受テ鎮寧ノ節度使トナル、ソレカラシテ開封府ノ令トナリ、晉王ノ母ニナリ土地ヲ賜フタ、周主死ニキハニ、晉王ニ命令シテ政事ヲ裁決セシム、ツイテ帝位ニ昇ツタ、北漢主周主ノ死シタルヲキ、甚タヨロコビ、加勢ヲ契丹ニ頼フ、契丹大將ノ楊衰ヲヤリ騎兵萬人ノカシラトス、北漢ノ主自分ニ三萬人ノ大將トナリ攻メキタル、周主自分大將トナリ之ヲ拒ミ支ヘントス、諸ノ家來殘ラズトシ、周主ノ日フ、崇(大喪)ヲカ父ノ思中ヲツケコシ、吾ガ年ヲカニテ初メテ嗣トナルヲ毎トリ、キツト自分ニ攻メクルニ相違ナシ此方ハ往カ子バナラス、吾ガ兵隊ノ強キヲ以テ崇ノ兵ヲヤブルハ、山ガ卵ノ上ニオシカ、ルト同ク至テヤスキナリト、馮道ト云臣(力爭)ソトメテアラソトトシ、タマ王薄ノミス、メテ行カシム、北漢ノ主高平ト云處ニ陣ヲ取ル、周ノ先手ノ兵ガ攻メウツ、北漢ノ兵隊一時ヒキトル、周主漢ノ軍兵ハニケ去ルト思ヒ、諸兵卒ヲヒキル疾クス、ム、後ソナヘノ兵卒マタ來ラヌ、衆人ノ心ニハ(危懼)アヤブミオソル、而ルニ周主ノ志シ氣分ハダシハケシ、戰フマモナク周ノ右キ備ヘノ大將樊愛能何徽ガ一番ニ逃ケ去ル、ソコテ右ノ軍兵ハ惣休ツブレタ、歩兵千人餘リ甲ヲヌキ棄テ北漢ヘクタル、周主赤色ノアヤウキヲ見テ、自分ニソバ備ヘノ兵隊ヲ引ツレテ(矢石)矢玉ノ飛フ場所ヲカマハツト進ミ(督戰)下知シテ戰フ、(宿衛將)禁中ヲ守ル大將ノ趙匡胤ガ曰フ、主君ノアヤウキヲコノ通テアル、吾等トモドウシテ一命ヲ棄テ戰ハヌカナラフヤ、又(禁兵)御殿ニカコイアル大將ノ張永德ト云人ニ謂テ曰フ、賊兵ノ心ハオゴリオル、環ヤブルト至テイト易シ、ソナタ兵隊ヲ引ツレ高平地處ヨリ打コヘテ西ノ方ヘ出テ、左リソナヘトナレ、ワシハ右ノソナヘトナリ、ソシテ雙方ヨリ北漢ノ兵ヲウチヤブラン、國ノ(安危)立ツト絶ルトハコノ一戰ヒニアルト、永德ソノ言ニシタガヒ、互ニ二千人ノ兵ニ大將トシテ出デタ、カフ、匡胤自分ニ兵士ノサキニ立ち、ハセス、ミテ敵兵ノ眞サキヲウツ、士卒ハ(死戰)必死ニナツテタカフ、(一當百)一人ト敵ノ百人トツリ合スコトナシ、北漢ノ兵大ニウチヤブラル、契丹ノ將楊衰ハ敢テ手出シセス、北漢ノ主ヨルル北ヘ向ケテニケワシル、ヤウトト其都ノ晉陽ヘ歸ルカテキタ、周主樊愛能何徽以下組々ノ(軍使)イクサ目付官ヨリ以上役ノ者七十八ヲメシム、之ヲセメテ曰フ、其方々チ戰ヲスルコトノデキヌデハナイ、然ルニ一番ニ、分出スハ、全クワレヲ以テ(奇貨)ヨキシロ物トシテ劉崇ヘ賣リ與ヘ、己レガトクヲ取ラント思フワケデアルト、因テ殘ラズキリ殺シタ、コレカラ(驕將)惰卒オホヘイナル大將ヤナケタル兵卒ハ、始テ周主ノ威光ヲオソル、コトナツテ(姑息)ソノバノカレノ政事ヲセヌコトナツタ、張永德ガサカニ趙匡胤ノ智慧アリ勇氣アルコト云ヒホメ立ツ、(權)當今ノウチ殿前都侯今ノ司法大臣ノ職ヲ勤ム、周主(侍臣)ソバ役人ニハナシテ曰フニ兵隊ハ(務精)必スヨリスグレ

ou	フ	ee	イ	ui	ウイ	oi	オイ
eu	ユイ	oa	オア	aw	アウ	oy	オイ
au	オウ	ow	オウ	ei	エイ	uy	ウイ



タル強キヲ一番トシテ、多人敵ヲ貫ハヌ、(農夫百)百姓百人ノハタラキシ年貢米ハ一人ノ兵卒ノテア  
 テニタラス、ドウシテ人民ノ(膏血)骨折リハタラキタルモノヲサテヘ取ツテ、此ノヤクニタ、又兵隊  
 ヲ養ヒオク、ガアラウソト、ソコテ命令シテオホヒニ諸軍士ノ中ニ尤モ熟練ノ者ヲエラビ、又モロ  
 ヲ道筋ヘ認シテ、國內ノ(壯士)ヲカキタツシヤナ兵ヲ召シヨセテ、コトクク朝廷ヘ出サシメ、  
 趙匡胤ニ云付テ其第一番ナル壯者ヲ驗査シテ、(殿前諸班)御殿ノ前ヲ警衛スル兵隊トス、其騎兵歩兵  
 等ハ、ソレレノ大將ニ云付テ人選セシム、此カラシテ士卒  
 ハスグレテツヨク、攻メ向フトコロハイソモ軍ニ利ヲユル

○周攻北漢汾遼憲嵐石  
 沁忻州皆入于周周主攻晉陽不克引軍還  
 晉陽ノ領分トナル、周主ソコテ北漢ノ都晉陽ヘ攻  
 メ入ル、勝利ナクシテ、軍兵ヲ引キアケテカヘル

○北漢主劉昺殂子鈞立  
 北漢ノ主  
 劉昺死テ、  
 子ノ鈞ガ

○周伐蜀取秦階成鳳州  
 周ヨリ蜀ヲウチテ、秦、  
 階、成、鳳ノ國々ヲトル

○周伐南唐唐  
 遣兵拒於壽州而敗周主自將大敗唐兵於正陽唐將皇甫暉姚  
 鳳保清流關主命趙匡胤倍道襲之擒暉鳳克滁州周師取楊  
 泰光舒蘄州唐兵拒周師復取泰州攻揚州周主命匡胤屯六合  
 唐兵來攻奮擊大破之將士有不致力者匡胤陽爲督戰以劍斫  
 其皮笠明日遍閱其笠者劍跡者數十人皆斬之由是部兵莫敢

ay	エイ	ua	アウ
ew	ユイ	oo	ウイ

ay	エイ	ua	アウ
ew	ユイ	oo	ウイ
ay	エイ	ua	アウ
ew	ユイ	oo	ウイ

一字及ヒ二字ノ英  
 語  
 a 冠詞ニシテ物  
 名ノ前ニオク語  
 I 我  
 呼ビカク  
 呼ビカク  
 by ソバニ

不盡死周主還大梁留兵圍壽州唐兵復江北諸州周守將皆棄  
 去併兵攻壽州周主復自將如壽唐人以城降周主還大梁己而  
 復自將攻濠泗皆降進攻楚州遣兵取楊泰周主克楚州還至楊  
 州唐主遣使盡獻江北地周主乃還唐主更名景去帝號奉周正  
 朔

○朗州王逵爲潘叔嗣所殺將吏迎潭州

do	ナス
he	彼男
go	行ク
be	在ル
or	或ハ
to	至 <sup>○</sup>
me	我ヲ
lo	見ヨ
ye	汝

**周行逢入朗行逢併潭朗有之** 朗州ノ王遠ハ潘叔嗣ニ殺サレタ、大將及ビ事務官  
 行逢潭朗ヲトリ、**○南漢主劉晟殂子銀立** 南漢主劉晟死シ、**○周主自將伐**  
 契丹取瀛莫易州 離京四十二日而關南悉平議趨 幽州會不  
 豫而止以瓦橋關爲雄州益津關爲霸州置成而還往還六十日  
 周主自分ニ大將トナリ契丹ヲ伐ツテ瀛莫易ノ三州ヲトル、其京都ヲ出立シテヨリ四十二日ニシテ  
 大輿ニ在ル關南地方ハノコラス平定シタ、軍議シテ幽州ヘ行カント思フ、(不豫)病氣ニカ、リテヤメ  
 タ、瓦橋關ト云セキシヨヲ以テ雄州ト改メ、益津關ノ名ヲ霸州ト改メ、番兵ヲ置イテ國都ヘカヘル、  
 (往還)ニキカヘリ共六十日間デ **○趙匡胤先是爲殿前都指揮使從攻淮南**  
 又從征契丹至是爲殿前都點檢 趙匡胤是ヨリ前ニ殿前都指揮使ト云フ役ヲ勤務  
 アツタ、至テスミヤカナルヲ云フ **○周主在位六年殂改元者一曰顯德周主**  
 ウツ、是ノ并ニナツテ殿前都點檢  
 檢ト云一層上等ノ役人トナル **在藩韜晦及即位首破高平之寇人始服其英武號令嚴明**  
 人莫敢犯攻城對敵矢石落左右畧不動容應機決策出人意料  
 又勤於政事發姦摘伏聰察如神間暇則召儒者讀史商確大義

my	我ノ
so	サヤウ
we	我等
no	否ナ
an	寇詞ナリ ニ同ジ
am	在ル
if	若モ何々 スルナラ
at	于 <sup>○</sup>

性不好絲竹珍玩之物常言朕必不因喜賞人因怒刑人文武參  
 用各盡其能人畏其明而懷其惠故能破敵廣地所向無前登  
 遐之日遠近哀慕子梁王立是爲恭帝 周主位ニアル六年ニテ死ス、年號ヲ改メ  
 州ノ節度使トナル片、(韜晦)才能ヲツ、ミカクス、帝位ニ即クニナツテ、手ハシメニ潭州ノ高平ニ於  
 テ北漢主ノ兵ヲウチヤブル、人々ハシメテ其(英武)英勇武事ニ秀ツルニフクシシタガフ、(號令)約束  
 サシツハ(嚴明)キビシクアキラカニテ、人ガヲソレテ約束ニシテ者ナシ、城ヲ攻メ敵ニ向ヒ、矢玉  
 ガ前ニ落カ、レヒ、(略)イサ、カモ身ヲウゴカシヤウスラカヘヌ、(應機)決策、其時ノ都合ヲ見テ事ヲ  
 決スル、人ノ(急表)シアンノ外ニデル、又政事ヲナスニ勤メル、(發姦)摘伏、ワルキ者ヲアラハシ  
 惡ノモノヲ引出シ、(聰察)キ、トリハヤク事理ヲ見トホス、(神明)ノ如クテアル、(間暇)ヒマアル片ハ  
 (召儒者)學問ニ達シタル人ヲヨビヨセ歴史ヲ讀マシメテ、(商確)大義、書中ノ大意ヲシラベハカル、其  
 ノ生レッキ(絲竹)鳴リモノ、笛ノルイ(珍玩)メツラシキアンビモノヲスカヌ、平常ノ言ハニワレキツ  
 ト私ノ喜ニヨツテ人ヲホメ、私ノ怒リニヨツテ人ヲツミニ行ハスト、(文武)文藝武術並ビアゲテソレ  
 (其スグレタル)所ヲ用ヒシメリ、人其才智ノ明ナルヲオンレ、其メクミアルニ感心ス、ソレニヘヨ  
 ク敵國ヲ攻メヤブリ、土地ヲヒロメ、攻メ向フトコロ相手ニナル者ナシ、(登遐)死去セシ日遠キ處ノ  
 人モ、近ベンノ民モ(哀慕)カナシミオシム、  
 子ノ梁王位ニツク、是ヲ恭帝トス

**恭帝名宗訓七歲即位** 恭帝名ハ宗訓ト云フ、  
 七歲ニテ帝位ニツク **○以趙匡胤爲歸德節度**  
 使明年春鎮定言契丹入寇遣匡胤將兵禦之至陳橋驛軍士擁  
 還策立周主在位半年遂禪于宋周自太祖至是三世實二姓十

of 之  
in 内ニ  
it 是

宋太祖建隆五年  
日本村上皇帝崩ズ  
明年ハ冷泉帝即位元年ナリ  
太祖開寶三年日  
本圓融帝即位元年ナリ  
多田院ヲ建ツ

on 於テ

us 我等ヲ  
as 如  
is 在ル  
up 上ニ  
ox 牛  
ah 嗚呼  
oh 驚キ又 歎ク聲  
ha 笑聲。又 驚ク聲  
三字或ハ四五字ノ語

年而亡。趙匡胤ヲ以テ歸德ト云處ノ節度使トス、其翌年齊、定二州ヨリ言上ス、契丹國內ハ入コ  
レ陳橋驛ト云汴城外ノ地マテ至ル、大將士卒等匡胤ヲトリマキ引カヘシテ、詔ノ書面ヲ以テ立テ帝ト  
ス、周主帝トナルヲ半年ニテ、ツイニ位ヲ宋ニ禮ル、周ハ太祖ヨリ恭帝マデ三代ナリ、マコトハ(二姓)  
郭氏、柴氏ナリ、二氏合セテ十年ニシテ絶ヘホロビタ  
宋 趙匡胤ガ領スル所ノ軍、宋州ニアリ、  
故ニ天下ヲ有テ國號ヲ宋ト云フ

宋太祖皇帝姓趙氏名匡胤其先漢人也相傳爲漢京兆尹廣漢  
之後父弘殷爲洛陽禁衛將校生匡胤於甲馬營赤光滿室營中  
異香一月人謂之香孩兒營少從辛文悅學文悅嘗夢遊駕乃匡  
胤也周世宗時掌軍政凡六年士卒服其恩威數從征伐立大功  
世宗一日於文書篋中得一木書曰點檢作天子時張永德爲點  
檢世宗乃遷之而易以匡胤世宗殂恭帝即位之明年命領宿  
衛禦契丹時主少國危中外始有推戴之議大軍旣出軍校苗訓  
見日下復有一日黑光相盪指曰此天命也夕次陳橋驛軍士聚

議先立點檢爲天子然後北征環列待旦點檢醉臥不知也黎  
明軍士環甲執兵直叩寢門曰諸將無主願策大尉爲天子點檢  
驚起披衣則相與扶出被以黃袍羅拜呼萬歲擁上馬南行  
拒之不可乃攬轡誓諸將整軍自仁和門入秋毫無所犯恭帝遂  
禪位以所領節鎮爲宋州歸德軍故國號曰宋 宋ノ太祖皇帝姓ハ趙氏、其名  
云國ノ人ナリ、相傳フルニハ漢ノ時代京兆ト云都ノ知事デアアル廣漢ト云人ノ末孫デアルト、太祖ノ父  
弘殷ト云人ハ洛陽ノ(禁衛將校)朝廷守衛兵ノ將タリ、匡胤ヲ甲馬營ニテ生ム、アカキ光リガ室内ヲテ  
ラス、又其室ノ中(異香)カハリタルヨキニホロカ一月斗リモアル、故ニ人ガ(香孩兒)ヨキ香ノスルオ  
サナコノ陳夢ト云フタ、少年ノ片辛文悅ト云人ニ就テ學問ヲナス、文悅或ル片夢ニ天子ノ駕ヲ迎ヘル  
トミタ、其ノ人ハ即チ匡胤デアアル、周ノ世宗ノ時代ニ、(軍政)軍事ノ判決役ヲツトメル「大抵六年ナ  
リ、將士兵卒ニナ其恩アリ感アルニ心服ス、毎度出軍ニツキ從テ大ナル手カラヲ立テタ、世宗或ル  
日(於文書篋中)書物バコノナカニ一枚ノ木板ノカキツケテ手ニ入レタ、其書面ニ曰フ、點檢天子ニ  
ナルト、ソノ并ニ張永德ト云人ガ點檢ノ役ヲ勤メテ居ル、世宗其名ヲ惜ミテ遠方ヘ役ガヘサセテ、ソ  
コデ其カワリニ匡胤ヲ拜命ス、世宗死シテ恭帝ガ位ニ昇ル翌年、命ジテ天子ノ御殿ノ守兵ノ總支配役  
トシテ契丹ノ兵ヲフセギトメシム、其頃天子幼少ニテ國ガ定ラヌ、朝廷ノ中外トモハジメテ匡胤ヲ  
天子ニ立ツル評議ヲナス、匡胤大兵ヲ引キツレテハヤ朝廷ヲ出ル、(軍校)軍目付ノ苗訓ガ日ノ下ニマ  
ターツノ大陽アツテ、(黑光相盪)ニツノ日ガ照キ光ヲ發シテユスリアフヲ見テ、人ニ指シ示シテ曰  
フ、此レ天帝ノ命令ナリト、上ノ日ハ周ヲ云ヒ、下ノ日ハ宋ヲ云フ、匡胤出發セシ夕刻ニ陳橋驛ニヤド  
ル、軍士ガアツマリ談合シテ、先ツ點檢ノ役匡胤ヲ天子ニシテ、其ノ子ニ北ノ方契丹ヲ征伐セント、匡  
胤ノソバトリマキテ夜ノアケルヲ侍ツ、匡胤ハ酒ニエヒフシテ其識ヲ知ラヌ、(黎明)夜アケカタ、

lap	mat	wax	cat	man	cap	can	bad
マヘダレ	蓆	蠟	猫	男	帽	得ル能	惡キ

軍士等甲ヲ身ニマトヒ兵器ヲ手ニ持チ、スグニ子マノ入口ノ門ヲタ、キ呼テ日フ、(諸將)我々主人ナシ、(願)トオカ大尉即チ趙匡胤天子ニ致サント、匡胤オトロキ起テ子マキヲ着替レバ、衆兵トモ扶ケテ表席ヘ出テ、身ニ衣ルニ(袴袍)天子ノ衣ヲ以テス、衆兵(羅拜)ナラビ拜禮シテ(呼萬歲)ヨロコビ祝フテ、取りカコヒ馬ニ乘セ南ノ方汴州ヘ行ク、匡胤之ヲ辭退スレドモ赦サヌ、ソコテ匡胤(攬轡)クツハラヒカヘテ諸大將ト約束シ、軍兵ノ列ヲト、ノ仁和門ト云汴州ノ城門ヨリ入ル、(秋毫)イサ、カノモノモ人民ヲカスメ取ラヌ、剛ノ恭帝ツイニ位ヲ禪ル、匡胤支配スル所ノ(節鎮)任國ハ、宋州ノ歸德軍ト云處ナルニヨ 即位之初欲陰察群情頗爲微行或諫母

輕出上曰帝王之興自有天命周世宗見諸將方面大耳者皆殺之我終日侍側不能害也微行愈數日有天命者任自爲之不汝禁也中外驚服 匡胤天子トナルノハジメ、ナイク(群情)オホクノ人心ヲ知ラント思ヒ、以テカルクシク出アルクナカレトイケンシタ、上ノ日フ、天子ノ世ニ立ツハ、自然ニ(天命)天ノ運アリ、剛ノ世宗ハ(方面大耳)四角ナ顔デ大ナル耳ニテ貫キ人相ノアル大將ハ世宗之ヲキラフテ皆コロス、我レイツモソバニ在レテ、罷スガデキスト、内々歩行スルヲタンク、數多シ、ソウシテ日フ、天運ニ叶フモノハ誰レデモ自分ニ天子トナルカヨイ、決シテ其者ノ天子ニナルヲトメハセスト、(内外)朝廷ノウチソトノ者皆(襲服)オンレテシタガフ

○昭義節度使李筠故周宿將反於澤州上命石守信討之尋親征筠自焚死淮南平 昭義ノ節度使ノ李筠ト云ハ、元ノ周天子石守信ニ命令シテ征伐ヲサセ、引ツワイテ自分ニ征伐シタ、淮南節度使李重進ト云ハ、周ノ太祖ノムコナリマタムホンシタ、天子石守信ニ命ジテウタシメ、引ツワイテ自分ニ征伐シタ、重進軍ニマケ火ヲ投シテヤケ死ヌ、淮南オサマリ平ケ

○荆南高寶融卒弟寶勛代之 荆南ノ節度使ノ高寶融ガ死シテ、弟寶勛代リ立ツ

○南唐泉州留從効稱藩 荆南ノ泉州ト云地ノ留從効ト云人ガ藩臣ト云ヒテ從フタ

○建隆二年南唐主李景遷都于南昌以其子從嘉守建康景殂從嘉立更名煜 建隆二年ニ、南唐ノ主李景ハ都ヲ南昌府ト云漢州ノ地ヘウツシカヘタ、其子從嘉ト云人ヲ以テ建康ヲモラシム、景死シ、從嘉嗣グ、各ヲ煜トカヘタ

○上既誅筠重進召樞密直學士趙普問曰吾欲息天下兵爲國家長久計其道何如普言唐季以來帝王數易由節鎮太重君弱臣強而已今莫若稍奪其權制其錢穀取其精兵則天下自安又言殿前帥石守信等皆非統御才宜授他職上悟召守信等宴酣屏左右謂曰我非爾曹之力不至此然終夕未嘗安枕也居此位者誰不欲爲之守信等頓首曰陛下何爲出此言天命已定誰敢有

she	new	beg	pen	red	net	hen	bed
彼女	新キ	タノム	筆	赤キ	網	鶏	臥床

周祖之甥也亦反上命石守信討之尋親征重進自焚死淮南平 荆南ノ節度使李重進ト云人ハ、周ノ太祖ノムコナリマタムホンシタ、天子石守信ニ命ジテウタシメ、引ツワイテ自分ニ征伐シタ、重進軍ニマケ火ヲ投シテヤケ死ヌ、淮南オサマリ平ケ

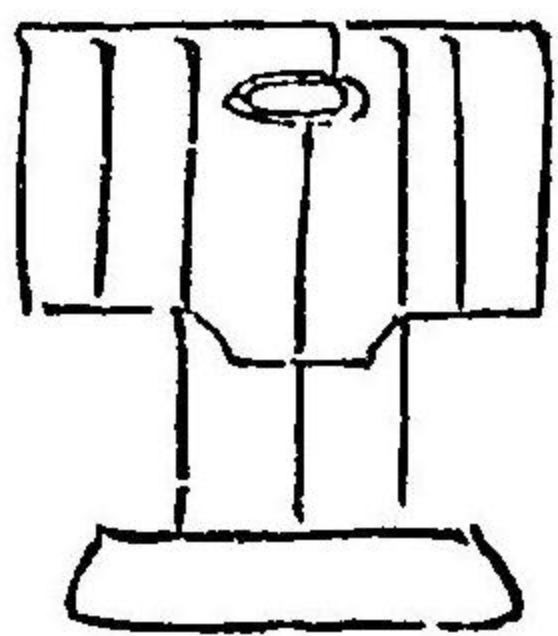
○荆南高寶融卒弟寶勛代之 荆南ノ節度使ノ高寶融ガ死シテ、弟寶勛代リ立ツ

○南唐泉州留從効稱藩 荆南ノ泉州ト云地ノ留從効ト云人ガ藩臣ト云ヒテ從フタ

○建隆二年南唐主李景遷都于南昌以其子從嘉守建康景殂從嘉立更名煜 建隆二年ニ、南唐ノ主李景ハ都ヲ南昌府ト云漢州ノ地ヘウツシカヘタ、其子從嘉ト云人ヲ以テ建康ヲモラシム、景死シ、從嘉嗣グ、各ヲ煜トカヘタ

○上既誅筠重進召樞密直學士趙普問曰吾欲息天下兵爲國家長久計其道何如普言唐季以來帝王數易由節鎮太重君弱臣強而已今莫若稍奪其權制其錢穀取其精兵則天下自安又言殿前帥石守信等皆非統御才宜授他職上悟召守信等宴酣屏左右謂曰我非爾曹之力不至此然終夕未嘗安枕也居此位者誰不欲爲之守信等頓首曰陛下何爲出此言天命已定誰敢有





フヤ	fig	無花菓
ヒム	him	彼男ヲ
ヒズ	bis	彼男ノ
リップ	lip	唇
ディグ	dig	堀ル
ディム	dim	暗キ

異心上曰汝曹雖無異心如麾下之人欲富貴何一旦以黃袍加汝之身雖不欲爲其可得乎皆頓首泣曰臣等愚不及此惟陛下哀矜指示可生之途上曰人生如白駒過隙所爲好富貴者不過欲多積金錢厚自娛樂使子孫無貧乏耳汝曹何不釋去兵權出守大藩擇便好田宅爲子孫計多置歌童舞女日飲酒相安不赤善乎皆拜謝曰陛下念臣等至此所謂生死而肉骨也明日皆稱疾請罷上モハヤ筠ト東進ヲ諷シテ後、樞密直學士ノ役趙普ヲメシテ曰フ、思フ、ドウシタナラバヨキゾト、普ノ言上ニ、唐國ノ末ヨリコノカタ、天子タビク、姓ヲカヘルハ、畢竟(節)鎮ノ鎮國ノマモリ役ガ威勢ヲヨク、國君ノ勢力ヨハク家來ノ威權ガツヨキニヨルワケデアアル、今カラタン、其權勢ヲウバハトルニコス、ハナシ、且ツ又其錢穀ノ高ナキ、其兵隊ノツヨキモノヲ朝廷ヘトリマトメ、國家自然ト治リテ安シ、(殿前帥)天子守兵ノ大將石守信杯ハ皆(統御才)大勢ノモノヲスベトリシマリノ才智アル人デナシ、相當スル外ノ職分ヲ申付ラルベシト、上其理由ヲサトリ、守信杯ヲ召シヨセ酒宴ノナカバニ、傍ノ者ヲシリゾクテ話シテ曰フ、吾ソナタ杯ノハタラキデナケレバ此ノ位ニナルニ至ラヌ、サレバ(終夕)夜ルルマダ以前ヨリ枕ヲ安クシテ樂ミテ寢ラレズ、此天子ノ位ニ居ル、ハ、誰ガ是レヲナスラ思ハヌデアラフヤト、守信等(頓首)頓首シバラク地ニ下ゲテ曰フ、陛下(臣ヨリ)天子ヲ指ス詞)何トシテ此ノ言ヲ申サル、天ヨリ運命ハモハヤキマツテアル、誰ガオシテ(異心)ソムク心アラフソ、上ノ曰フ、(汝曹)ナンガタチハ反心ナシト云フテモ、(麾下)統轄ス

フアル	fir	樅
シクス	six	六
ドグ	dog	犬
フサグ	fog	霧
ポット	pot	壺
ロット	rot	クサル
ノット	not	不
トップ	top	頂

ルモノガ富ミト貴ヲ願フテオルヲドットモ致シ方カナイ、一朝兵隊ヲヨリ(黃袍)天子ノ衣ヲ以テ汝タチノ身ニ衣セタナレバ、天子トナルヲ思ハヌト云ク何トシテ逃ル、カ出来ヤウヤ、皆頓首下ケテ泣位シテ曰フ、私共オロカニ思慮此所ヘト、カヌ、タ、陛下(哀矜)アハレシテ生命ヲ保ツベキノミチスガヲ教示セラレヨ、上ノ曰フ、人ノ一生ハ日影ノ墜アナヲ過キサルガ如シ、富ミ貴キヲ願フトコロノ主意ハ、澤山金錢ヲツミ重子、自分カラ(娛樂)心ヲタノシメ、其子ヤ孫ノ(貧乏)ナンギ不自由ノナキヤウニセント思フバカリナリ、汝等ドツカ兵ノ權威ヲトキサリ、朝廷ヲ出デ(守大藩)州ノ知事トナリ、(便好田宅)便利ヨキ田地屋敷ヲ求メ、子孫ノ活計ヲセヌソ、オホク(歌童舞女)ハヤシカタノ子供ヤ舞子ヲ傍ニオキ、日々酒ヲノミ相タノシムコト、マタヨキコトハナキカト、皆(拜謝)禮辭ヲ述テ曰フ、陛下私等ヲ念ヒ此厚キ言ニ及ブ、世ニ謂フトコロノ死人ヲ一タビ生シ、白骨ニフタ、ビ肉ヲ生ゼシムルト云フテ、其翌日ニ(皆稱疾)何レモ病

○趙普(趙普)人遇上於滁州用爲節度掌書記上即位後專與謀議倚信之 趙普ハ滁州ノ人デアアル、太祖ニ滁州ト云處セツトシノ書記トナル、太祖位ニツキタル後、一向ニ相談アツテ普ヲ頼ミトシテ親ム

○女眞貢馬 (女眞)東ノエビス古肅慎ト云國ノ末族ガ馬ヲ獻上シタ

○回鶻于闐來貢 (回鶻)ノ于闐ガ來貢シタ

○建隆三年泉州留從効卒衙將陳洪進推張漢思領軍務 建隆三年ニ、泉州ノ留從効ト云人ガ死シタ、(衙將)禁中ノ兵ヲツカサドル大将ノ陳洪進ガ張漢思ト云人ヲ薦メテ、軍營ノ軍務ヲスママトメシメル

○定難節度使周西平王李彝興貢馬 定難ト云西夏ノ地ノ節度使(周西平王)後周ヨリ封ジテ西平王トナル、李彝興ト云人ガ馬ヲミツギモトトシ獻上シタ

○武平武安鎮帥周行逢卒子保權領軍府衡州太

箱	狐	切ル	然レ厄	酒盃	盤	胡桃	銃
box	fox	cut	but	cup	tub	nut	gun

**守張文表作亂起兵據潭州保權表請教于宋**  
武平、武安ノ(鎮帥)國ノシツ  
 榘ガ軍務ヲ支配ス、衡州ノ守張文表ト云人ガ兵ヲ出シ  
 テ潭州ニ入コム、保權書面ヲ差上ケ援兵ヲ宋ヘ願フタ  
 ハレ。

**荆南高寶勣卒 兄子繼冲代之**  
荆南ノ高寶勣ガ死シテ、其兄  
 保融ノ子繼冲ガ代リ嗣グ

**高麗來貢**  
高麗ノ國ガ來リ  
 テミツギヲ獻ス

**乾德元年命暴容延釗等會周保權討張文表師出江陵高繼冲出降荆南平**  
乾德元年ニ、暴容延釗等ニ命令シテ、周保權等ニ出合フテ張文表ヲ征討セシム、軍兵江陵ヨリ進ミ出  
 ツ、高繼冲フセグ手立ナク出  
 テ降ル、荆南ノ地ガ平定シタ

**延釗至湖南文表先已敗死 保權聞宋師下荆南懼而拒守師進討之獲保權湖南平**  
延釗進シテ江南マデニク片、文表ハサ  
 キニ保權ノヤル兵隊ニ破ラレテ死ン  
 タ、保權宋ノ兵隊ガ荆南ヘ下ルトキ、其殺ハル、一ヲオソレテフセギ  
 守ル、宋ノ兵進ミテ之ヲ討チ、保權ヲトリコニシタ、湖南ノ地平定ス

**二年宰相范質王溥魏仁浦乞罷質等周朝舊相也自唐以來宰相惟面奏大政事餘號令刑賞除拜但入熟狀質等自以前朝大臣稍存形跡每事具劄子進呈退批所得聖旨同列皆書字以志之奏御之多始此質等既能以趙普同平章事**  
建隆二年ニ、宰相ノ范質、王溥、魏仁浦ト云人等  
 願フテ職ヲ免ゼラル、質等ハ周ノ朝廷ノ舊宰相

大陽	走ル	空氣	目	櫛	茶	蜂	童
sun	run	air	eye	oak	tea	bee	boy

相ナリ、唐國ヨリ後、宰相ノ官ハタゞ大事ナルマツリゴトヲ天子ノ前ニ言上ス、其外ノ(號令)布達ヤ、(刑賞)罪人ヲ刑シ、功アル人ヲ賞シ、(除拜)新タニ拜シ、地ヲ封スルトハ、但(入熟狀)コトガラカキシ書ヲ奏上ス、質等自分ハ以前朝廷ノ大臣デアアルガ故ニ、(存形迹)ヨリスラツケテ前後ニ氣ヲツケル、何事ニモ(劄子)カキツケテソロヘテ差上ル、退テ後ニ承ル所ノ天子ノ恩召ヲ我ガサシ上ゲタル書面ニカキナホス、同列ノ官皆押字シテ之ヲ志ルシオク、(奏御)書面ニテ天子ヘ進呈スルトノオホキト此時ヨリハシマル、質等宰相ヲヤメテ後、趙普ヲ(同平章事)宰相官トス

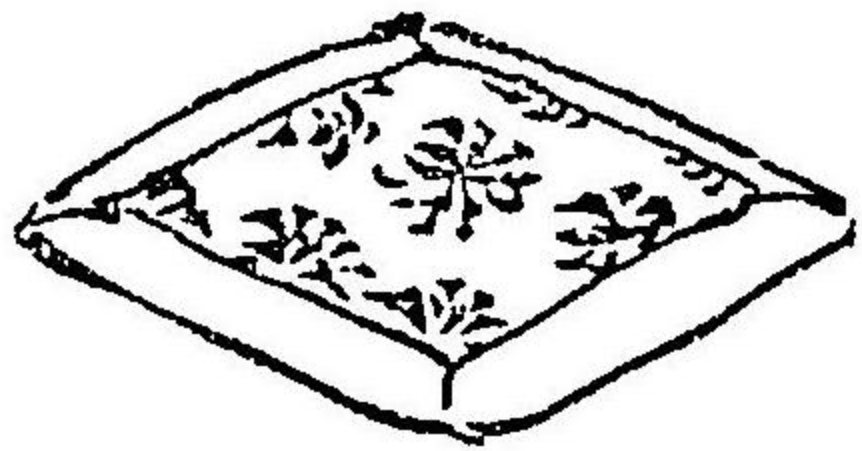
**命王全斌伐蜀 乾德三年蜀相李昊勸蜀主孟昶出降 蜀亡前蜀王氏之亡也 降表亦昊所草 蜀人夜書其門曰世修降表李家**  
王全斌ト云將官ニ云ロ付ケテ蜀國ヲ討セシム、乾德三年  
 ノ門ニ書付テ曰フ、代々降服ノ書ヲ  
 認ムモノハ李氏デアアルトアザケル

**初上命宰相擇前代未有年號以改今元及是得蜀鑑乃有乾德四年鑄字怪之召問學士竇儀曰昔偽蜀王衍有此號上欺曰宰相須用讀書人**  
初メ天子ハ宰相ニ云付テ前代ヨリ未  
 タ世ニナキ年号ヲサガシテ、今用フ  
 ル年号ニカヘタ、蜀ヲ討ツ片ニ及テ、蜀國ニテ鑄タル鏡ヲ得タリ、之ヲ見ルニ乾德四年ニ此鏡ヲ鑄ル  
 ノ字ガ形刻シタリ、上之ヲフシギニ思ヒ、學者チメシテ尋ヌルニ、竇儀ト云人ガ曰フ、昔シ偽蜀主  
 トナル王衍ノ片ニ此年号アリキ、上欺息シテ曰フ、宰相ハ宜ク讀書ニ通シタル人ヲ用非子バナラスト

**五年五星聚奎先是周顯德中竇儼楊徽之盧多遜同為諫官**  
初メ天子ハ宰相ニ云付テ前代ヨリ未  
 タ世ニナキ年号ヲサガシテ、今用フ  
 ル年号ニカヘタ、蜀ヲ討ツ片ニ及テ、蜀國ニテ鑄タル鏡ヲ得タリ、之ヲ見ルニ乾德四年ニ此鏡ヲ鑄ル  
 ノ字ガ形刻シタリ、上之ヲフシギニ思ヒ、學者チメシテ尋ヌルニ、竇儀ト云人ガ曰フ、昔シ偽蜀主  
 トナル王衍ノ片ニ此年号アリキ、上欺息シテ曰フ、宰相ハ宜ク讀書ニ通シタル人ヲ用非子バナラスト

デイ	チ	イ	イ	イ	イ
day	you	north	east	south	west
日月	汝	北	東	南	西
諸ノ					

シヤル	ミルク	シルク
shall	milk	silk
デアロウ	乳汁	絹



キング	シッパン
王	船

儼善推步嘗曰丁卯歲五星聚奎自此天下太平 二拾遺見之  
儼不預也至是果然 建隆五年ニ、五行ノ星ガ奎ノ宿リニアツマル、(奎ハ文章ヲ主ル星  
號ノ片、寶徽、揚徽之、盧多遜トモニ) 諫官(政事)ノ得失ヲ申立ル役トナル、寶徽ハ(善推步) 星曆ヲ推算  
シ、運氣ヲハカルトヨクスル、以前ニ曰フ、丁卯ノ年ニハ、五行星ガ奎宿ニヨリアツマラン、コレヨ  
リ其後ハ國家ヨク治ルトナルメシ、(二拾遺) 諫官ノ徽之ト多遜ハ見ルモ儼ハ其迄ニ死ンデ預リ見  
ヌト、是ノ丁卯ノ歲ニナツテ  
○夏州李彝興卒子光叡領軍務 夏州ノ李彝興死ス、  
果シテ其言ノ如クデアツタ 其子ノ光叡ガ軍ノ  
車務ヲ 支配ス ○開寶元年北漢主劉鈞歿養子繼恩立郭無爲弑之而立  
其同母弟繼元皆異姓子也 開寶元年ニ、北漢ノ主劉鈞死ス、養子ノ繼恩ガ立テ嗣グ、  
皆(異姓) 姓子ガ 郭無爲ト云人ガ之ヲ殺シテ、共同シ母ノ弟繼元ヲ立ツ、  
○雷德驥判大理寺官屬與堂吏附會宰相擅增減  
刑名德驥憤惋直詣講武殿奏之并言趙普強市人第宅聚歛  
財賄上怒叱曰鼎鑪尙有耳汝不聞趙普吾之社稷臣乎引柱  
斧擊折其二齒命曳出黜之 雷德驥ト云人ガ大理寺ト云フ刑獄ヲ主ル役所ノ判事  
トナル、其附屬官ト政事堂ノ官定ト皆宰相ニ(附會)ヨ  
リタノミテ附キ合フテ刑法ノ定リタルヲキマ、ニ罪ヲ増シタリ減ズコトヲナス、德驥之ヲイキドウリ  
ウラミ、スグニ講武殿ニ出デテノ事柄ヲ奏聞ス、アハセテ會上スルニ、趙普ヨリ二人ノ(第宅)ヤシキ

ヲ買ヒ(聚歛財賄) 財寶ヤマヒナイヲトリアツメルト、天子怒リシカツテ曰フ、(鼎鑪) カナヘヤナニ  
サヘ矢張耳ガアルニ汝チハ耳ナクテ趙普ガ吾ノ(社稷) 國家宗廟ニカ、ハル大切ナル家來デアアルヲキ  
カヌカト、(柱斧) オホロナル斧ヲ取り其二枚ノ齒ヲ  
ウチヲリ、側ノ者ニ云付曳出シテ官位ヲシリゾケタ ○二年命曹彬等伐北漢尋親  
征攻太原城久不下頓兵百草池中暑雨軍中疾疫詔班師 開寶二  
曹彬等ニ命ジテ北漢ノ國ヲウタシメ、引ツマキ天子自ラ征討シテ太原城ヲ圍ミセム、堅ク守リスシク  
服セヌ、兵隊ヲ百草池ト云處ニ屯ロス、暑中ノ雨ツツキニ  
アヒテ、軍兵中ニ疫病流行シ、上詔シテ軍兵ヲ引上ケタ ○上自即位或微行幸功臣  
之家不可測趙普每退朝不敢脫衣冠一夕大雪普意上不復  
出矣久之聞叩門聲異甚亟出則上立雪中普惶恐迎拜即普  
堂設重裯地坐熾炭燒肉普妻行酒上以嫂呼之普從容問曰  
夜久寒甚陛下何以出上曰吾睡不能著一榻之外皆他人家也  
故來見卿普曰陛下少天下邪南征北征此其時也願聞成算  
所向上一曰吾欲取太原普默然良久曰非臣所知也太原當西北  
二邊使一舉而下邊患我獨當之何不姑留以俟削平諸國彼

クヰン	クラン	シン	ミン	カ	グレイ	メイド
queen	crown	thing	mean	cow	great	maid
王妃	冠	事	思フ	牝牛	大ナル	下女

ワイン	フアイ	ライス	スイート	スピーク	シー	レイン
wine	fine	rice	sweet	speak	see	rain
酒	美ナル	米	甘キ	話ス	見ル	雨

彈丸黒子之地將何所 逃 上笑曰吾意正爾姑試卿耳於是用  
 師荆湖繼取西川 天子位三即テヨリ、アルロハ(微行)シノビニテアルキ、手ガアラル家來  
 テ朝服ヲヌガヌ、一夕大ニ雪フル、普思フニ上ハマサカニ出ラレヌト、暫ラクアリテ門ヲタク膠  
 キク、フシギニオモフヲ甚シ、ニハカニ出テ見レバ、天子嘗ノ積ル中ニタツ、普イソレテムカヘ拜  
 ス、天子普ノ家ニ入ツテ、(雨襖)ニ重ブトシキテ(地坐)椅子ナシニスハリ、炭火ヲオコシ肉ヲヤ  
 キ、普ガ妻ハ酒ノシヤクヲスル、天子ハ普ノ妻ヲアサント呼ブ、普(從容)ユルヤカニ問テ曰フ、夜  
 ケアサムサ甚ダシ、陛下何故ニ出ラレシカト、上曰フ、吾子テモオチツカヌ、(一榻)ヒトツノ子ダイ  
 ホカハ、皆ヨソノ家ナリ、(此ノ主意)ハ天下カマタ一定セズシテ、處々英雄ガ立テコモルヲ云フソレ  
 ニヘニ尋テソナタラ見ル、普曰フ、陛下天下ノ廣キモセバシトスルカ、南方ヲウチ、北方ヲ攻メルハ、  
 今其時機デアアル、何卒(成算)ムナザンヨウノサシムク處ヲ承知致シタシ、上ノ曰フ、吾大原ト云北  
 主ノ都ヲ手ニ入ヤウト思フ、趙普(默然)言禁ナク暫ラクシテ曰フ、私ノ思慮ノトク所デナイ、太原  
 ノ地ハ西北ニ簡所ノエビスヲ引ウケオル、一タビ征伐シテ手ニ入ルレバ、彼ノ二處ノエビスノ侵入  
 ルソナヘハ宋ノ國バカリニテフセキトメン、其難ヲデアル、ソレヨリハドウシテ暫時太原ヲトル  
 見合セテ、諸國ノ領分チケツリ定メルヲ待レヌゾ、彼ノ太原ハ(彈丸)黒子ノハジキ玉ホクロノ如キ小ナ  
 ル土地ニテ、諸國サヘ平ヒラガバ、ナシテ逃レテニケルカアラウヤ、上ノ曰フ、吾ガ思フトコロモソ  
 ノトウリナリ、聊カソナタノ氣ヲタメシタルナリト、是ニヨリテ、嘗因北漢謀者語北漢  
 兵隊ヲ荆湖湖北ヘ向ケ、ツイテ西川ト云蜀國ノ地ヲトル、  
 主鈞曰君家與周氏世仇宜不屈今我與爾無所間 何爲困  
 此一方之人鈞遣謀者復命曰河東土地兵甲不足當中國之什  
 一區區守 此蓋懼漢氏之不血食也 上哀其言終鈞之世不以

大軍北伐及繼元立 始用兵 上マヘカタ北漢ノ(謀者)シノビノ者ニヨリ北漢ノ主鈞  
 カタキデアアル、其服從セザルハ道理ナリ、今我トナシテトナカノアシキフハナキニ、ナゼニソノモヨ  
 リ方角人ヲクルシメルゾ、鈞(謀者)シノビラヤリ、(復命)ヘンジシテ曰フ、河東ト云處ハ土地モ兵卒  
 モ中國ノ十分ノ一ニモ及バヌ、(區區)サ、イナコノ地ヲマモリ居ル、ソノ心ハ漢氏ノ(血食)先祖  
 祀リモ絶ヘルカトオソル、ナリト、上其言ヲフビニ思ヒ、鈞ノ存生中ハ、大兵ヲ差向ケテ北方ヲ  
 征伐セラレヌ、子ノ繼元ガ代リテ主トナル  
 立其伯父兀欲之子明記更名賢 是歲契丹弑其主述律號穆宗迎  
 テ、名ヲ賢ト アラタメタ ○三年命潘美伐南漢四年克廣州劉鋹降南漢 開寶三  
 ヨリ潘美ト云人ニ命シテ南漢ノ國ヲ征討ス、四年ニ、 ○六年交趾丁璉上表求内附  
 南漢ノ都廣州ニ攻入ル、主ノ劉鋹降服シ、南漢亡ブ  
 詔以爲靜海節度使安南都護 開寶六年ニ、交趾ノ丁璉其面ヲ差上テ、附屬トナリ從  
 (都護)總 管理トス ○趙普能相領河陽三城節度普沈毅果斷以天下爲己  
 任嘗欲除某人爲某官上不用明日又奏之上怒裂其奏普徐  
 拾以歸補綴以進上悟乃可之又有立功當遷官者上素嫌其

moon	stone	cold	old	sieve	lie	time
月	石	寒キ	古キ	篩	ル	時
					ヨコニナ	

how	white	plum	true	use	spoon	goose
如何様ニ	白キ	梅	儲ナル	用フ	匕	鵞鳥

人不與普力請下 日朕固不與奈何普曰刑賞天下之刑賞安  
 得以私喜怒專 之上不聽起普隨之上入宮普立宮門不去上  
 卒可之普常設大獲於閭後表疏意不可者 投其中焚之其多  
 得謗以此 雷德驥之子又許之上始疑普先是雖置參知政事  
 以副普不宣制不押班不知印不升政事堂至是始詔二參政升  
 政事堂同議政更知印押班與普 齊 未幾普遂罷 薛居政呂  
 餘慶等其後繼爲相 趙普宰相辭退シテ河陽ト云孟州ノ地アル(三城) 盛龍、成德、魏博  
 物ニキレハナレガアル、天下ヲ治メルヲ以テ自分ノ役目トナス、マヘカタ某人ヲ拜命シテ某官ニセン  
 ト思フ、上其言ヲ用井又、其翌日マタ採用ヲ申立ル、上怒テ其書面ヲサキヤブル、趙普シツカニヒラフ  
 テ以テカヘリ、(補綴)ツギツマリテ以テ進職ニ入レル、上心付キテ、ソコテ認可シタ、又手カラヲアラ  
 ハシ官位ヲス、メルニ當ルモノアリ、上モトカラ其人ヲキラフテ官位ヲ與ヘヌ、趙普オシテ願フ、上  
 ノ日フ、ワレドウシテモ官ヲ與ヘ子ハドウスルカ、普日フ、(刑賞)人ヲ罰シ人ヲホメス、ムルハ、天下  
 公平ノ刑賞デアル、アナタドウシテカ自分ノ(喜怒)ヨロコビイカリヲ以テ、之ヲカツテニ取扱フ、  
 ナラフゾト、上承諾セズシテ起テ與ヘ入ル、趙普アトカラ從ヒユク、上宮内ヘ入ル、普御殿ノ門前ニ立  
 チロカヘテ退カヌ、上ツイニ之ヲ認可ス、普ツ子ニ(大題)オホロナルカメヲ居マノ後ニ備ヘオキ、  
 下ヨリ天子ヘ上ル簡條書ノ我ガ意ニハマラスモノハ、カメノ中ヘイレテ焚キ棄ツル、(其)普ノ人ニオ  
 ホクンシラル、モノハ此ノ故デアル、雷德驥ト云人ノ子ガ又此事ヲアバキ申立ツル、ソコデ上ハツメ

趙普ヲ嫉フタ、是ヨリマヘカタ(參知政事)政事ノ相談役ヲオキ、以テ普ノソヘヤクトスレ、(不宣  
 詔)天子ノ詔ノ如キヲ披露セズ、(不押班)入朝ノ百官ノ位ツケヲシラヌ、(不知印)文書ニ自分ノ印  
 ツ押サヌ、政事ヲ裁判スル堂ヘモ昇ホシアゲヌ、是ノ時ニハジメテ二人ノ參政官ニ命令シテ、政事堂  
 ニ昇リテ共ニ政事ヲ議論シ、(更)誰レ彼レノ別ナク印ヲ押シ、列坐ノ百官ノ位ツケヲシラベル、  
 參政事モ趙普モ同様ニシタ、未タ日ヲ經ツシテ普ツイニ官ヲヤメラル、薛居正、呂餘慶ト云人等ガ其  
 後相ツギテ 〇七年命曹彬伐江南初上屢遣使喻江南國主李煜入  
 朝 不至乃以彬及潘美等討之戒以切勿暴略 生民務廣  
 威信使自歸順不須急擊取匣劍授彬曰副將而下不用命者  
 斬之美以下皆失色自王全斌平蜀多殺人上每恨之彬性仁厚  
 故專任焉先是江南樊若水舉進士不第上書言事不報乃釣  
 魚采石江上以繩度江廣狹詣闕陳策上用其言令荆南造大  
 艦爲浮梁以濟師至是用之不差尺寸 開寶七年ニ、曹彬ト云人ニ命令アリ  
 使者ヲ出シテ、江南ノ國主李煜ニサトシテ朝廷ヘ慶賀ニ至ラシム、承服シテキタラヌ、ソコデ曹  
 彬、潘美等ヲ以テ征討セシム、戒メラル、ニ、キツト人氏ニ對シテ(暴略)テアラク物ヲ掠メトル、  
 スナ、ツトメテ威光信義ヲオシ開キ、自分ヨリシタガロナツカシメヨ、俄ニ兵ヲ差向ケ討チヤブル  
 ナカレト、(匣劍)ハコイリノ劍ヲトリ出シテ曹彬ニ與ヘテ日フ、副將ヨリ下ノ者命令ニシタガハザル  
 片ハ之ヲキレト、潘美ヨリ下皆恐レテ顔色ヲカヘタ、王全斌ト云人ガ劄ヲ征伐シテ多ク人ヲ殺シテカ

ホヰル	ラム	スラム	クライ	サイン	ナツト	ナシユ
whale	lamb	thumb	climb	sign	gnat	gnash
鯨	子羊	大指	登ル	記ス	蚊	齒ス チナラ

ナイフ	ノウツ	ノ	カフ	ハフ	ワチ
knife	knowledge	knee	calf	half	walk
小刀	學問	膝	子牛	半	遊歩

ラ、上イワモ之ヲ恨ミオ、曹彬ガ性質ハ(仁厚)メクミアリテ手アツシ、故ニ(專任)此度ハ一向ニマカセタ、是ヨリサキニ江南ノ樊若水ト云人州ヨリ選ミアゲラレ、及第セズシテカヘル、書面ヲ差出シテ國事ヲ言上スレ其沙汰ナシ、ソコ魚ヲ采石ト云江ノホトリニツリ、(繩)ツリ糸ヲ以テ江ノヒロセマヲハカリ、宋ノ朝廷ヘ詣リ江南ヲトルハカリ、陳述ス、上其言葉ヲ採用セラレ、荆南ニ命令シテ大船ヲ造リ、(浮梁)舟橋トシ、以テ兵隊ヲ濟ダス、コノ舟若水ノ策ヲ用サルニ、(尺寸)イリ、カモ言ニチガハナカッタ

○八年曹彬圍金陵急 李煜遣徐鉉入貢求 緩 兵鉉言煜以小事大如子事父其說累數百上曰爾謂父子爲兩家可乎鉉不能對還尋復至奏言江南無罪辭氣益厲上怒按劍曰不須多言江南亦有何罪但天下一家臥榻之側豈容他人鼾睡乎鉉惶恐而退金陵受圍自春徂冬勢愈窮蹙彬終欲降之累遣人告煜曰某日城必破宜早爲之所一日彬忽稱疾諸將來問彬曰彬之疾非藥能愈諸公若共爲信誓破城不妄殺一人則彬病愈矣諸將皆許諾焚香約誓翌日城陷煜出降南唐亡捷書至上泣曰宇縣分割民受其禍攻城之際必有 橫 罹鋒鏑者可

哀也彬還舟中惟圖籍衣衾閣門通其榜子曰奉勅江南幹事回其不伐如此

開寶八年ニ、曹彬ガ金陵ヲ攻メ圍ム丁急ニ迫ル、ソコ李煜ガ徐鉉ヲ遣シテ以テ大國ヘシタガフ、子ノ父母ヘ幸ヲ盡スヤウデアルト、其說ヲ數百ナラベ立テ述ブ、上曰フ、汝子父子トモ云フモノガ兩家ニ分カレテ居テヨキト思フガ、此ノ意ハ李煜ガ宋ニシタガフナラバ地ヲアゲテ降参スルガヨシト、鉉答辨ナクシテカヘル、其後フタ、ビ來リ奏聞シテ云フ、江南ハ天子ヘソムキタル罪ナシト、(辭)コトバツキカイヨ、ソコ上怒リ劍ノツカニ手ヲカケテ曰フ、(不須多言)コトバカズラ言ニ及バズ、江南モマタ何ノ罪ガアラフ、タゞ天下ハ一軒ノ家デアアル、(臥榻之側云々)我が子ダイノンバニ、ナニシテ他人ノ(鼾)子テイビキカクヲ承諾デキスト同ジク一統ノ天子アルニ、ソレニ服從セザルモノハ其マ、ニオケヌト云フ、徐鉉(惶恐)オソレ入テ退キサル、金陵城ハ圍マレテ、春ヨリ冬ニタチユク、兵ノ勢ロイ、(窮蹙)クルシ、チママル曹彬之ヲ降服セシメント思フテ、(使者)ヲ城中ヘイレ李煜ニ告ゲサトシテ曰フ、某日ニハ城ガキツト破レル、ヨロシク今ノ内ニ其所置ヲ致セヨト、或日曹彬ニワカニ病氣ト披露ス、諸將見舞ニ來ル、彬ガ曰フ、僕ノ病氣ハ藥石ノヨク療治スル所デハナイ、諸君モシ俱々(信誓)約束シテ城ヲセメ破ルニ、一人モ(妄殺)ムヤミニ殺サ子バ、僕ノ病ハ平癒スルナリ、諸將何レモ(許諾)承諾シ、香ヲタキ(約誓)約束ヲキメタ、廿一日城ガ落チタ、李煜ハ出テ降服ス、南唐ノ國ハ亡滅ス、(捷書)軍ニ勝タル報告ノ書面ガ到着ス、上泣テ曰フ、(宇縣)世界サマ、(ワカレ)、人民ハ其ワザハロラ受、落城ノ片ハ、キツトミダリニ刀ニカ、リテ殺サレタル者アラフ、隣ムベキコトデアルト、曹彬カヘル、舟ノウチハ(國籍衣衾)エツヤ書物衣類フトンアルノミ、(閣門)奏聞ヲ取次スル役所ヨリ(榜子)己ノ名札ヲ出シ曰、詔命ヲ江南ヲ打ニニケケテ、(幹事)此度事ヲナシハタシテカヘルト、其功ニホコラスハ平素此通デアル

○九年 吳越王錢俶來朝辭歸上賜以黃袱封緘甚固曰途中宜密觀及啓之皆群臣乞留俶章疏俶感懼

開寶九年ニ、吳越下ノ錢俶ト云人ガ參朝ス、イトマヲ告ケテ國ヘカヘル、上(荷)

ハイ	high	高キ
ライト	light	光
ナイト	night	夜
エイト	eight	八
ラフ	laugh	笑
ニムフ	nymph	神ノ名

祇(キ)色ノフクサヲ與ヘタ(封)織ソノフウシカタガ至テ固クシテアル、ソウシテ曰フニ、旅中ニテ内証ヲ見ヨト、其途ニテ之ヲロラクニ、皆臣下ノ錢俵ヲ拘留セント願フ(草)城(書)面ナリ、傲(心)シテオソル

○上如西京謁宣祖安陵上西京謁宣祖安陵

○夏四月郊都民垂白者相謂曰我輩少經離亂

不圖今日復觀太平天子儀衛有泣下者夏四月天帝ヲ南郊ニテ祭ル、都下ノ人民(垂)白(老)若相與ニ語シテ曰

○上欲留都洛陽群臣咸諫上曰吾且都長

安晋王叩頭曰在德不在險上曰吾將西遷者欲據山河之勝

而去冗兵晋王之言固善今姑從之不出百年天下民力殫矣

乃還大梁上留リテ西京ニ都セント思フ、諸臣下ニナイケンス、上ノ曰フ、吾レシテナラバ當分長安今ノ陝西々安府ニ都ヲ遷サント思フ、晋王即チ太宗ガ(叩)頭ヲ地ニタ、キツケテ曰フ、兎角都ヲ定ムルモノハヨキ政治ニアリテ險峻ノ土地ニ據ルワケデナキ故土地ニハヨラヌト、上曰フ、吾レ西ニ遷ラントスルハ、(山)河(險)阻ニテ要害ノスグレタル處ニ立テヨツテ、(元)兵(ム)タニオシ兵隊ヲヤメント思フタガ、晋王ノ言バマコトニ理ニ叶フ、今暫時其言ニシタガハ

然シ只今ノ處ニ都シテハ、百年モタ、ズシテ(天)下ノ民力殫矣(徵)兵ガ多分力、リテ人民ノ力ハヨハルデアアル、ソコデ大梁即チ東京ニカヘル

○上崩在位十七年改元者三曰建隆乾德開寶壽五十五上仁孝豁達有大度陳橋之

フワイ	phiz	顔
ライト	write	書ク
ワググ	wriggle	動ク
◎詩ノ作法		
起		第一ノ句ナリ、題ニ就テ云ヒ起ス
承		第二ノ句ナリ、第一句ノ意ヲ承ク
轉		

變迫於衆心泊入京師市不易肆嘗一日罷朝坐便殿不樂者久之左右請其故上曰爾謂爲天子容易邪適乘快指揮一事而誤故不樂耳嘗宴近臣紫雲樓下因論及民事謂宰相曰愚下之民雖不分菽麥藩侯不爲撫養務行苛虐朕斷不容之太祖

○開寶初修京城及大內營繕畢

上坐寢殿令洞開諸門皆端直軒豁無有壅蔽因謂左右曰此如我心少有邪曲人皆見之矣開寶ト云年號ノハジメニ、京都ノ城ト禁裏御所ヲ(修)シキニ居テ諸役所ノ入口ヲ(洞)開(ス)ツバリ開カセル、皆(端)直(軒)豁(タ)マシクマツスグニカラリトシテアル、(壅)蔽(オ)、ヒカクル、(カ)ナイ、ソコデツバノ官員ニ語シテ曰フ、此レデコソ吾ガ心ノ如ク、

第三句ナリ、意ヲ轉ジテ實ニ入り、結句ヲ生ズルヤウニナス

第四句ナリ、此ノ句ニテ結ビアハスナリ

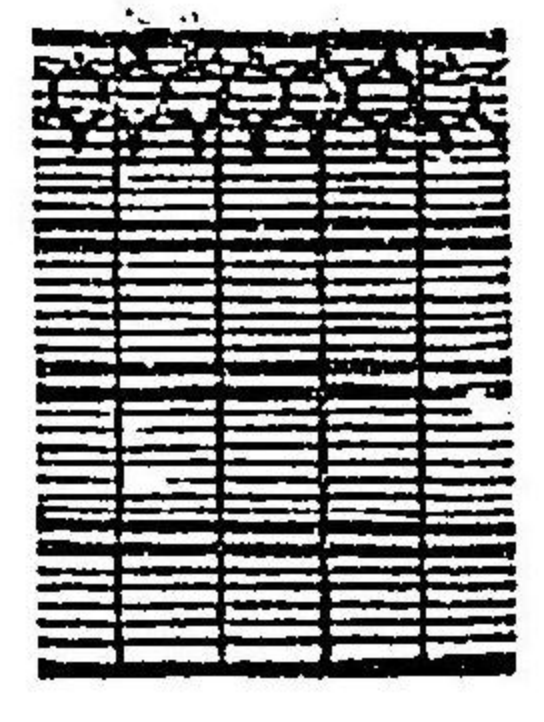
◎五言絶句平起正格

自圈ハ平、黑圈ハ仄半圈ハ平ニテモ仄ニテモ用ヒテ若シカラズ

起 ○○○●●承 ○○○●●轉 ○○○●●韻 ○○○●●韻 ○○○●●韻

◎同仄起正格

イサ、カニテモ(邪曲)ヨコシマナル事ガア  
平蜀之後嘗擇其兵百餘爲川班殿  
直郊禮行賞以馬直扈從特增給川班擊登聞鼓援例陳乞  
上怒曰朕之所與即爲恩澤豈有例邪斬其妄訴者四十餘人  
餘悉配隸諸軍遂廢其直  
天子罰ヲ討チ平ケシノチ、アル片蜀ノ兵隊スグレタル者百餘人ヲ拔キ、川班殿直ノ兵トシタ(此レハ蜀ノ東川四川ト云地ノ班列ノ兵ヲ以テ、御殿ニ宿直サセルト云意ナリ)(郊禮行賞)郊原ニテテマツリ、畢ツテ軍功ノ賞與ヲ施コス、御馬直ノ兵(扈從)帝ニ從テ征伐スル故ヲ以テ、特別ニ優給ヲ增シテ、一人ニ付錢十錢ヲ增シテ五千錢トス、川班ノ兵ガ(登聞鼓)太鼓ヲウチ(援例)御馬直ノ例ヲ申立テ增給ヲ請願ス、(登聞鼓ハ階ノ制ニ、凡ソ天子ノ奏聞訴訟スル者ハ、鼓ヲ過チ、其聲上ニ達シテ、有司ノシヤマヲフセグナリ)上立腹シテ曰フ、吾ノアタヘシ所ハ、取モ直サズ(恩澤)メグミテアル、ナニシテオキテ定メカアロフヤ、ソコテ安リニ道理ヲ辨ヘズ願ヒ出ス者四十人アマリヲ斬殺シ、其外ノ者ハ殘ラズ諸軍ニツリツケタ、ツイニハ川班ノ守衛ヲヤメラレタリ  
内臣有違事後唐者上問莊宗英武定天下享國不久何也其人言其故上撫髀嘆曰二十年來河戰爭取得天下不能用軍法約束誠爲兒戲朕今撫養士卒不吝爵賞苟犯吾法惟有劍耳五代以來藩鎮強盛上以漸削之罷諸節鎮專用儒臣分理郡國以革節鎮之橫 又



起 ○○○●●承 ○○○●●轉 ○○○●●韻 ○○○●●韻 ○○○●●韻

◎五言絶句ノ作例

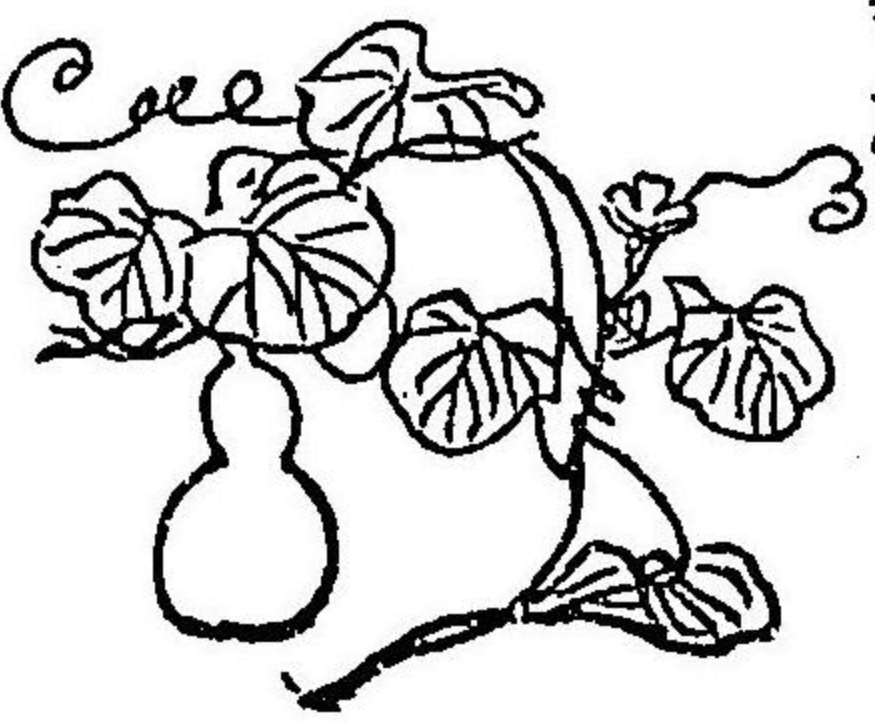
打起黃鸝見、莫教枝上啼、啼時驚妾夢、不得到遼西

置諸州通判以分刺史之權自是諸侯勢輕禍難不作專務愛養民力罷卻貢獻禁進羨餘常衣澣濯之衣寢殿青布綠葦簾晚節好讀書嘗歎曰堯舜之世四凶之罪止於投竄何近代法網之密邪  
(内臣)官官ノ内ニ後唐ノ世ニ仕ヘシ者アリ、上問フニ、後唐ノ莊宗ハ(英武)才智武者其理由ヲ申上ケル、上(撫髀)モ、ヲウツテ嘆息シテ曰フ、莊宗ハ二十年ノ間(夾河)梁ト河ヲ中ニシテ戰闘シ、漸ク天下ヲトリ得タ、軍ノ法律ヲ以テ(約束)トリマシメ、シカシイサ、カモ吾ガナリ、吾今士卒ヲ安撫教養シテ、(爵賞)土地ヤ位ヲ人ニ與ヘルヲオシマス、シカシイサ、カモ吾ガキメタル法律ニシムキタガヘバ、(有劍耳)劍ヲ以テ斬殺スルマデナリト、五代ノ時分ヨリ(藩鎮)鎮守ノ勢ヒツヨシ、上シタイ(ニケツリ)弱ハメテ、諸ノ鎮守將軍ヲ免職サセ、主トシテ學者ヲ用ヒ、郡國ヲ手分シテ政事ヲサセテ、以テ是迄鎮守ノキマ、ナル弊ヲ改革シタ、又諸州ニ(通判)今ノ裁判官ヲオキテ、州知事ノ刑罰ノ權ヲ分ケトル、是レカラシテ諸大名ノ勢力ガ輕クナツテ、(禍難)ナンギソウトウカオコラス、カンジントシテ氏ノツリキヲ(愛養)アヒシメテ、貢トシテ献上スルモノヲヤメ、諸役所ヨリ手當金ノ(羨餘)殘額ヲ天子手元金ニ献上スルヲ禁制シ、常ニ(澣濯)センタクモノ、衣類ヲ着ル、表ノ御居間ハアホキ布ニテヘリナトリタル葦ノステラレタレルナリ、(晚節)年若テカラ書ヲ覽ルヲナスカル、或時歎シナケイテ曰フ、堯舜ノ世ニハ(四凶)四人ノアシキ人ノ罪ヲ罰スルニ、(投竄)遠方ノ地ヘシリツケオクフニスギヌニ、ドウシテ近頃ハ(法網)法律規則ノキビシクナツタデアルトヤクヘイン  
削平諸國必招之不至而後用兵及其既降皆不加戮禮而存之  
終其世嘗幸武成王廟觀從祀有白起指曰起殺已降不武命

宋太祖皇帝



上ノ二句ハウグロ  
スノ啼クヲ云ヒ  
ノ必ス打起スル者  
全ク三句ハ一詩  
ハタメノ故ナリ  
四句ハ自ラ流出ス  
故ニ三句ハ一詩  
上下ノ關係トシテ  
最モ肝要ナリ  
ニ詩ヲ教ヘ絶句ヲ  
作ルヲ學バシムル  
ニ須ラク此ノ種  
ノ詩ヲ熟讀スベシ



◎七言絶句平起正  
格  
起 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
承 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
○韻 ○韻

去之周恭帝封 鄭王後遷于房州上以辛文悅長者 俾為房州  
守恭帝先上二年始卒上發哀輟朝十日還葬如禮 太祖が諸國ノ  
ツリトリ、セヒビヨセテ、從ヒコヌ片ニナツテ兵隊ヲ差向ル、其モハヤ降服スレハ、皆其人ニ誅罰  
ヲ加ヘス、禮義ヲ以テ扱ヒ、其恭帝ヲ完クオハラシム、アル片(武威王)周ノ太公望ノ廟所ヘミユキア  
リテ、ソバニ祀リアル素ノ白起ノ像ヲ見テ、指シ示シテ曰フ、白起ハモハヤ降服シタルモノヲ殺シタ、  
武勇デハナイト、命令シテ其像ヲトリノケシメタ、周ノ恭帝ガ鄭王ニ封セラレテ、其後房州ヘ遷シヤ  
ラル、太祖 辛文悅ト云人ノ(長者)心寛カナル人柄ヲ以テ、房州ノ守トス、恭帝 太祖ニ先ツ二年ニテ  
死去シタ、太祖(發哀)哀ノ被露ヲシテ、朝廷ヘ出御ヲヤメタルヲ十日テアル、恭帝ノ死骸ヲ都ニツレ  
カヘリ葬ルニ王ノ禮  
ノ取扱ヒヲ以テシタ  
上初入京時周韓通死節追贈優厚王彦昇棄命  
專殺終身不授節鉞受禪之際倉卒未有恭帝禪制學士陶穀出  
諸懷中 上薄之穀久在翰林頗怨望上曰吾聞學士草制依樣  
畫葫蘆耳何勞之有卒不登之政府内外官有時望者籍記姓名  
以待不次選用稱職者多久任不遷定銓選法嚴舉主連坐法嚴  
賊吏法有實極刑者懲五代藩鎮苛征重斂之弊寬商征寬麴  
鹽酒禁倉吏多入民租者或棄市五代多以武人為牧守率意用

轉 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
合 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
◎同仄起正格  
起 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
承 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
轉 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
合 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○  
○韻 ○韻

◎七言絶句作例  
此ノ絶句ヲ作ル法  
モ亦第三句ヲ以テ  
主トス、然ル起承  
二句ヲ雄トス、但  
シ五言ヲ作ルニハ  
質朴ヲ尚ブ、七言  
ハ華麗ナルヲ尚ブ  
ナリ  
罷釣歸來不繫船、

刑上懲之故 入者必抵罪定大辟詳覆法定折杖法頒新刑  
統一定差役法作版籍戶帖戶鈔長吏有度民田不實者或杖流  
之諸州旱蝗賑饑蠲租惟恐不及舉德行孝悌親策制科舉  
人放進士榜 嚴覆試法御殿親試進士試書判拔萃數幸國子  
監詔天下求遺書初用和峴所定雅樂初行劉温叟所上開寶  
通禮二百卷命宰執日記時政送史館撰 日曆制度典章彬彬  
有條理太弟晉王立是為太宗皇帝 太祖ハジメニ京都ヘ入り込ム片、周ノ韓通ト  
死シタ、(追贈)アトヨリ官位ヲオクリ丁寧ニ取アツカフタ、其時ニ王彦昇ト云人ハ命令ニソムキ安ニ  
人ヲ殺シタ、ソレユヘ(終身)一生(節鉞)大將ニセヌ、周ノ韓ヲウクル片、(倉卒)ニハカノコテ周ノ恭  
帝ヨリノ(禪制)位ヲユツルト云フ詔リナシ、學者ノ陶穀ト云人ガ其ミコトノリノ書ヲ、フトコロカラ  
取出シテ差上ケタ、上薄之(ソノ)不出ヲ惡クミウトンス、陶穀イク年モ、翰林ト云、學士ノ官ニ居テ昇  
進セヌ、(頗怨望)ヨホド心ニソクニ思フ、上ノ曰フ、吾キク學士ガ(草詔)天子ノ詔リヲ下書スルハ、  
(依梳)手本ヲ見テ、(畫葫蘆耳)ヘウタンヨカクヤウナモノデアアル、何ニモホ子オリハナイト、ツイニ  
此ノヒトヲ、政事堂ノ役人ニセヌ、(内外官)朝廷ヤ地方ニ勅ムル官員ニテ(時望)ソノ片ノ人望アル者  
ハ、其苗字ヲ、帳面ニカキシルシオキテ、(不次選用)位ノ順序ニカ、ハラズ、學ケ用ユ、(稱職者)役劬  
ニ應ズル人ハ、ナガクオイテ遷シカヘヌ、(定銓選法)才能アル人ヲ擇ブ法ヲ定メ、(舉主連坐法)ヤク  
ニタ、又人物ヲ撰選スル片ハ、マキゾヘノ罪ニオトス法ヲ嚴重ニ立テ、(賊吏法) マイナヒヨ取ル役

江村日落 正堪  
眠、縱然一夜風  
吹去、只在蘆花淺  
水邊、

此ノ第三句ハ虚接  
法ニテ空ニイロ出  
スナリ、首句不繋  
船「三字ヲ以テ根  
據トシ、三句ニテ  
ソノ意ヲハナチ、  
末句ニテ收メルナ  
リ

太宗ノ興國六年  
ハ日本圓融帝天  
元四年也、是ノ  
年菅原文時卒ス  
興國八年ハ日本  
永觀元年ナリ、

永觀寺ヲ立ツ  
太宗ノ雍熙二年  
ハ日本花山帝即  
位元年ナリ明年  
花山帝位ヲ花山  
寺ニ遷ガル又明  
年ハ日本一條帝  
即位元年ナリ  
太宗至道三年ハ  
日本一條帝長德  
三年ナリ此ノ年  
源滿仲卒ス  
◎五言律詩平起正  
格

人ヲ罰スル規則ヲ嚴重ニシテ、(極刑)死刑ニアテラ、者モアル、五代ノ時分(諸鎮)大名ヲノ、(苛征  
重斂)手ロトク稅ヲトリ、二重ニ子シテトリタテ、アシキナラヒニコリテ、(商征)アキンドノウシ  
ヨウヲユルメテ、(狗彘塗禁)人民ガ勝手ニ狗ヤ鹽ヲ造ルノ禁制ヲカクル、(倉吏)今ノ收稅官ニテ  
多分ニ人民ノ子シテ取リ立ル者ハ時ニヨツテハ、死罪ニアフ、五代ノ世ニハ、大テイ、武官ノ人ヲ以  
テ(收守)州ノマモリ、郡ノマモリニスル故、(率意)己レノオモフマ、ニ刑法ヲ用ユ、太祖ハコレニコ  
リテ(故入者)、ワザト人ヲ罪ニイル、モノハ、キツト相當ノ罪ニアテ、(大辟詳覆法)死罪ノモノハ  
シソコナヒノナキ様、念ヲ入レテ二度トクリカヘシテ吟味スル法ヲ定メ、(折杖法)杖刑ノ數ヲ、或ズ  
スル法ヲ定メ、譬ヘバ杖百ヲ減シテ二十トスノ類ナリ、(新刑統)新タニ定メシ刑法書ヲ頒布、(差役  
法)人足ヲ役ニアテ、(版籍)戶籍帳ヤ(戶帖)人民ノ手元ニアル戶籍ヒカヘ帳(戶鈔)戶券ナ  
ドヲツクル、(慶民田不實)役人ノ民田ニサホヲ入ル、ニ間數ニマチガロアル者ハ(杖流之)タ、キ又  
ハ遠島ヘウツス、(諸州ニ)早蝗)ロ德里イナ虫ノ害アレバ、ウヘタルモノニ物ヲ施コシ、租稅ヲユルシ  
テヤル、唯ユキトカヌヲ心配ス、(德行孝弟)善キ行アリ、親ニ孝行ナルモノヲ、天子自分  
ニ科目ノ題ヲ札ニ書シテ賞擧ノ人ヲ試檢ス、(放進士榜)及第者ノ等級ノ順序ヲフタニカキテ掲ケ、  
(覆試法)見ソコナヒノナキヤウフタ、ビ試ル法ヲキビシクシ、天子講武殿ヘ出ラレテ、親シク及第人  
ヲ試ミ、永クキマリトス、(書判)カノ筆法ト裁判ノヨシアシ、(拔萃)其スグレタル者ヲ試驗ス、太祖ハ  
タビノ國子監ニユカレ、國內ヘ昭リシテ、(遺書)世ニアラハレヌ書物ヲアツメル、ハジメテ和峴ト  
云人ノ定メシ音樂ヲ用ユ、又ハジメテ劉溫叟ガ献上スル圖書通禮ト云書物二百卷ヲ用非ル、宰相ノ人  
ニ命令シテ、日々取り扱フ事ヲ書キシルシテ國史院ヘ送り、(日歷)日記ノ中ヲ撰ハセ(制度典章)オキ  
テ禮儀ガ(彬々有條理)サカニソナハリテサ道ガアル、  
大弟晉王ト云人ガ立テ天子トナル、コレヲ太宗皇帝トナス

太宗皇帝初名匡又太祖長弟也太祖入京城匡又首請號令諸  
將戰士卒仍自於馬前戒標掠太祖受禪乃改名光義尹開  
封同平章事封晉王建隆二年昭憲杜太后臨崩謂太祖曰汝知

所以得天下者乎太祖曰皆祖考與太后之餘慶太后笑曰不然  
正由柴氏使幼兒主天下耳汝萬歲後當傳位晉王晉王傳秦王  
秦王以傳德昭國有長君社稷之福也太祖曰謹受教太后呼趙  
普曰趙書記共記吾言不可違因命普於榻前爲誓書普署紙尾  
曰臣普記藏之金匱太祖友愛篤至晉王嘗寢疾灼艾太祖亦自  
灸以分其痛嘗曰晉王龍行虎步且生時有異佗日必作太平天  
子福德非吾所能及也太祖幸蜀有布衣張齊賢獻十策召問賜  
食且啗且對太祖善其某策齊賢固稱餘策皆善太祖怒斥便  
出既還語晉王曰吾幸西都得一張齊賢吾不欲用之佗日留  
與汝作宰相蓋傳位之定久矣太祖不豫后遣王繼恩召皇子  
德芳繼恩徑召晉王王至宮中散遣左右所言皆不可得聞但遙

○○○○○○○○破題

對 ○○○○○○○○領

對 ○○○○○○○○頸

○○○○○○○○○結局

○仄起正格

○○○○○○○○○破題

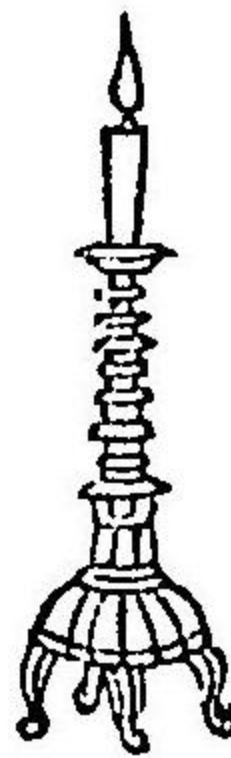
對 ○○○○○○○○領

對 ○○○○○○○○領

○○○○○○○○○結句

見燭影下王有離席之狀既而上引柱斧戳地大聲曰好爲之  
 遂崩后見晉王愕然曰吾母子之命皆託官家王曰共保富貴無  
 憂也王即位更名昺秦王廷美尹開封改封齊王德昭封武功  
 郡王太宗皇帝最初名昺又云太祖第一番日當弟也太祖京都城二邑也  
馬二乘りオル前二出デ、(戒標)士卒ガ人民ノモノヲカスメ取ルヲキビシクイマシメル、太祖周  
 ノユツリヲ受ケ、ソコデ名ヲ光儀トカヘタ、(尹開封)京都府ノ知事トナリ、同平章事ノ役ヲカテ、晉王  
 ニ封セラレタ、建隆二年ニ、昭憲太后(臨崩)死ニギハニナツテ、太祖ニ話シテ曰フ、御前ガ天子チ手  
 ニ入タルワケヲ心得テアルカ、太祖ガ曰フ、ミナ先父ト太后トノ(餘慶)オカゲナリト、太后笑フテ曰  
 フ、サヤウデハナイ、ソレハマサシク榮氏ガ(周ノ世宗ナリ)幼兒ヲ(恭帝七歳天子トナル故ニ云フ)天  
 下ノ君主トナシ、政事ノミダレタルニ由ルヲケデアル、御前(萬歳後)死タアトハ其位ヲ晉王ニユツ  
 リ、晉王ハ秦王ヘユツリ、又秦王ハ位ヲ以テ太祖ノ子德昭ニ傳ヘヨ、國ニ(長君)世嗣ノ年々ケタル人  
 ガアルハ、(社稷之福也)國家ノシアハセデアル、太祖ガ曰フ、ソ、シメテオシヘノ通りニ從フト、太后  
 趙普ヲヨビヨセテ曰フ、趙普記ヨ太祖トトモ、ソシガ言禁ヲオホヘオキテ、ソムクコトヲスナト、ソ  
 コデ普ニ命令シテ(福前)今ノテ一ブルノ前ニ於テ(普書)ノチマチカヒノデキヌ様ニ證據ノ書付ヲサ  
 セタ、ソノ普ガ普書ノ末ニ用普記ストカキテコレチ金ツクリノロツヘ入レオク、太祖ハ(友愛篤至)  
 弟ヲメグム心ガテアツク、或日晉王ガヤマロデ(灼艾)灸ヲスヘオル、太祖モマタキウヲスヘテ、以テ  
 其イタミヲトモニセラレタ、或ルトキ曰フニ、晉王ハ(龍行虎步)龍ガユキ虎ノアユムヤウスガアル、  
 ソノウヘ生レタトキ赤光ノ昇ルフシキアリ、後日ハキツト治安ノ世ノ天子トナルデアロフト、(福徳)  
 ソノシアハセノアルハ、ソシノヨク及バヌ所デアルト、太祖蜀ヘミユキセラレタル片、(布衣)平民ノ  
 張齊賢ト云人ガ(獻十策)十箇條ノ國ヲ治メル方法ヲ獻上ス、太祖ヨビヨセ、政事ヲタツ子テ食事ヲク  
 タサレタ、且ツク且ツ返答ス、太祖其内ノ一箇條ノ方法ヲヨシトセラル、齊賢推テ申シ立ツルニ、其

燭臺



律詩ノ律ハ法律ノ  
 律ニテ、承轉ノ四  
 句、對ヲ用テ其法  
 正、是レ律詩ト名  
 クル所以ナリ、對  
 句、對ハ物反シテ  
 カ俾シキモノヲ云  
 、又板聯一名合掌  
 聯トテ板ト板トチ  
 合七掌ト掌トチ合  
 合七掌ト掌トチ合  
 合スルハ詩道ニ於  
 テ忌ムナリ

◎七言律詩平起正格

○○○○○○○○○破題

○○○○○○○○○破題

對 ○○○○○○○○領

外ノ方法モ、皆ヨキ方デアルト、太祖イカリ、坐ヲシリソカセテ追ヒ出ス、其後都ヘカヘリ、晉王ニ話  
 シテ曰フ、ワシガ四都ヘユキテ一人ノ張齊賢ヲ求メタレト、ワシハ之ヲ用井ルヲ願ハヌ、後日都ヘ  
 トメオキ、御前ニアタヘテ宰相ニナサントス、此ノ「アハナシタルハ、ソレハヨクギノキマリガ、マ  
 へ方ヨリシテ知レテアル故ニ斯ク云ヒシナリ、太祖ハ(不豫)病氣デアアル、皇后王繼恩ヲツカハシテ、  
 太祖ノ次子德芳ヲ呼ビ寄セントス、繼恩ハスグニ晉王ヲヨブ晉王ソコデ宮中ヘイタル、(散遣左右)ソ  
 バツキノ者ヲ外ヘハラヒ出シ、太祖ト話サル、ト、皆外人ガキク「ハデキヌ、タ、遠ク燭臺ノカケニ  
 晉王ガ席ヲサカリ禮ヲノメルアリサマヲミル、トヤカクスル内太祖ガ(引柱斧戳地)テヲノリ、床  
 ヲツキサシ、大聲シテ曰フ、程ヨクセヨト、ワイニ太祖ガ死去シタ、皇后宋氏晉王ヲ見テオドロキテ曰  
 フ、ワシガ親子ノイノチハ、皆官家(天子ヲ尊ム言葉ナリ)、ニ頼ムト晉王ガ曰フ、トモ、安樂ヲウケ  
 バヨロシキ「ニテ、何モ心配ニハ及バヌト、晉王天子トナリ、名ヲ吳トカヘタ、奎干廷美ガ開封府ノ知  
 事デアリシヲ改メテ齊王トシ德昭ヲ武功郡王トス  
 ○遣使分行州縣廉察官吏第其優劣罷軟不  
 勝任情慢不親事免官  
 ○賊吏配者遇赦不叙  
 ○大理評事陳舜封奏事口捷舉止類倡優問誰  
 氏子對以父爲伶官上曰汝真雜類豈得任清望官改授殿  
 直  
 ○陳洪進來朝獻漳泉二州

宋太宗皇帝

對  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○

對  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○

○●領

○○○  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○

○●結

◎同仄起正格

○●破

○●題

對  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○

○●領

云二國ヲ ○吳越王錢俶來朝遂獻其地 吳越王ノ錢俶ト云人ガ朝廷ヘ目見ニキ  
献上シタ

命潘美伐北漢尋親征圍太原劉繼元出降北漢亡 潘美ト云人ニ命令  
シテ北漢ヲ征伐セ

○詔征契丹易州涿州來降上攻幽  
州踰旬不下遂班師郡王德昭從征幽州軍中嘗夜驚不知上所

在。有謀立德昭者上聞不悅及歸以北征不利不行平北漢之賞

德昭言之上大怒曰待汝自爲之賞未晚也德昭退而自刎後

二年岐王德芳卒自太祖二子相繼死齊王廷美不自安伐日上

嘗以傳國意訪趙普普曰太祖已誤陛下豈容再誤邪於是普

復入相廷美遂得罪降涪陵縣公普復使知開封府李符告其怨

望南還房州尋殺之普恐李符漏言因弭德超譖曹彬故以

符薦德超貶符春州卒 詔ヲ下シテ、契丹ヲ征伐ス、易州、涿州ガキタリ降參シタ、天子  
幽州ヲ攻メカコムニ、十日ヲスギテモ、城ヲマモリテシタガハ

對

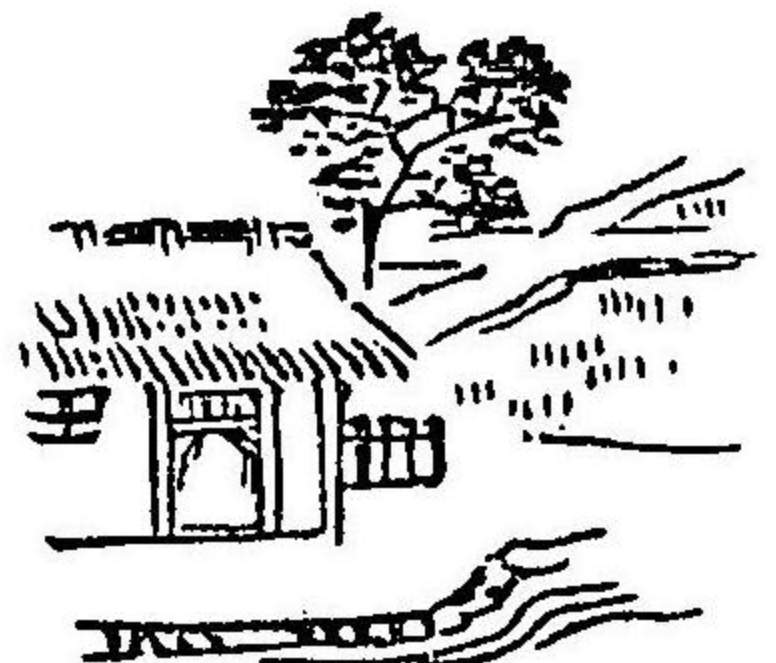
○○○  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○

○●領

○○○  
○○○  
○○○  
○○○  
○○○

○●結

處



七言律ノ雜ハ發端  
及ビ結句ニアリ、  
其作法五言ト同シ

○下三連孤平

○○○  
下三連トハ何レノ  
句ニテモ下ヨリ○

又、ソイニ兵隊ヲロキカヘス、郡王德昭天子ニツキ從テ幽州ヲウツ、或時ヨル陣中サハギミタレ、天  
子ノ居トコロガシレヌ、太祖ノ子德昭ヲタテ、位ニ即ケント相談スルモノアリ、天子其ノ言ヲキカレ  
テヨロコバズ、都ヘカヘリテ北方征伐ノ勝利ナキニヨラテ、北漢ヲ(太原ノ)平ラケ定メルノ賞典ヲ  
ヤラス、德昭ガ其賞典ヲヤルコトヲ申上ル、天子大ニ立腹シテ曰フ、御前ガ天子トナツテ後賞ヲヤルモ、  
オンキヲケテハナイト、德昭朝廷ヲ立サガリクビハ子テ死シタ、其後二年ヲヘテ、岐王ノ德芳ガ(太祖  
ノ次子)死去シタ、太祖ノ二人ノ子ガツマキテ死去シテカラ、秦王廷美自分ニオチツク心ナク、アル日  
位ヲユヅル主意ヲ以テ、趙普ヲ尋子行ク、普ガ曰フ、太祖サキニ子ニ傳ヘシテヤリシコトナハレタ、ア  
ナタドウシテ二度トヤリシコトナホナサレルコトデキヤウヤ、此言禁ガキニイリテ、ソレカラシテ普ヲタ  
レ、朝廷ヘ入りテ宰相トナル、廷美ソイニトガヲ受ケテ、涪陵縣公ニサケラレ、普又開封府ノ知軍李  
符ヲシテ廷美ガ朝廷ノフシクヲ思ヒウラヤムト申立サセタ、依テ南ノ地房州ヘウツラセ、其後廷美ヲ  
殺シタ、趙普ハ李符ガ自分ヨリ頼ミタルコトバチ人ニツケモラスコトヲ心配シテ、弼德超ト云人ガ曹彬  
ノザンケンヲ申立タルヲケカラニヨツテ、李符ガ德超ヲス、メ  
出シタル罪案トシ、梓潼州ヘシリソケルコトヲ死シタ

○種放隱于終南山結  
草爲廬以講習爲務後進多從之學上聞召之辭以母老上高

其節厚賜錢帛旌之 種放ハ武功縣ニアル終南山ヘ引コモリ、クサブキノイホリヲツクリ  
テ、(講習)書物ヲ讀シ文字ヲ習フヲツトメトス、(後進)生徒ガタク

○呂蒙正爲參政有朝士指  
之曰此子亦政參邪蒙正佯不聞同列欲詰其姓名蒙正止之

曰若一知名姓則終身不忘不如無知也 呂蒙正政事ヲ相談スル役人トナ  
ル、朝ニツトメル人アリテ、ニヒ

○或ハハ●●●  
ト三字同聲ノ字ヲ  
連スルヲ云フ如シ  
トハ●●●ノ如シ  
仄字ト仄字トノ間  
ニ平字アルヲ云フ

○二四不同二六對

○四仄一平 五字一平  
五言何レノ句ニテ  
モ四字ノ中平一字  
仄四字アルヲ一字  
ムベシ、譬ヘバ●●●  
●●●ノ如シ、

○四仄一平 五字一平

又四年一仄トテ、  
平四字一平トテ、  
變フナリ、譬ヘバ●●●  
●●●ノ如シ、  
○七言モ同ジ、上  
ヨリ下ノ字中ニア  
ルベシ、四仄一平  
ハ譬ヘバ●●●●●  
●●●●●又四年一仄  
●●●●●又四年一仄  
ノ如シ、聯句モ同  
意ナリ

○挾聲格

○三倫  
發濟溪向三峽思君  
不見下渝州ノ類コ  
レナリ

サシ示シテ曰フ、此子モマタ政事ニアツカル役人ガト云テクサス、蒙止ワザト聞カヌフリシテオトル、  
(同列)同ジカクノ役人ガ其苗字ヲ問ヒツメント云テ、蒙正オシトマメテ曰ク、モシモ一タビ其名ヲキ  
シラバ、一生志レヌナリ、ソレヨリハ最初ヨリ知  
ラスニコスヲハナイト云フテ問ヒタマハサナカッタ  
華山ノ陳搏ヲ召ス、其號ヲ  
希夷先生ト下シタマハル  
○開寶寺塔成前後八年所費億萬田錫奏曰

衆以爲金碧煒煌 臣以爲塗膏黷血上不怒  
汴京ニアル開寶寺ノ塔ガデ  
キ上ツタ、建立ノ年限アトサ

○先是西夏李光叡卒子繼筠嗣又卒弟繼捧嗣繼捧來  
尤トシテイカ  
ルヲセヌ

朝獻四州地其弟繼遷叛去數入寇邊  
是ヨリ以前ニ西夏ノ李光叡ト云人ガ死  
去シ、子ノ繼筠ガアトラツグ 錫死シテ

弟ノ繼捧ガ家ヲツギ、繼捧朝廷ヘサンキンシテ、夏、銀、綏、宥、ノ四州ヲ獻上ス、其弟ノ繼遷ハムホン  
シテ去リ、後タビ、邊鄙ノサ  
カヒヘ入りテランホウラスル

○契丹主明記殂號景宗子隆緒立年十二  
契丹ノ主明記ト云人ガ死シ、景宗トナヘタ、子ノ隆緒ガツ

母蕭氏專其國政 契丹ノ主明記ト云人ガ死シ、景宗トナヘタ、子ノ隆緒ガツ  
契丹ノ主明記ト云人ガ死シ、景宗トナヘタ、子ノ隆緒ガツ

曹彬等分道伐契丹彬兵大敗於岐溝關詔班師契丹自是連年  
契丹ノ主明記ト云人ガ死シ、景宗トナヘタ、子ノ隆緒ガツ

入寇後女真以契丹隔其朝貢之路請擊之不許女真遂臣於  
契丹ノ主明記ト云人ガ死シ、景宗トナヘタ、子ノ隆緒ガツ

契丹天子曹彬等ニ命シテ、道ヲ手分ケシテ契丹ヲ伐タセタ、彬ガ兵隊大ニ岐溝關ニオイテタ、  
後女真國ヨリ朝廷ヘ年貢ヲ送ルミチスガ契丹サ、ヘルヲ以テ、契丹ヲ攻メウタント願フ、然ルニ朝

廷ニハユルサヌ、女真ツイニ  
契丹ニ家來トナリ仕ヘタ  
○上賜李繼捧姓名趙保忠授節度使命管夏

銀綏宥靜五州使圖繼遷繼遷降賜姓名趙保吉保吉復寇邊命  
李繼隆討之保忠言己與保吉解仇乞罷兵上怒命繼隆先移

兵討之繼隆入夏州繼送保忠於闕下保吉尋亦請降而復叛  
天子李繼捧ニ姓名ヲ趙保忠トタマハル、節度使ノ役ヲサツケテ、夏、銀、綏、宥、以下ノ

命繼隆討之  
五州ヲツカサトラシメ、其弟ノ繼遷ヲハカリ伐タセル、繼遷クダリシタガフ、  
苗字ト名ヲ趙保吉トクダサル、保吉マタト國境ニミダス、李繼隆ニ命シテ之ヲ討タセタ、保忠申立

ルニモハヤ保吉ト(解仇)中ナリリシタ故、願クハ兵ヲヤメラレヨト、上立腹シテ繼隆ニ云付テ、先(移

兵)兵隊ノ向フ處ヲ力ヘテ、保忠ヲウタシメタ、繼隆夏州ヘ入コミ、保忠ヲ(繼送)罪人チノセルカゴ

ニテ朝廷ヘ送り付ケタ、保吉モ引キツマイテ亦降參ヲ  
願フ、後マタンムク、繼隆ニ命シテ保吉ヲ攻討タセタ  
○蜀自既平之後府庫之物

悉載歸內府士狹民稠有司不無賦外之科王小波起爲盜小波  
蜀自既平之後府庫之物

死李順繼之攻陷成都僭號蜀王上命王繼恩討擒之蜀平  
蜀自既平之後府庫之物

平定シタル後ハ、其クラニ納マル物ヲバ殘ラズオクリテ(內府)ミヤコクラヘイレコム、蜀ノ地ハ土

古人ノ句ヲ偷ニ意ヲ偷ミ勢ヲ偷ムノ三偷ナリ此ノ三ノ中タトハ句ノ意トハ句ノ勢ヲ偷ミテ討チイケドリニス、ソコテ國ハ平定シタ

○去生硬

詩ヲ作ルノ法、古人ノ用ヒ來ル熟字ヲ意チカヘテ、新シク作ルト佳トス、用ヒナレヌ字奇シキ語ヲ用ユルヲ生硬ト云フ、一ツノ病ナリ

○奪胎換骨法

古人ノ語ヲ用ユルニ其意ヲ換テ其語ヲ用ユルヲ換骨ノ法ト云フ、其意ヲ換シテ其語ヲ改メ用ユルヲ奪胎ノ法ト云ヘリ是レ文筆ノ一法ナリ

○作文用字法

文ノカキヲコシニ用フル語ニテ、サシテ云モノナシ又サテト云義ニテ又轉折ニ用フ

凡

夫ノ字ト同ジ、亦サシテ云モノナシ、或ハ意味ノカハル處ニ用ルコトアリ

蓋

發端ニ用フル語、又ハ疑ノ詞ニ、或ハ上文ノ意ヲ推シ、又ハ設キ明カス、片ニ用フル詞ナリ

地セマク人民衆ク、(賦外之科)役人ヨリ常式賦税ノ外ニマタトリ付ケトリ立テルモノアリ、王小波ト云者出テ盜賊ヲナス、小波死テ、其妻ノ弟李順ガツイニ職ヲナシ、攻メテ蜀ノ都城ヲオトシ手ニイレ、カワテニ蜀王ト、ナヘル、天子王繼恩ニ云付

○交趾丁連卒大校黎桓囚其宗族而專其國上初命討之無功已而桓奉貢竟以桓為交趾郡王

○時霖潦過度上曰朕於刑獄盡心安得積陰之譴寇準越班對言某州局吏侵官錢若干於法為小過陛下殺之王准參政王沔之弟盜錢數百萬於法為大愆陛下以沔故務相容蔽如此而曰刑獄盡心如之何無積陰之譴上即日誅准罷沔俄而

十二年改元者五日太平興國曰雍澗端拱淳化至道壽五十九薛居正沈淪趙普宋琪李昉呂蒙正張齊賢呂端等相繼為相普凡再入再罷尋薨普初以吏道聞寡學術太祖嘗勸以讀書普遂手不釋卷每朝有大議輒闔戶自啓一篋取一書閱之及卒家人視其篋則論語也嘗謂上曰臣有論語一部以半部佐太祖定天下以半部佐陛下致太平蒙正晚出嘗與普並相普甚推之蒙正嘗置册子夾袋中疏四方人才姓名以待選用初太祖嘗以張齊賢屬上至齊賢舉進士上欲置之第而有司第其名在下乃詔一榜特與通判卒至大用呂端為相人謂呂相作事糊塗上知之曰端小事糊塗大事不糊塗自上即位以來以小人為相者盧多遜一人而已太子立是為真宗皇帝

則 スナハチ レバ〇片ハ〇ハ

上文ノ意ヲ順ニウケテ説分クル詞、又ハ因ノ字ノ如ク因テト云フ義ニ用フルナリ

乃 スナハチ サレバ、〇ソコデ〇ソレハ

上文ヲシンジツニスルニ用ユ、上文ニキレテ反テ上文ニツマク語ナリ、或ハ則ノ字ト同ク用フ

眞宗大中祥符五年ハ日本二條帝

即位元年ナリ

眞宗天禧元年ハ

日本後三條帝即位

カヘタリ五四、太平、興國、雍熙、端拱、淳化、至道ト云フ、壽命ガ五十九歳、隣居正以下七人ツワイテ宰相トナル。趙普ハ二度入テ宰相トナリ二度ヤメラル、ソレカラヒキツワイテ死去シタ、趙普ハ初メ(東道)事務ニナレ巧者ナルヲ以テ其名ガアラハレ、擊問ノカハスクナシ、太祖前方普ニス、ムルニ書物ヲヨムヲ以テテ、其後普(手不釋卷)手ニ書物ヲ取りテヨミツマケル朝廷ニ於テ大議論アルタビニ、スグ私弟ニカヘリテ戸ヲシメテ自分ニ一ツノテバコヲアケ、一冊ノ書物ヲ出シテヨム、普ノ死後ニ、家内ノ者ガ其テバコヲ見レバ、論語デアツタ、或時普天子ニ話シテ曰フ、私シ論語一部アル、半部ヲ用井テ太祖ヲタスケ、國家ヲオサメ、其半部ヲ以テ陛下ヲタスケ、太平ノ治ヲイタスト、蒙正ハ(晩出)オンガケカラ出仕ス、或ル片普ト共ニ宰相トナル、普(推之)ハナハタ推シウヤマフ、蒙正アル片(冊子)手帳ヲ(夾袋)カミイレノナカニ入レオキ、四方ノ賢人ノ苗字名ヲ(疏)書キ立テ、朝廷ノトリタテラマツ、初メ太祖アル片ニ張普賢ヲ以テ今ノ天子ニ用井ルヲ申付オク、齊賢ガ人選ニナツテ、天子コレヲ(上弟)第一等ノ及第ニオカント思フ、然ルニ試験力、リノ役人ガ其名ヲ(第)順々ニカキテ下ニアル、ソコデ詔シテ特別ニ一枚ノ札ニ齊賢ノ名ヲカキテ通判ノ官ヲアタヘタ、其後大ニ取立ラレタ、呂端宰相トナル、人々詩シテ曰フ、呂相ノ事チアツカフハ(糊塗)物事ノサトリアシクヲチガアカスト、天子コレヲ知テ曰フ、呂端ハ小ナル事柄ニハヲチアカナレト、大ナル事柄ニハヲチガハヤイト、天子位ニツイテヨリ以來、(小人)器量ノナキ者ヲ宰相トセラレタルハ、盧多遜一人デアアル、太子ガ位ニツク、是ヲ眞宗皇帝トナス

眞宗皇帝初名元伉封襄王有舉人楊礪嘗夢至一大殿有坐

殿上者語之曰我非汝主來和天尊汝主也指示令謁之礪後進

士第一入爲襄主府記室既謁如夢中所見太宗嘗遣相者詣襄

王及門而返曰王門廝役皆將相也王可知矣立爲太子至是即

位元年ナリ

即 スナハチ スグニ、〇トキハ

上文ヲウケテトトリモノホサズト云意ニ用ユ、或ハカナルキ則ノ字ノ如ク用ルナリ

會 スナハチ ヨツテ

乃ノ字則ノ字ト稍同シ、然レ語勢ハ此ノ二字ヨリユルヤカナル辭バナリ

而 スナハチ ヲハニ〇スナハチ〇トキハ〇ソシテ〇ヨツテ

常ニ上文ト下文ヲツマケル詞トシテテ用ユ、時トシテハ上ノ訓ノ如クニ用ルナリ

由 ヨツテ

位更名恒 眞宗皇帝ノ最初ノ名ハ元伉ト云フ、襄州ノ土地ノ大名ニ封セラル、(舉人)試験ニ及第シタル楊礪ガ、以前夢ヲ見テ一ノ大ナル御殿ニユク、御殿ノ上ニ座スモノアリテ、(語之)楊礪ニハナシテ曰フ、ワシハオ前ノ君デハナイ、來和天尊ハ(仙人ノ名也)オ前ノ君デアリト、指シオシヘテ(令謁之)來和天尊ニ目通りサセタ、礪ソノ後ニ(進士第一)試験ヲ受ケテ第一番ナリ、後人トナツテ襄王ノ役所ナル(記室)編修室詰トナル、モハヤ君ヘ目通りスレバ、以前ニ夢ミタ人ト少シモ違ハス、太宗ハ以前ニ(相者)人相チ考ルモノヲ襄王トモトヘヤツタ、門マデユキ内ヘ入ラズシテヒキカヘリ曰フ、襄王ノ門下ニハ、(廝役皆將相)辭ヲオルイヤシキ奴僕モ、後ヲズ大將軍相トナル才徳アル人斗リナリ、サスレバ襄王ハ見ズレバ是レデ分ルト、

上親征至大名府而還 咸平二年ニ、契丹ノエビスガセメ入ル、天子

卒王均反僭號大蜀以雷有終知州討擒之益州平 咸平ノ三年ニ、益州

均ガムホンス、大蜀トカツテニ稱ヘタ、雷有終ト云フモノヲ以テ(和州)益州ノ知事トシタ、有終ウチテ王均ヲ生捕ル、ソコデ

益州ノ騒動ガシツマツタ

○范廷召擊契丹求援於高陽關都部署康保

裔丞赴之廷召潛遁裔保爲所圍力戰死之 范廷召ト云人ガ契丹國

州ニアル高陽關ノ都部署康保裔ニタノム、(都部署)兵車ヲツカサトル官ナリ、保裔至意ニオモムケ

ハ、廷召人目立ヌヤウニニケユク、保裔ソレガタメニ

契丹ノ兵隊ニカコマル、イタクイクサシテ討死シタ

○李繼遷先朝奪所賜姓名寇邊不已攻陷靈州西涼六合酋長潘羅支乞會王師討之繼遷攻

上ノ文意ヲウケテ  
ソノ事ノワケヲ  
キ明ス爾又上文  
事ニ因テ云々スル  
ノコトバナリ

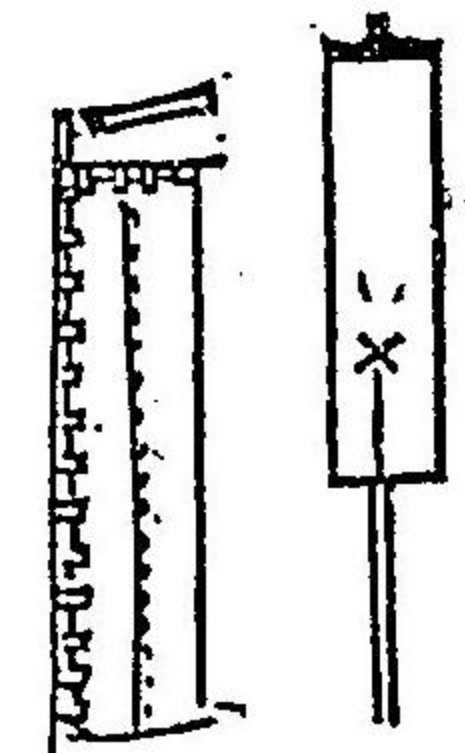
亦  
モマタ

上文ヲウケルノ語  
ナリ、又復ナドト  
ハ異ナリ、上ノ  
ハ云々ナレハコレ  
モ亦云々ノ意ナリ  
ト用ユ

此

上文ヲキビシク指  
シテキリモリスル  
ヨリヲモシ

賦  
幟



陷西涼府潘羅支要而擊之繼遷中流矢死於靈州之境其子德  
 明請降復賜姓趙後封爲西平王李繼遷太宗ノ弟ニ賜ハル苗字名ヲトリアケラレ、  
 境ノ邊鄙ヘアタシテヤマヌ、攻メテ靈州ヲトル、  
 西涼、六合ノ邑ノ長潘羅支ト云者王ノ兵隊ト共ニ繼遷ヲウチハラフコトヲ願フ、繼遷セメ入りテ西涼府  
 ヲトル、潘羅支マチフセシテウチハラフ、繼遷ナガレヤニ中リテ、靈州ノ土地ノサカヒニテ死ス、其子  
 ノ德明ガ降参ヲ願フ、マタ姓ヲ趙トク

○楊嗣楊延朗智勇善戰加團練使虜  
 悍之目曰楊六郎楊嗣、楊延朗二人トモ智慧アリ勇力アリテ戰闘ガ上手ナリ、ナラビニ  
 ハカクツテ、チモク

○景德元年契丹主與其母蕭氏大舉入寇中外震駭  
 參政陳堯叟蜀人請幸 蜀王欽若江南人請幸江南上以問宰  
 相寇準準問誰畫此策上曰鄉姑斷其可否勿問也準曰臣欲得  
 獻策之臣斬以貫鼓然後北伐耳遂定親征之議上駐蹕韋城  
 尋至衛南契丹擁兵抵澶州圍合三面李繼隆等出禦之契丹捷  
 覽中弩死大挫退却不敢動寇準力勸上渡河殿前帥高

是

上ノ文ヲウケテオ  
トナシクキリモリ  
スル語ナリ、然レ  
此ノ字ヨリ輕ク指  
シテ云コトバナリ

固

上文ヲウケテソノ  
事ノ眞實ナルヲ云  
ヒアラハス語ナリ

良

職ノ字ト同ジタマ  
少シクシナヤカナ  
リ

眞

固ノ字職ノ字ト同  
ジケレドモ、ヤ、  
重シトス

要

カナメ〇ツマリ

瓊亦力贊猶豫間瓊麾衛士進輦曰陛下若不過河百姓如喪  
 考妣梁適呵之瓊怒曰君輩此時尙責人失禮何不賦一詩退虜  
 耶遂擁上以渡既至澶州登北城張黃旗幟諸軍皆呼萬歲聲聞  
 數十里契丹氣奪景德元年ニ、契丹ノ君ガ其母蕭氏ト共々ニ、大勢ヲ引ッレテ中國ノサカ  
 イ入コミアダス、朝廷ノウチント、モニ(靈威)オンレオドロク、參政

(政事ヲ談スル役目ナリ)陳堯叟ハ蜀國ノ人デアアル、故ニ蜀地ヘミニキアルコトヲ願フ、王欽若ハ江南ノ  
 人デアアル、ソコデ江南ヘミニキアルコトヲ願フ、上兩人ノ請ヒナ以テ相宰ノ寇準ニ相談ス、準天子  
 ニトフテ曰ニ、誰ガ此ノハカリコトヲ申立シト、天子曰フ、ソナタマツ其策ノヨシアシキモ、其人ハ  
 オホテトウナト、準ガ曰フ、私ハハカリコトヲ申立タルモノヲキリ殺シテ、(覺鐘)其血ヲ出陣ノ時用コ  
 ル軍太鼓ニヌリツケ、然ル後北方ノ土地ヲ征伐セント思フト、ツイニ天子ガ自親ニ征伐セラルノ相談  
 ラキメル、(駐蹕)天子車駕ヲ州ノ韋城ニトメ、引ツイテ衛南ノ土地ヘユク、契丹ノ兵卒澶州マデ  
 キタリ、澶州城ノ三方サトリカコム、李繼隆等城ヲデ、フセギタカフ、契丹ノ擁護ハ(弩)石弓ニア  
 タツテ死ス、(擁護)ハ軍ノ總カントクナリ)敵ノ軍勢ハ大ニウチヒシカレテシリソキ、二度ト進ミ出  
 ス、寇準ツトメテ天子ニス、メテ河ヲワタリ出張ルコトヲ申立ル、殿前帥ノ高瓊ト云人モ亦(力贊)カラ  
 ラ尽シテ寇準ノ謀計ヲタスク、(猶豫)イロク、評定ノキマラヌ中ニ、高瓊ハ(麾衛士)マモリノ兵隊ヲ  
 サシツシテ、天子ノ馬車ヲ前ニ引出テ曰フ、君モシ河ヲコサズバ、河北ノ人民ハ(如喪者妣)父母ヲウ  
 シナヒシ如クナケカハシク思フナリ、梁適ト云人ガソノ勿卒ナルコトヲ立腹シテ(呵)シカリツケル、瓊  
 怒ツテ曰フ、オマヘタチ此ノ非常ノトキニモ、矢張人ノ禮義ヲアヤマルヲセメルカ、(何不賦一詩退虜  
 耶)君フダンニ詩ヲ作ル人物ニ、ドウシテ詩ヲ作テエビスヲ引取ラサセヌゾト、ツイニ天子ヲツレ  
 ダシテ河ヲ渡ル、モハヤ澶州ヘニキテ、北城ノ上ニノボリ、黃色ナ(幟)天子ノハタヲオシ立ル、大勢ノ  
 軍兵ハ之ヲ見テ(呼萬歲)祝賀ノコトヲ呼ビ合ヘタ、ソノ聲ガ五六十  
 里ノ間マデキコヘル、契丹ノ兵卒(氣奪)キモヲトテビツクリシタ

宋眞宗皇帝



上文ヲウケテ其コトノカナメヲツマナリ云々ト云ニ

諒信

以上二字モ風ノ字ト同シケレバ、ヨリハヤ、カルク用ウルナリ

當

上文ヲウケテ其必ズナスベキヲ云フハ、正當至當ナリ

宜ハツ

上文ヲウケテ何々スベキハツト云フニテ、ソノアタリマヘナルヲ云ヒキル詞ナリ

虜嘗言和好之利故雖大舉亦遣使以繼忠書來上命曹利用報之至是利用與契丹使者韓杞偕來請世宗所取關南故地上日地必不可得寧與金帛以和準意亦不欲與且畫策以進曰如此則可保百年無事不然數十歲後我復生心準蓋欲擊之使隻輪不返上曰數十歲後當有能禦之者吾不忍生靈重困姑聽其和遂再遣利用往利用請歲賂金帛之數上曰必不得已雖百萬亦可準召語之曰雖有勅旨不得過三十萬如過此數勿來見準準斬汝矣利用卒以絹二十萬銀十萬定和議南朝爲兄北朝爲弟交誓約各解兵歸準初發京師命朝士出知諸州皆於殿廊受勅戒之曰百姓皆兵府庫皆財不責汝浪戰但失一城一壁當以軍法從事恐欽若沮親征之議以其有智且有福

悉

上文ヲウケテ其ナリコトヲナキナリ

果

上文ヲウケテ其ナリコトヲナキナリ

皆舉咸

盡

以上四字悉ノ字ト同意ナリ

豈

其ノ字ノ如シ、ソノ疑ヒアシク問テ、上文ニ反シテ

出欽若知天雄軍契丹至城下欽若閉門束手無策修齋誦經而已上還自澶淵待準極厚欽若歸深恨準嘗退朝上曰送準欽若進曰陛下敬準爲其有社稷功邪城下之盟春秋小國所耻也上愀然欽若每日澶淵之役準以陛下爲孤注上待準遂寢薄尋罷相是ヨリ以前ニ王繼忠ト云フモノエビスノ軍中へ生拙レ、アル片エビスニ和睦ノ便利ヲハナノ相談ニキタル、天子曹利用ニ云付テ契丹へ返答ヲサセル、コノ片ニ利用ハ、契丹ノ使者韓杞ト共ニキタリ、以前則ノ世宗ニ取ラレタル關南ノモトノ土地ヲ返サレンコトヲ願フ、天子曰フ、土地ハドウアフテモワタス、ハナラヌ、イツン金ヤキヌアタヘテ和睦ヲイタサント、寇準ノ意見ニモ土地ヲヤルヲ好マヌ、ソノ上ハカリコトヲ立テ以テス、シテ曰フ、コノハカリコトヲヤ取計ヲハ、百年マデモ何事ナクオサマラン、サナクハ五十年ノ後エビスガナホ又中國へ攻入ル慾心ヲオコサン、準ハツマリ契丹ヲウツテ(隻輪不返)車ノカタハモ本國へカヘサヌヨウニ殺シ盡サントオモフナリ、天子曰フ、五十六年ノ後ニハ、能ク契丹ヲフセグ者アラフ、吾レ(生靈重困)タビク戰争シテ、人民ノナンキ苦ムヲ見テ居レヌ、當分其和睦ヲキ、屈ルヤウト、ツイニ度ト利用ヲ契丹ヘツカハス、利用毎年サン送ル金、銀絹、帛ノ數ヲタツス、天子ノ曰フ、セヒ余俄ナキトキハ百萬ト云セサハリナシト、寇準、利用ヲヨビ付テ話シテ曰フ、天子ノ詔アレバ、三十萬ヨリコソトハデキヌ、モシモ此カズヲコサバ、カヘリテワシヲミルナ、ワシハ其方ヲキリ殺スデアルト、利用ツイニ絹二十萬、銀十萬ヲオクルコトニキメテ和睦ヲシタ、南朝ヲ兄トシ、北朝ヲ弟トシ、タガロニ約束書ヲトリカハセ、各兵ヲヤメテカヘル、(南朝ハ宋ヲ云ヒ、北朝ハ契丹ヲ云フナリ)寇準、初京師ヲ出發スル片、朝廷ノ役官ニ申シ付ケテ(知諸州)諸國ノ知事トシ、皆御殿ノ廊下ニ於テ天子ノ勅書ヲ受ケシメ、猶心付ケテ曰フ、百姓ハミナ兵隊、(府庫)オクラハミナタカラ物デアル、御前方ノムヤミニ攻メタ、カフコトガメハセヌ、シカシナガラ

何

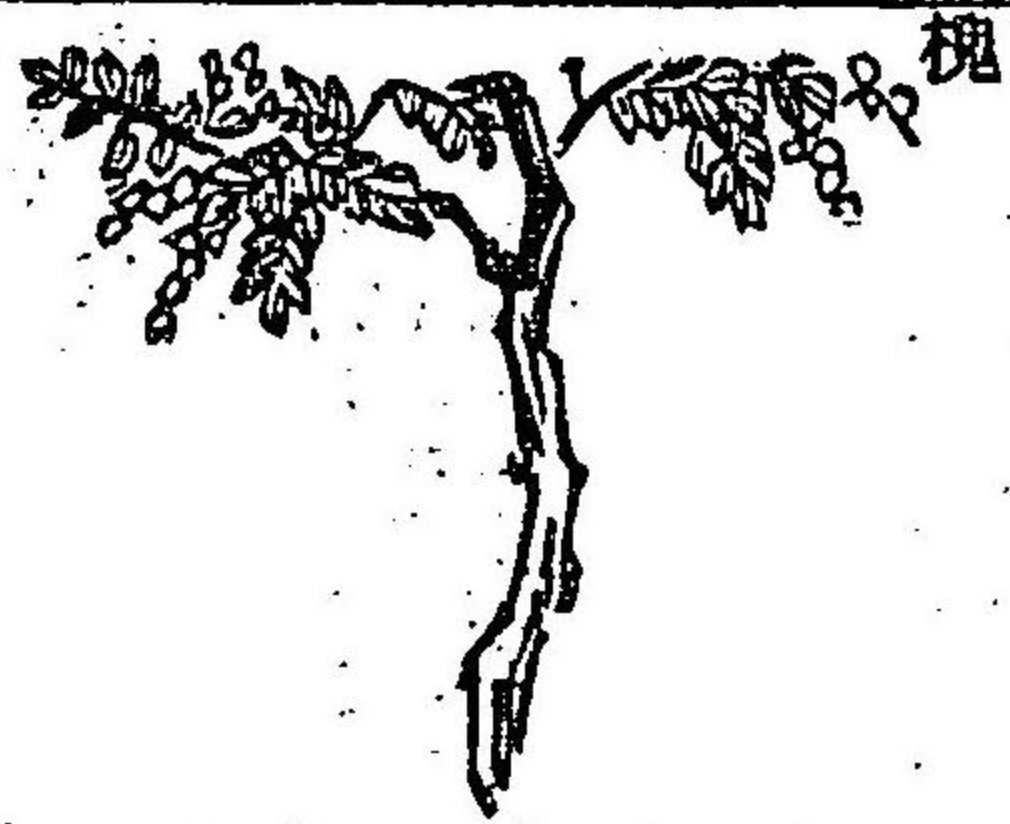
上文ニ接スルナリ  
ドウシテ○コノヨ  
ウニ  
アヤシミ問ヒ反テ  
上文ニ接スルコト  
バナリ

奈何

何ノ復語ニテ、ヤ  
ハツヨシ

奚

上ノ何ノ字ト同ジ



（一城一壁）一ツノトリテトテモ欲ニ取ラレタル片ハ軍律ニアテルホトニト、欽若ガ天子自親征セラ  
ル、ノ議論ヲトヤメルヲ心配シテ、其ノ智慧アリマタ運ノヨキ人故ニ、欽若ヲ出シテ要害ノ場所ナ  
ル、河北ノ天雄軍ノ知事トス、契丹ノ兵卒城下ヘセメコム、欽若城ノ門ヲチキリ、（束手）手ヲツガ子  
タマ、テ軍ノハカリヲヲセツ、（修齊）精進シテ佛經ヲヨムバカリナリ、天子澶州ヨリカヘリテ、準ヲ  
モテナス、カ至テ手アツシ、欽若カヘリテ、フカク進ライコンニ思フ、或ル日欽若朝ヲサガル片、天子  
ハ寇讐ヲ（目送）アトカラミラクル、欽若ス、ミ出デ曰フ、陛下ニハ準ヲタイセツニウヤマハルハ、其  
ノ（爲有社稷功邪）國家ニツクス手柄ノアルタメアルカ、（城下之賊）敵兵本城ノモトマテ追ヨセテ  
和睦ラスルハ、（春秋小國所耻也）周ノ末ノ春秋ノ時ニ小ナル國デサヘモハサトスル所デアアル、然ルラ  
準ヲ敬スルハ間違デアルト、（上恹然）天子ウレヘテ顔ノイロヲカヘタ、欽若イツモ曰フ、澶淵ノイク  
サニハ寇讐ガ天子ヲ以テ（爲孤注）バクチノカクモノトシタト、其後天子準ヲトリアツカフ、ダン  
ク手ウスクナシタ、ロキツマ、イテ宰相ノ役ヲヤメタ、○孤注トハバクチニ度々マケテ、一番シマイ  
ニ残りノ金銭ヲマルカケシテ勝負ヲ決スルヲ云フ、寇讐ガ天子ニ親征ラス、メテ危難ノ場所ヘ出陣  
セシメタルヲ斯クトナフルナリ

以王旦同平章事 旦王祐之子也 太祖嘗遣祐按事  
謂祐還與王溥官職祐不徇太祖意竟不大用 祐曰祐不做兒子  
二郎必做植三槐于庭曰吾後世必有爲三公者至是旦果爲  
相深沈有德望能斷大事上心深屬之趙德明嘗以民饑 上表  
乞糧群臣皆請責之旦曰臣欲詔 德明云塞上儲糧不可與己  
於京師積百萬可自遣衆來取 德明再拜受詔曰朝廷有人 王旦ト云  
人ヲ以テ

寧

此二字モ上ノ何ノ  
字ニ同ジ

無乃

彼レト此レトヲク  
ラメテ、説キ出シ  
云々ノワケニテハ  
ナキヤト疑テ審ニ  
ハカルノ詞ナリ

毋寧

上ノ無乃ニ同ジ

焉

何ノ字トホト同ジ  
ケレテ、反シテナ  
ジリ間フノ辭ナリ

盍

ドウシテ云々セヌ

同平章事ノ役トス、王旦ハ王祐ト云人ノ子デアアル、太祖ガ或ル片王祐ヲヤツテ（按事）其頃魏博ノ事ヲ  
シラセサセル、上ガ王祐ニ語シテ云フ、其事ヲオヘテカヘサバ、王祐ト云人ノ官位ヲ以テアタヘルト、  
（王溥ハ宰相ヲツトムルナリ）王祐太祖ノサシツ通りノ事ヲツトメタ、ソコデ大ニ取立テ用非ラレ  
ヌ、祐ガ曰フ、ワシハ官ニホルフハナラヌ、小兒ノ二郎ハセヒニ官位ニ昇ル、カデキルト、（二郎ハ  
王旦ト云ナリ）三本ノユンジユ庭ニウヘテ曰フ、ワシガ子孫ニキツト三公ノ官ニホル者ガアルト  
（三槐ハ周ノ世ニ三公ノ府ノオシロニ三本ノユウユウヘル故ニ三公ノ「ツ」云フナリ）準ノ相官ヲ  
ヤメラルニ及ンデ、王旦ハタシテ宰相トナル、且（深沈有德望）オチツキテ身ニヨキ行アリテ人ノ、ソ  
ミガアル、ヨク大ナル事柄ヲ決斷ス、天子心ヲ且ニヨセル、趙德明ガ或ル片ニ民家ノキ、ンシテアル  
コヲ以テ書面ヲ上リテ勅物ヲ下サルコト願フ、諸ノ家來ハミナ其申立ヲトカメント願フ、王旦ガ曰  
フ、私ハ德明ヘ詔ヲツタヘラレテ、（塞上儲糧國ノサカヒノ土藏ニ蓄ヘアル勅物ハヤラレヌカ、兼テ  
ヨリ都ニ於テ百萬モツ、カコロアル勅物ハ、其許ヨリ人夫ヲ以テハコパスニ申シ遣ハサント思  
フト、ソコデ其トウリニナツタ、德明厚ク禮ヲシテ天子ノコト  
トバラウケテ曰フ、朝廷ニハ才德ソナハリシ人ガアルト 上既入欽若之言數問欽  
若何以刷耻欽若知上厭用兵 謬曰取幽薊乃可 上令思其  
次乃請封禪以鎮服四海誇示夷狄又言封禪當得天瑞前代有  
以人力爲之河圖洛書果有此邪聖人以神道設教耳於是自大  
中祥符以來數有天書降東封泰山西祀后土於汾陰又有趙氏  
祖九天司命天尊降天下立天慶觀置聖祖殿諱聖祖名玄朗京  
師作玉清昭應宮且不能止其事 天子以前ニ欽若ノ申ス言ヲ用非ラレテ、タビ  
ニ、何ノ手ダテヲ以テ（刷

ゾト問ロカヘスコ  
トバナリ  
猶ソレサヘ○マダ  
○ヤハリ

タトヘヲ引クニ用  
ユル謂ナリ、又ハ  
ソレサヘ云々、マ  
ダ云々、ヤハリ云  
フ處ニ用非ルナリ

繼

上ノフニ引キツマ  
キテ云々ノフアル  
詞

及

ト○カツ

此ノ事ガ彼ノ事ニ  
トヤク謂ナリ、又  
與ノ字ト同ジク上  
文ト下文ノ二事ヲ  
ツマケル詞ナリ

延

イダリ、オモヒ  
イダリ  
皆ナ事ノソコマデ

耻以前天子遺淵ニテハナカシフヲソ、ガント、欽若天子ノ軍事チナスヲキラハル、チ心得オ、ソレ故イツハツテ曰フ、幽、幽ノ二州ヲ手ニ入レバ宜シト、天子欽若ニソノ次ノハカリヲ考ヘサセ、ソノコデ子ガフニ(封疆)地ニダシテキツキテ天地ノ神ヲ祭リテ國家ヲシツメテ、(爵示夷狄)エビスニホコリミセルフガヨロシト、マタ曰フ、封疆ヲスレバ時々ニ天ヨリメデタキシルシガ降ルナリ、カシノ世ニ人ノチカラテ天ヨリ吉祥ノ降ルフガアル、河圖ヤ洛書ナドハアルデハナイガ必竟聖人カ神ノ變不可思議ノ道以テオシヘマ立タルフナリ、是カラシテ太中祥符年間以後ハタビ、天ヨリ書物ガフル、東ノ方ノ泰山ニオイテ天ヲマツリ、西ノ方ノ汾水ノ南ニ於テ(后土)土地ノ神ヲ祭リ、又趙氏ノ先祖ノ九天司命天尊ト云神ガ天ヨリ降ルフアリ、國々ニ天慶假ヲ遺ル、(天慶假ハ山門ノアル御殿ナリ)聖祖ノ御殿ヲオキ、聖祖ノ名支朗ナルライミハマカリテ、朗ト云フヲ明ト云ヒ、支ト云フヲ眞ト云フ、京都ニテ天書ヲオク爲メニ玉清 昭應宮ト云御殿ヲタテル、王且モ天子ガ神ヲマツリ、フシントオコスコトヲヤメサ  
セルフガデキナシタ  
○上在位二十六年自元年呂端罷後張齊賢李  
沈呂蒙正向敏中畢士安寇準王且相繼爲相惟且居位十一年  
當李沈爲相時且甫參政沈喜讀論語嘗曰爲宰相如論語中  
節用而愛人使民以時兩句尙不能行聖人之言終身誦之可  
也沈日取四方水旱盜賊奏之且謂細事不足煩上聽沈日  
人主少年當使知人間疾苦不然血氣方剛不留意聲色犬馬  
則土木甲兵禱祠之事作矣吾老不及見此參政他日之憂

トヤキイタル詞及  
ト同ジ



細  
トヤキイタル詞及  
ト同ジ

上文中ニツキテ願フ  
所アル詞ナリ

幾  
冀

コノ二字モ亦上ニ  
同ジ

將

今ヨリ後ニ云々セ  
ントスル詞ニシテ

也。及太中祥符封禪祠祀土木並興且乃歎曰李文靖眞聖人也。每有大禮且輒以首相奉天書以行常悒悒不樂欲去則上遇之厚及薨于位遺令削髮披緇以歛識者謂且得君而不能以正自終或比之馮道云。上天子ノ位ニアルフガ二十六年、元年ニ呂端ガ宰相ヲヤ政事ヲトル、タマ王且ノ宰相ニアルフガ十一年ナリ、李沈ノ執政トナルトキハ、王且ハ、シメテ政ノ相談役トナル、沈論語ヲヨムフチ好ム、アル片ニ曰フ、宰相トナリ論語ノ中ノ節用而愛人、使民以時ノ兩句デモ、ナホ行ナヒキルフナラス、(節用而愛人使民以時トハ、上ノ入費ヲハナシ、人民ヲイタハリ、人足チ出サスモ、農業ノスキマニツカフナリ)聖人ノ言バ、一生ノ中ノ心ニオホヘテ非テ宜シト、沈毎日四方ノ國々ノ水難、旱損、監難等ヲ以テ天子ニ申立ツル、王且ガ曰フ、其ノヤウナルイサ、カナ事柄ヲ天子ヘ申シキカセルニハ及バヌト、沈ガ曰フ、天子ハ年ガ若クアル、ナシテモ民家ノ(疾苦)ナンギクルシミヲ知ラセバナラス、サナクテハ(血氣方剛)ワカザカリノ元氣ガ一時サカシニテ、コ、ロヲ(膠色犬馬)オンカク、サカモリ婦女犬馬ノ如キ、モテアソヒ物ニヨセバ、(土木甲兵禱祠之事作矣)フシシヤ、イクサ、ミダリニ神ヲマツルフガハシマルデアラフト、ワシハ、年ガユキテ此ノ事ニ出逢フハナキガ、此レハ後シテ參政ノ(王且)云云(心配トナルワケデアルト、其後太中祥符ノ時ニ及ンデ、(封禪)天地ヲマツリ(祠祀)神ヲマツリ(土木)フシシヤオコストガ、一時ニハシマリタ、王且ナゲキテ曰フ、李文靖ハ(沈ノ字ナリ)マコトノ聖人デアルト、大ナル祭禮ノアルタビニ、王且カシラノ役人ナルワケヲ以テ、天ヨリフル書付ヲサ、ゲテス、ミユク、イツモ(悒々不樂)ウレ、ヘテ心ニヨロコバヌ、官チ辭退セント願ヘバ、天子ヨリテアツクアツカハルヲ以テ辭シエヌ、宰相ノ役中ニ死去スル片、(遺令)イ、オキラスルニ、カミツスリオトシ(披緇)僧衣ヲキセテ(歛)ソウレンセヨト、評論スルモノガ云フ、王且ハ(得君)天子寵愛ヲウケタルニ、正道ニテ自分ノ身ヲ終ルフガデキナシタト、此レハ天子ノ邪道ニ迷ヒ封禪土木等ヲ諫メヌヲ云フ、アル人ガ王且ヲ馮道ト同視デアルト云

モハヤ云々セシニ  
ハ非ズ

方且  
皆上ノ將ノ字トヤ  
同ジ

又  
ソノウヘ○カッ

上文ニアル云々ノ  
上ニソノ上マター  
ツノ云々ノ下ヲ加  
ヘテ云フ詞ナリ  
亦ノ字ト異ナリ

且  
ソノウヘ

又ノ字ト同ジ

復

此ノ字ハタマ再ビ  
スルノ意

更  
ソノウヘ○ヘッダ

フ、馮道ハ五代ノトキニ宰相ト  
ナリテ、ヨシアシノナキ人ナリ

無如李文靖深沉才德 鎮服天下無如王公面折廷爭素有  
風采無如寇公當方面之寄則詠不敢辭當日之世王欽若己相

欽若罷寇準再入相參政丁謂事準甚謹嘗會食羹汚準鬚謂起  
拂之準笑曰參政國大臣乃爲官長拂鬚邪謂甚愧恨準罷李迪

丁謂爲相準遠貶 迪罷謂獨相時上已有疾昏眩如準罷貶  
皆謂白中宮行之上不知矣尋崩年五十五在位改元者五日咸

平景德曰大中祥符曰天禧乾興太子立是爲仁宗皇帝  
評シテ言ニハ、(吾榜中)ワシト同シク試驗ヲウケテ及第シタ者ハ、ヨキ人物ガ此レマデヨリ一番ニオ  
ホシ、(謹重有德望)身ヲツ、シシ物ゴトメンシツテヨキヒヤウバン人望ノアルハ、李文靖ニコスモノ  
ハナシ、(深沈才德)シツクリトシテチエハタラキアリ人ニメグミアリテ、國家ノヨリアヒツケルハ、  
王且ニコスモノハナシ、(面折廷爭)天子ノ目ノ前デヨシアシラ云ヒ、ムキツケニ朝廷ノオモテセキ  
デ善惡ヲアラソフテ、(有風采)ヨウスノウルハシキ人ハ、寇準ニコスモノハナシ、(當方面之寄)一方  
ノ敵ヲフセグ大任ニアタツテハ、ワシハオシテ人ニハユツラヌト、王且ノ時ニアリテ、王欽若サキニ  
宰相トナル、欽若相位ヲヤメテ、寇準マタト朝廷ヘ入りテ宰相トナル、宰相ノソノ後ノ丁謂ハ進ニシ  
タガフテハナハタ身ヲツ、シム、以前ニ丁謂、寇準ト出アロテ、一所ニ食事ヲナス、其アツモノ、汁ガ

以テニアリシマ  
アラタメテ今マ  
ベツダニ、ソノ  
ウヘニ云々ノ  
スル詞ナリ

仁宗景祐四年日

本後朱雀帝即位

九年ナリ

仁宗慶曆六年ハ

日本後冷泉帝即

位ノ元年ナリ

仁宗嘉祐八年日

本後冷泉帝康平

六年ナリ

源賴義ガ鶴岡八  
幡宮ヲ建ツ

輿ノロケニツイタ、丁謂タツテアガリテ輿ノ掃除ヲナス、輿笑フテ曰フ、參政ノ役ハ國ノ大臣デア  
ルニ、頭後ノタメニロケノ掃除ヲシラレルカト、丁謂此言ヲハナハガザテウラミトス、其後輿ガ宰相  
ヲヤメテ、李迪、丁謂ノ二人ガ宰相ニ拜命シタ、寇準ハ遠方ヘシリゾケウツサレル、迪相ヲヤメテ、謂  
一人政事ヲトル、ソノ時ニモハヤ天子病氣ニテ(昏眩)目ガクランデ物ガ見ヘヌ、寇準ノ役ヲヤメウツ  
サル、ハ、皆丁謂ガ中宮劉后ニ申立テ、取りハカラヒシナリ、天子ハ其ノ「ガ」ヲ知ラヌ、天子病氣  
ツマキニ死去セラレタ、年ガ五十五デアル、天子位ニアル片ニ年号ヲカヘタ「ガ」ガ五回、咸平、景德、大  
中祥符、天禧、乾興ト云フ、太子ガ天  
子ノ位ニツク、是ヲ仁宗皇帝トナス

仁宗皇帝名禎 母李氏 章獻明肅劉皇后子之眞宗得皇子已  
晚 始生晝夜啼不止 有道人言能止兒啼 召入則曰莫叫莫  
叫何似當初莫笑 啼即止 蓋謂眞宗嘗籲上帝祈嗣 問群仙誰  
當往者皆不應 獨赤脚大仙一笑遂命降爲眞宗子在宮中好  
赤脚其驗也 自昇王爲太子年十三即位 劉太后垂簾同聽政

仁宗皇帝ノ名ハ禎ト云ヒ、其母ハ李氏ト云フ、劉皇后ソナテ、子トセリ、(章獻明肅トハ四字ノ諡号  
ナリ)眞宗帝ガヨツキヲ得ル「ガ」ヲソシ、仁宗初メテ生レテ、ヨルヒルナキテ(不止)トマラヌ其時(道  
人)修驗者アリテ曰ク、小兒ノ啼クヲヤメル法アリト、ソコデヨビ入レバ、修驗者曰フニ、ナクナ  
ナンデ最初ニ笑フタゾ、笑ハ子ハヨキニト云フ、啼ク「ガ」ニヤンダ、ソレハ眞宗帝ガ皇子ヲエント  
テ前方(上帝)天帝ヲヨビタノンデヨツキライノリシ片天帝ヨリ多クノ仙人ニ向ヒシニ、誰ガ眞宗ノ  
子ニユクント、皆(不應)返答チセヌ、獨リ(赤脚)スアシノ仙人ガ一度笑フタ、遂ニ天帝ヨリ申シツケ

宋仁宗皇帝

殊特

ツウレイナレバ云々  
コノ事ニミカギ  
云々スルノ語ナリ

使使令

コノ三字意ミナ同  
ジ、命令シテ云々  
ノヲセシムルナリ

况マシテ○ナホサ

更ニ進ムノ辭ナリ  
上文ニ意ノ満足  
セシ外ニ、ナホ云  
フベキナアル片  
一層ヲ進ムルニモ  
チフ

反

寧ノサカサマナル  
片用ル語ナリ

願

テ真宗ノ子トナス、真宗御殿ニ居リテ好ム、此レ其(願)シルシナリ、初メ昇王ヨリシテ、太  
子トナル、時二年十三ナリ、劉太皇(垂簾)ミス、**丁謂用事竄寇準爲雷州司戶參**

政王曾密奏謂包藏禍心真宗山陵擅移皇堂於絕地遂罷謂

貶至崖州司戶謂初命學士草準實詞令用春秋無將漢法不道  
爲證專及謂竄 學士乃用其語人快之

雷州ノ司戶ト云役ニシタ、王曾人シラヌヤウニ上ニ申シ上ルニ、謂ハワルキタクシノ心ヲ(包藏)腹ニ  
モツテアル、真宗ノ(山陵)葬地ヤ(皇堂)葬地ニ立ル所ノ禮拜堂ヲ(絕地)カケハナレタ土地ハ自分カ  
ツテニウツシカヘルト、遂ニ丁謂ノ役ヲサケテ崖州司戶トナス、丁謂初メ學士ノ人ニ命ジテ、寇準カ  
(實詞)罪ノ次第書ヲ(草)シタガキスルニ、春秋無將(春秋傳)君親ハ將ナシ將スレバ必ス誅セラル、  
將ハ將ニ逆亂ヲサントスルヲイフ、逆亂ハ君ヲ殺スヲ云ナリ、(漢法不道)大惡不道ト云フナリ、是チ  
以テ罪狀ノ考按ニカイテ、證據トシタ、丁謂カ罪ニラトサレタル片ニ、又學士ナドカ無將不道ノ語ヲ  
以テシタ人々皆 愉快ト思フタ

**方逐準時京師語曰欲得天下寧當拔眼中丁欲得**  
**天下好莫如召寇老然準竟不及北還而卒王曾爲相王欽若再**  
**相欽若卒張知白相知白卒張士遜相士遜罷呂夷簡相惟王**  
**曾自天聖初居相位至是七年而罷曾初舉進士青州發解禮部**

反ノ字ト同ジ

抑サナクバ○タマシ  
ハ○トモアレ

反語ノ語ナリ、ニ  
ハ上文ノ「アケテ」又  
ラク打捨テ更ニ端  
ヲ起スニ用ユ

將

抑ノ字トヤ、同ジ

將抑

カ、サナクバ何々  
ト云フ義ナリ

或倚儻

并ニタマシハト云  
フ意ニテ反ヘシ語  
ル片ニ用ル語ナリ

設令假使

廷試皆第一一人曰收元三場喫著不盡曾曰曾平生之志不在

温飽真宗未正色立朝朝廷賴以爲重作相日所進退士莫有知  
者或問其故曾曰恩欲歸己怨使誰當

ワセントオモヘバ、(眼中)目ノ中ノ釘(釘同義ナリ)ヲヌク如ク、丁謂ヲ朝廷カラヨイダスガヨ  
イ、天下ノ人々ナカヨクセント思ヘバ(寇者)寇準ヲ朝廷ヘ召シカヘスガヨイト、然ルニ準ハ北ヘカヘ  
ラズニ死シタ、王曾(相)宰相トナリ、欽若ニ度ト相トナリ、知白、張知白宰相トナリ、知白  
死シテ、張士遜宰相トナリ、士遜ヤメテ、呂夷簡宰相トナル、タマ王曾ハ天聖年号ノ片ヨリ相トナリ  
リ、是ノ片ニナツテ七年目ニシテ役ヲヤメラレタ、王曾初メ官ニツケラル、片、青州ニテ(發解)嶺中  
ニテ人ヲ試ミ舉ル片、禮部省ノ試驗モ(廷試)朝廷ニテノ試驗モ三度共皆第一ノ及第ニアタル、ヨツテ  
人ノ日フニ、(三場)發解禮部廷試皆(狀元)進士ノ第一ナレバ、隨テ祿米モ多ク(喫著不盡)ノコリナク  
クロクサレヌト、曾ノ日フ、我ツチノ(温飽)アタ、カニキタリ十分ニタヘル心デ  
ハナイ、必ズ天下ノチカヤカニツサマルカチモワクテアル、真宗在位ノ末顔色ヲタマシクシテ朝廷ニ  
居ル、朝廷ノ人王曾ヲ以(重)ヲモリトシ、タヨリトシタ、相トナル日役ヲアケラレタリ、サケラレタ  
リシタ士ハ何人ノシワサカシラス故、或人其ワケヲ問フ、曾ノ日フ、進メタ所ノ士ヲ自分ノシワザニ  
セントオモヘバ(怨)退ケ

立來貢賜名全忠太中祥符間全忠卒子幼弟爭立大校李公蘊

遂殺之而自立至是公蘊卒子德政立來告喪封交趾郡王

云モノ景徳ノ年間ニ死シ、其子ノ龍廷、兄ノ龍鉞ヲ殺シテ自分カツテニヨツキトナリ、來リミンギモ

籍使

皆同シ限リ設ケテ  
云々ヲ陳フル謂ナ

雖

上文ヲ足ラズトス  
是ハ此ノ如シトモ  
ル片ニ用ルナリ

荷

マコトニ  
モシマコトニ云々  
ノアアレバト云フ  
謂ナリ

只

但止徒

祗

并ニハカリト云  
フ論ニシテ皆同シ

ノヲ差出ス、其并天子ヨリ名ヲ全忠ト賜ハル、太中群符ノ片、全忠死シ、子ハ幼少デアアル、ヨツテ弟ガ  
位ニ立ツヲ争論ス、李公蘊ツイニ弟ヲ殺シテ、自分ニアトラツグ、公蘊死シ、其子ノ徳政ガ相續シ、父  
ノ死ヲ來リ告グ、徳政ハ交  
契丹主隆緒殂號聖宗子宗眞立  
契丹ノ君隆緒ガ死  
聖宗ト名ラフ

西夏趙德明卒子元昊立  
西夏ノ趙德明死シ  
子ノ元昊ガ立ツ

劉太后以上  
劉太后ハ仁宗帝ヲ以テ自分ノ子トスルナリ、ソウシテ仁宗ノ實母ノ李氏ハ(黙々)ヲトナシクシテ眞  
宗ノ(嫗御中)宮女中ニ交リ居リ、(自異)李氏ハ己ガ生ム子ト云フ顔イロモセヌ、世間ノ人モ亦劉太后  
ノ怒リヲオソレテ言ハザリシ、眞宗ノ病氣ヲモクナリテ、ソコデ李氏ノ位ヲ宸妃ニス、ム、其後間ナ  
クシテ死ナレタ、呂夷簡劉太后ニ申シ出デ、天子ノ母ノ禮式ヲソヘテ葬ムラント、ソウシテ日フニ、  
後日ニ至テ夷簡ガカ子テ喪禮ノヲ申出ヌトイハレヌヤウト、宸妃死  
シテ一年シテ劉太后モシナレタ、政事ヲ執ラレシ丁十一年ノ間ナリ

他日莫道夷簡不曾說來宸妃卒踰一年太后崩稱制十一年  
劉太后ハ仁宗帝ヲ以テ自分ノ子トスルナリ、ソウシテ仁宗ノ實母ノ李氏ハ(黙々)ヲトナシクシテ眞  
宗ノ(嫗御中)宮女中ニ交リ居リ、(自異)李氏ハ己ガ生ム子ト云フ顔イロモセヌ、世間ノ人モ亦劉太后  
ノ怒リヲオソレテ言ハザリシ、眞宗ノ病氣ヲモクナリテ、ソコデ李氏ノ位ヲ宸妃ニス、ム、其後間ナ  
クシテ死ナレタ、呂夷簡劉太后ニ申シ出デ、天子ノ母ノ禮式ヲソヘテ葬ムラント、ソウシテ日フニ、  
後日ニ至テ夷簡ガカ子テ喪禮ノヲ申出ヌトイハレヌヤウト、宸妃死  
シテ一年シテ劉太后モシナレタ、政事ヲ執ラレシ丁十一年ノ間ナリ

夷簡張士遜并相夷簡罷李迪相而士遜爲首相無所發明而罷  
夷簡復相迪罷王曾復相而權在夷簡夷簡之初罷也以郭皇  
后之言及復入而后有尙美人爭寵之際遂廢郭后夷簡有力焉

臺諫孔道輔范仲淹爭不得而出仲淹還朝爲待制知開封府言  
事愈急數議時政夷簡訴其越職罷知饒州館閣余靖尹洙爭  
之皆坐貶歐陽脩責諫官高若訥不諫謂不知人間有羞耻事若  
訥奏其書亦貶蔡襄作四賢一不肖詩四賢指仲淹洙靖脩不肖  
指若訥也王曾因對斥夷簡納賂示恩夷簡曾並罷王隨陳堯佐  
代之以無所建明而罷張士遜章得象代之

ヨリ又前ニ呂夷簡、張士遜ガ互ニ宰相トナル、夷簡ガヤメテ李迪ガ相トナル、士遜ハ(首相)坐頭ノ宰  
相ノ役ナレバ、(發明)朝廷ノ惡弊チノソキ益スルヲナカリシ故、相位チヤメラレタ、夷簡マタト相位  
ニナリ、迪ハヤメラレタ、王曾マタト相トナル、而シテ政權ハ夷簡ノ手元ニアル、夷簡ノ最初相位チヤメ  
シハ郭皇后ノ言ニヨツテナリ、復相位ニツク井ニハ、后ト尙美人ト天子ノ寵愛チ争フアリシガ、遂  
ニ郭后ガオトサレタ、ソレハ夷簡ノ骨折リデアアル、(臺諫)諫官ノ孔道輔、范仲淹等郭后チ廢スルヲチ  
トメタナレバ、云フガ立タヌヨリシテ、(出)役チ辭シ知州事トナル、仲淹朝廷ニ召サレ待制ノ役人ト  
ナリ開封府ノ知事トナリテ、政事ノヨシアシキビシクイケンスルヲタンクセマル、夷簡ガソノ仲  
淹ノ職分ニサシデルコトナラハ、政事ノヨシアシキビシクイケンスルヲタンクセマル、夷簡ガソノ仲  
淹ノ事チ争フテ、皆役チオトサレタ、歐陽脩ハ諫官ノ役ナル高若訥ガイサメヌヲチ責メツケテ、人間社  
會ニハザノアルコト知ラヌト云フ、若訥其責メラレシ書ヲ天子ニ奏聞シタ、ヨツテ歐陽脩ニ官位ヲオ  
トサル、蔡襄ト云人四人ノ賢者ト一人ノバカナル者トノ詩ヲ作ル、四賢ハ仲淹、洙、靖、曾ヲサシ、不肖  
ハ若訥ヲサスナリ、王曾天子ノ策問ニ答案シテ夷簡ガマヒナイトリコシ、人ヲ推舉シタルヲ(斥)申  
立ツ、夷簡、曾ノ二人共役ヲヤメラレ、王隨、陳堯佐其役ノ代リトナル、然レバ(建明)天下ノ政事ヲホ

惟唯獨直

井ニハカリト云フ  
テ只ノ字ヨリ重ク  
且ヨリタヌ意ナリ

聊

何ハトモアレ取ア  
ヘズ少シク子ゴウ  
謂ニテシバラクノ  
意アリ

嘗

甚タカルキ辭ニシ  
テ以前ノマケル  
テ文ヲ折リマケル  
詞ナリ  
(サイゼン)ト云フ  
意ニテ用フ

姑

且姑ノマ  
并ニ(ワツカ)ノア

イマト云フ意ニ  
テ文ヲ轉ズル語ナ  
リ

既マホドニ  
モハヤ

既往ヲ以テ轉シ并  
ニ往事ノ去リタル  
後ニ云々ノアル  
辭又(モハヤ)ノ意  
ニテ用フル語ナリ

寧イワン

寧ヲヨリワケテ云  
ヒキハメル辭ニテ  
(彼)レヨリハイッ  
ソコレニセント  
云ヒ意ニ用フ

念

帶ニタヘズ志レズ  
シテオモイワケ  
ナル時ニモチウル語  
ナリ

初サイ

トヨクセヌ故ヲ以テヤメラレテ、張  
士適、竊得象ガカハリテ宰相トナル

○趙元昊據有夏銀綏宥靈鹽會勝甘

涼瓜沙肅州之地居興州阻賀蘭山爲固僭號天夏皇帝入寇西

邊驕然范雍經略西夏聞元昊將攻延州懼甚閉門不救劉平

戰中官黃德和誣奏平降賊以兵圍其家議取其族富弼言平

自環慶來援姦臣不救故敗罵賊而死德和誣人冀免坐腰斬

范雍罷時軍興多事張士遜無所補諫官韓琦上疏曰政事府豈

養病坊邪於是士遜致仕呂夷簡復相用韓琦范仲淹爲邊帥

仲淹嘗兼知延州夏人相戒曰毋以延州爲意小范老子曾中自

有數萬甲兵不比大范老子可欺也邊人爲之語曰軍中有一韓

西賊聞之心膽寒軍中有一范西賊聞之驚破膽吳之不得大

逞蓋藉琦仲淹之宣力居多

側

上文ヨリ忽チ筆ヲ  
轉ジテサイシヨノ  
ヲ立チカヘリ上  
文云々ノワケノ次  
第ヲ推原スルナリ

ヤサシクワザトマ  
ワリ遠ク云フ詞ニ  
テ風ノタヨリニチ  
ラリトト云フ意ナ  
リ

會

并ニソノ事ニハカ  
ラズテウドデアヒ  
タル片ニ用ウルコ  
トハナリ

於

指ス所アルニ用并  
又在ノ字ノ如ク重  
ク用ウチ乎ホマ於  
ノ字ニ同シ

所ヲ興州ト云成ニ住居シ、賀蘭山ノ要衝ヲ前ニ(固)カダメトシ、大夏皇帝(僭號)自分カラカワ  
ニ天子ト稱ヘテ、セメ來ル、(西邊)西方ノ國境サハキタテタ、范雍、西夏ヲ(經略)トリ定ム、元昊ガ不  
州ニセメ來ラントスルヲ聞キ、オソレルヲ甚シ、門ヲシメテカセイヲセヌ、劉平イクサニ死ス、中官ノ  
范雍和ト云モノガ、年ハ賊ニコウサンシタト(諷察)イワハリ申上ケ、兵卒ヲ以テ平ノ家ヲトリカコミ  
其家族ヲトヘント相賊ス、富弼ガ曰フ、平ハ環、慶ヨリ來リカセイセシニ、(姦臣)范雍ガ懼レスクハ  
又故ニ敗レテ、賊ニ(罵)惡口シテ死タルナリ、德和ハ人ヲ讒言シ自分ノ過チヲ免レントスト云テ、罪  
セラレテ(腰斬)コシキリニ逢フタ、范雍ハ役ヲトカレタ、此ノ時分所々ニイクサヲコリテ多事ナリ、  
張士遜朝廷ノ爲ニナルヲ少ナカリシ、諫官ノ韓琦ガ察聞シテ曰フ、(政事府)政事堂ハナニシニ(姦病  
坊)病人ノ養生室デアラフキト、ヨウテ士遜ハ退ヤクサセテ、呂夷簡マタト宰相トナル、韓琦、范仲淹  
ヲトリアケテ(邊帥)邊境ヲ守ル大將トナス、仲淹以前ニ西州ノ知事トナル、(夏人)西夏ノ人互ニ用心  
シテ曰フ、延州ヲ攻メ取ラテ見トスルナ、小范老子ハ(仲淹)ノ父ノ子トシテ敬スルナリ  
(胸中)ニエチノウチニ(數万甲)オ、クノ軍ゼイガアル、(計畧)ニ勝ルル云云)大范老子ノ(范雍)ノ如キ元昊  
ニタマサレタルヲ云フ)タマサレヤスキ人物ノ類デハナイ、邊境ノ人ガ(語之)ハヤリ言葉ヲククリテ  
曰フ、軍中ニ(一韓)韓琦一人アリ(西賊)西夏ノ人其名ヲキ、テ(心膽寒)キモタマラツプス、軍中ニ  
(二范)仲淹一人アリ、西賊キ、テラドロキキモラツプス、元昊ノ十分ニオモワクドウリニナラヌハ、  
ソレハ大概琦、仲淹ノ(宣力)番  
折ガ多クアルニヨツテナリ

契丹乘朝廷有西夏之捷遣泛使求石晉所

割周世宗所取關南地知制誥富弼接伴時夷簡任事人莫敢抗

弼數侵之夷簡欲因事罪弼以弼報使弼至往返論難力拒其

割地使還再遣而國書故爲異同夷簡欲以陷弼弼疑而啓

觀乃復回奏面責夷簡易書而往增歲賂銀絹各十萬定和議而

也ハヤ

シカト断ズル時モ  
チウルコトハナリ  
又ヤノ訓ニテ助語  
トナシ又ハ者ノ字  
ト同シ意ニ用ウル  
コトアリ

諸ニ

之ノ字乎ノ字ヲ合  
タル意ニテ用ウル  
爾ナリ

誰

井ニ何人ナルカラ  
伺ヒ指シテ出スノ  
コトハナリ

不

アザル  
アアラズ  
タトヘテナキ謂ニ  
テ強ク決断スルナ  
リ無ノ字ヨリ甚ダ  
ツヨシ又非ノ字ト  
同意ニモチウル也

非

石ナリ木ニアラズ  
ト云フ如ク全ク異  
ナル片ニモチウル  
辭ナリ又不ノ字  
如ク用ウルアアリ

未

マサニ此クアラシ  
トシテ然ラザル意  
アリテ不ノ字トハ  
全ク全シカラザル  
ナリ

無

ニ字タイタイ意同  
シ莫ハタヤカルク  
シテヤサシキナリ  
母勿レニ字ハ  
タマ禁止ムル辭

逐

トウ  
トウ  
初メヨリカ子ヲ定

還<sup>レ</sup>契丹ハ(西夏之隣)西夏ノサウドウアルニツクニミ、(汝使)海ゲヨリ使ヲオコシ、石晋ガサキトリ  
シ土地、及ビ周ノ世宗ガトリ、コム處ノ(閩南)ノ地ヲトリカヘサンコトヲ申シ來タ、(知制誥)天子ノ命  
ヲ掌ル役ノ富弼ガ(接待)客ノアイナニナル、此時ニ契丹ガ自分獨リ政事ヲナシ、餘人ダレモ(抗)夷節  
ニハリアフモノナシ、然ルニ(契丹)ハタビク(侵)之政事ノ議論ヲナス、事柄ニヨツテ(契丹)罪ニヲトサン  
ト思ヒ、(弼)ヲ以テ(報使)報書ヲモタセテ使者トシ契丹ニツカハス、(弼)契丹ニ行、ユキ、片議論シ  
メアフテ、カノヲヨブタケハ地ヲ割キヤルコトヲデキヌヨウニ骨折リ、歸リテ再ビ亦使ニヤル、(國書)  
天子ノ書翰ト弼ニ申シ付ケタ口上ト(故爲)異同)ワザトチガヘサセテ、(弼)罪ニセントス、(弼)フシギニ  
思ヒテ(國書)ヲヒラキ見ルニ、異同アル故ニカヘリ申上ケテ(契丹)ヲ(面責)目ノ前ニテセメツケ、ソレヨ  
リ書翰ヲ更ニ認メテ使者ヲツトム、(一歳)ヲクリモノ、  
銀絹ソレノ十萬ホドヲフヤシテ和陸ヲナシテ歸リタ  
○呂夷簡求能 上遂欲更天  
下弊事增諫官員 命王素歐陽修余靖蔡襄供諫院職以韓琦范  
仲淹爲樞密副使召夏竦爲樞密使諫官論罷竦以杜衍代之國  
子直講石介喜曰此盛德事也乃作慶曆聖德詩有曰衆賢之進  
如茹斯拔 大姦之去如距斯脫 大姦指竦也 仁宗皇帝天下ノ政事ノアシ  
キ所ヲ改革セント思ハレテ、諫官ノ役人ヲフヤス、王素、歐陽修、余靖、蔡襄等ニ命ジテ、(諫院)職ヲ諫官  
ノ役ニアテ、韓琦、范仲淹ヲ樞密副使トシ、夏竦ヲバ召シヨセテ樞密使ノ役人トス、諫官ノ者ヨリイケ  
ンシテ夏竦ノ役ヲヤメテ杜衍ヲ以テ其ノ代トス、(國子直講)大學校ノ講官ノ石介喜ビテ曰フ、此レハ  
至極ケコウナルコトアルト、ソコデ慶曆ノ政事ヲホメテ詩ニ作りテ曰フ、(衆賢)多クノ賢人ノ朝廷  
ニ集ルハ、恰モ(茹斯拔)一ツノカヤヲヌケバ其根ニ他ノ草モツキテヌケル如ク、一人ノ才德アル人ガ  
朝廷ニ出ルト、其他ノ人物モツイデ、クル、(大姦)去ツルキモノカ立チサル片ハ(距)離ノ  
ケツメヲヌケバ他ノ雞ヲ害セヌ如ク、朝廷ノ害ヲナサヌ、サテ大姦トハ(夏竦)ヲサスナリ  
仲淹琦

適<sup>レ</sup>自陝西來道中得詩仲淹拊股謂琦曰爲此怪鬼輩 壞事  
疎因與其黨造論 目衍等爲黨人歐陽修乃作朋黨論上之畧曰  
小人無朋 惟君子有之 小人同利之時暫爲朋者偽也及其見利  
而爭先或利盡而情疎 反相賊害君子修身則同道而相益事  
國則同心而共濟終始如一此君子之朋也爲君者但當退小人  
之僞朋進君子之眞朋則天下治矣 仲淹ト、韓琦ハオリフシ陝西ヨリ來ル、ソノ  
ヲウチ歎息シテ琦ニ向テ曰フ、(怪鬼)此ノバカナ夏竦等ニ(壞事)事ヲシコナハセルト、竦此レカラ  
シテ(其黨)一味ノ者ト論書ヲツクリ、杜衍等ヲ一味徒黨トス、ソコデ歐陽修ガ明黨論ト云文章ヲツク  
リテ天子ニサシ出ス、其論ノ大意ニ曰フ、小人ニハ朋友ナクシテ、タマ君子ニノミ朋友アリ、小人ハ利  
益ヲ一所ニハカル片ハ、當分朋友トナレトモ實ハウツデアル、利益ノアルヲ見ル片ハ我レサキトカ  
ヲ出ノ世話ヲスルナレトモ、利益ナクナル片ハ情合ガウツクナリテ、此レマデノ心ト打チカハツテ互  
ニツル口ヲ言フコトナル、君子ノ身ヲオサメワ、シム片ハ、同ジクスチ道ヲ行フテ互ニ德ヲフヤ  
ス、官ニツクバ心ヲ一ツニシテ、互ニタスケアフテ、始メモ終リモ(如一)同ジヨウニカワラヌ、コレガ  
君子ノ朋友デアリ、兎角主君ハ小人ガ一時ノ朋友ヲ結ブモノヲシリソケテ、  
君子ガ結ブホンマノ黨類ヲ役人ニ進ムレバ、天下ハヨク治ルヲケデアルト  
○仲淹遷參政  
富弼爲樞副上既擢仲淹等每進見必以太平責之開天章閣召

宋仁宗皇帝



メタルナクンダ  
イノトウノ終  
云々スル詞ナリ終  
ト大異

終 竟 卒

并ニ謂ノ尾ヲ示ス  
謂ニシテツママリ  
ハテナリ遂ノ字ト  
意皆異ナリ

稍 シナイニ  
スコシ

小サキ意ニテ又次  
第アル詞ナリ差ト  
同シケレドモ少シ  
クカルシ

漸 浸 浸

并ニ事ノシタイニ  
進ム詞ナリ

敢 メツタニ  
ツカト

進ミテアトニフリ  
カハラヌ意ニテツ

對賜坐給筆札仲淹等皆惶恐退列奏十事一日明黜陟二

日抑僥倖三日精貢舉四日擇官長五日均公田六日厚農

桑七日修武備八日減徭役九日覃恩信十日重命令上方信向

悉用其說惟武備欲復府兵一說宰相以為不可時章得象晏

殊並同平章事未幾仲淹宣撫陝西河東富弼宣撫河北竦等

造謗故仲淹等不安於朝歐陽脩亦出使河北晏殊罷杜衍同

平章事衍務裁僥倖每內降率寢格不行積詔旨十數輒納

上前上嘗語諫官曰外人知衍封還內降邪朕在宮中每以不可

告而止者多於所封還也會衍婿蘇舜欽監進奏院用鬻故紙公

錢祀神會客御史中丞王拱辰素不便衍等所為因攻其事置

獄得罪者數人拱辰喜曰吾一網打去盡矣衍相七十日而罷賈

昌朝平章事兼樞密使韓琦罷樞密副知揚州事章得象罷陳執中

平章事昌朝罷夏竦代為樞密使仲淹ハ政事ヲ助ケル役人ニホリ、富弼ハ樞

密副知揚州事也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、韓琦ハ樞密使也、

宋仁宗皇帝

夫

ナニノトコゾル  
サテモノトコゾル  
意ニテ断ズル中ニ  
款息ノ意ヲ含ム處  
ニ用イテ結ブナリ

己

矣ノ字ニ似タレ  
下句ニヒカカズ十  
分ニ意ノ終リタル  
處ニ用ウヘテゴサ  
ルト云フ意アリ

爾

重クキル語尾ノ嗣

耳

文勢ヲ輕ク下ダス  
辭簡ヨリ輕ルクヤ  
サシ

而已

耳ノ字ト同ジヘバ  
カク(ナリ)ナド  
ノ意ヲ以テ結ブ嗣  
ナリ

己

順ニ落ツカス嗣

而已

焉而已

焉

皆ヤサシク順ニオ  
チンカス嗣ナリ

矣乎

コトハ止マリテ意  
ノツキ又處ニ用ウ  
又ツキノ句ヲ呼ビ  
オコソ意アリ故ニ  
シカル片皆之レヲ  
用ウ

云

句尾ニ此字ヲ下ガ  
スハソノ説此クノ

平章事ノ本官ニテ、樞密使ノ役ヲ兼テ務トム、韓琦ハ樞密副使ヲヤメラレテ揚州ノ知事トナル、章得  
象ハ後ヲヒキ、陳執中ガ平章事トナル、**○貝州卒王則反**文彦博宣撫河北討  
昌朝役ヲヤメ、夏竦其代役トナル

平之彦博入爲平章事 貝州ノ成卒ノ王則ト云フ者謀反ラナス、文彦博ガ天子ノ命ニテ  
河北ノ民ヲナデシツメ、戰ヒテ貝州ヲ平ラシ、歸朝シテ平章事

**○趙元昊慶曆初嘗因范中淹請和**反覆數歲竟納款復稱  
臣策命爲夏國王名曩霄歲賜銀絹茶綵二十五萬五千遂不  
復寇邊卒子諒祚立 趙元昊ハ、慶曆ノ初年、或ル片范中淹ニタヨリテ和睦ナシヌ謀反ラ  
ナシ、彼レコレスルヲ五六十年ナリ、ツマリニハ(納款)降参シテ臣ト

云フ、(策命)天子ヨリ詔書ヲ下シ、夏國王トシ、名ヲ曩霄ト云ヒ、毎年銀、絹、茶(綵)イロドリノ絹等ニ  
十五萬五千ヲ賜ハレタ、ソレヨリシテ二度ト國邊ニ

入寇ラセヌ、曩霄死シテ、其子ノ諒祚ガ代リ立ツタ **○陳執中以無所建明罷**位ニ降  
ルハカリテ朝廷ノ益ニナラヌ **○夏竦罷**宋庠代之尋同平章事未幾罷

夏竦役ヲヤメラレ、宋庠ガ代役トナル、ロキツヤイ **○張貴妃兄堯佐一日除**四使  
テ同平章事トナリ、ホドナクシテ役ヲヤメラレタ

監察御史裏行唐介論之不聽遂劾奏文彦博向守衛以燈籠錦  
獻貴妃得執政故黨堯佐上怒遠貶介彦博亦求罷龐籍平章事

張貴妃ノ兄堯佐ト云モノ、一ヶ月ノ間ニ(四使)四ヶ處ノ節度使ニ拜命ス、(監察御史裏行)御史ノ下得

ノ唐介ガ其ノ不都合ナルヲ論ズレバ、キ、イレガナカフタ、ワイニ(劾奏)罪ノアリサマヲマシテ、  
奏聞ス、文彦博ト云者以前ニ蜀ノ郡守トナリ、(燈籠錦)錦ニテ燈籠ノ織コミアル者ヲ貴妃ニ進上シ  
テ、(執政)政事ヲトル役人ニトリタテラレタ、ソレ故ニ堯佐ニクミスルト云フ、天子怒テ介ノ官位ヲ  
オトシテ遠方ノ役人トス、彦博モ役ヲ  
ヤメタ、龐籍ガ平章事ノ役人トナル **○廣源州儂智高寇廣州連歲陷**諸州

自邕至廣西皆被其害命樞副狄青討平之還爲樞密使 廣源州ノ  
儂智高ト

云モノ廣州へ入寇スルヲ、年々ナリ、諸州ヲ攻メトルヲハ、遂ヨリ廣西ニ至ル迄ハ、皆儂智高ノ亂暴ヲ  
ウケル、因テ樞密副使ノ狄青ニ詔シテ、ウチ平 **○龐籍罷**龐籍ノ罷

章事適罷劉沆代之執中罷文彦博富弼並同平章事士大夫相  
慶得人上曰人情如此豈不賢於夢卜哉上嘗問王素孰可爲相

素曰惟宦官宮妾不知姓名者可充其選上慨然曰如此則富弼

耳 陳執中、樂適ガ平章事トナル、適ハ辭職シテ、劉沆ガ代役トナル、執中ガ役ヲヤメテ、文彦博ト、  
富弼ガ一時ニ同平章事トナル、身分アル人タチガ、朝廷ニハヨキ人物ヲ手ニ入タルヲ(相慶)互  
ニ悦ビイハフ、天子ガ曰フ、人情ハコソトウリテアル、何ソ(夢卜)高宗夢ニ傳説ヲエ、周ノ文王ガ  
トシテ太公望ヲ得タル類ヨリマサツテアルト、天子以前王素ニ尋ヌルニ、誰ヲ宰相トシテヨカロフ  
ト、素ノ曰ク、只宦官ヤ異女中ノ知ラヌ者ヲ、人選スルガヨロシト、其ノ主意ハ小人ハ多ク天子ノ近  
臣、又ハ宮妾ニ詔ヒ尋ラ求ム、故ニ宦官宮妾ハヨク名ヲ知ルナリ、天子ナケケテ曰フ、ソノトウリテア  
レバ只富弼バ **○契丹主宗真殂號興宗子洪基立**契丹ノ主宗真死シテ、興宗  
カリテアルト

契丹主宗真殂號興宗子洪基立 契丹ノ主宗真死シテ、興宗  
ト號ス、子ノ洪基代テ立ツ

如シト云フ意ニテ  
用ルナリ

云爾

此クノ如ク云フト  
云フ義ニテ然トカ  
クヨリカルクソナ  
ニシテヤサシキ意  
ナリ

也者

二字ツマケカクハ  
上文ヲトキアカス  
時用ウル詞ナリ

乎ナランカ

ウタガヒテ未定ノ  
辭ニテ考ヘハカ  
ノ意アリ又タ辨  
詰問ナドニ用ヒ  
決斷スルニ用ウ

歟

(デアリマセウ)ト

交趾李德政卒子日遷立

交趾ノ李德政死シテ、  
子ノ日遷ガ立ツ

○劉沆罷文彦博罷韓

琦平章事富弼罷

劉沆罷ヲ辭シ、文彦博モ役ヲヤム、韓  
琦ガ平章事トナリ、富弼ハ役ヲセク

○王安石知制誥安

石每遷官遜避不已至知制誥則不復辭官矣安石嘗侍賞花釣

魚宴誤食鉤餌已悟而食之既上以其不情而遂非惡之安石

有重名士爭向之惟蘇洵不見著辨姦論亦以為不近人情必

大姦慝

王安石ガ(知制誥)天子ノ命ヲ行フコトヲ掌ル役タリ、官位ノ昇ル度ニ(遜避)辭退ラタ  
ル遊ビテ御酒宴ニ出タ、ソノ片(誤食鉤餌)魚ノツリバリヲ食ヒシモノヲ、其ノマ、食フモハヤ氣ガ  
ツイタナレトモ、其ノマ、(既)クヒツクシタ、天子之ヲ以テ安石ノ人情ニハツレテマケラシメニシトケ  
ル人物ナルヲ惡ム、安石ハ(重名)ヲモキ評判アリ、人ガ皆望ヲヨセテタヨル、獨リ蘇洵ハ安石ヘ行カ  
ス、辨姦論ト云文章ヲ作り、人情ニハツレタル人ニ

君德有三曰仁曰明曰武二論御臣曰任官曰信賞曰必罰

三論揀軍又進五規曰保業曰惜時曰遠謀曰謹微曰務實

司馬光ハ諫官ノカシラ役タリ、(三制)ニテ條ノ書付ラ進ム、第一ニ主君ノ德ヲ論ズ、其ノ德ニ三アル  
也、仁ト云ヒ、明ト云ヒ、武ト云ヒ、第二ニ臣下ヲ使フ道ヲ論ズ、(任官)官職ヲ以テ賢人ニマカス、(信賞)功  
アレバ、愬度褒賞ヲ與ヘ、(必罰)罪アレバ必ズ刑ニ處ス、第三ハ(揀軍)軍兵ヲニリヌクコトヲ云フ、又(五

邪マスカ

云フ意ニテ乎ノ意  
トホヤ似タレトオ  
タヤカナリ疑フテ  
疑ハヌ意アリ

哉カ

乎ト同ジケレト  
ク意歎ク意ホメル  
意自得ノ意ナドヲ  
含ミ反シナシル文  
意アルニ用ユ

也哉

謂止ミテ咏嘆ノ  
意ヲ含メル詞

也邪

上ニ比スレハ尙  
水尾ヲヒキテナ  
ガシ

○曾公亮平章事

曾公亮ガ平  
章事トナル

○上在位四十二年改元者九天聖明

道則垂簾之政也景祐以來政由己出寶元康定間西鄙多事慶

曆更化君子滿朝至皇祐至和嘉祐天下承平無事恭儉之德愛

人恤物之心自即位至升遐終始如一日遺制下雖深山窮谷

莫不奔走悲號而不能止壽五十四皇子立是為英宗皇帝

一四十二年ニテ、年号ヲカヘルコト九度、天聖、明道ノ片ハ則チ(垂簾之政)劉皇后ノ政事ヲスル片ナリ、  
景祐ヨリハ、仁宗自分ニ政事ヲセラル、寶元、康定ノ片ハ、西夏ノ入寇アリテ、國境ニ事ガ多シ、慶曆ノ  
頃ハ(更化)政事ガヨクユキトキテ、賢人君子朝廷ニ滿ツ、皇祐、至和、嘉祐ノ頃ハ天下ヨクオサマリ  
テ、何事モナカリシ、上ノ儉素ニシ、人物アハレミタマフハ、天子ノ位ニ昇リテ、(升遐)崩セシ時分マ  
テ、(如一日)カハルコトナシ、(遺制)天子曾ヒノコシノ詔書ガ朝廷ヨリ下ル、(深山窮谷)タクブカキ  
山谷ニ往ム者ト雖ヒ、(奔走)カケマハリテ、悲シミナケカスモノハ  
ナカリシ、年輪五十四ナリ、皇子ガ位ヲフム、是ヲ英宗皇帝トナス

英宗皇帝初名宗實漢安懿王允讓之子太宗之曾孫也仁宗立

音長クシテ意ヤサ  
ラク決スヘキ所口  
ナシム所口ニ用ウ

也歟

也哉トタイテイ同  
ジケレト更ニオダ  
ヤカナリトス

者乎

ウタガヒ開フ意ヲ  
オビテソラニカル  
クトマメ結フ詞ナ

佛家門

○四大  
地 水  
火 風

為皇子賜名曙仁宗崩固避數四而後即位以憂疑致疾慈聖

光獻曹太后權同聽政上舉措或改常度遇宦官尤少恩左右多

不悅乃共為譏間兩宮遂成隙賴宰相韓琦參政歐陽脩等調

護上既康復親政太后撤簾琦一日出空頭勅脩已僉趙槩

未僉脩曰第書之韓公必有說琦坐政事堂召內侍任守忠立

庭下曰汝罪當死責斬州安置蓋交鬪兩宮之人也

安懿王允讓下云人ノ子ナリ太宗ノ(會孫)ヒマゴニアタル仁宗帝ガ立テ嗣子トシ名ヲ曙トアタ

ヘタ仁宗死去セラレテ(固避)位ニツクヲラタツテコトハル一四回ナリソノ後天子ノ位ニツク

(以憂疑致疾)心配ヤモノサタガヒヨリシテ病氣ヲオコス仁宗ノキサキ曹太后ガカリニ天子同様

ニ政事ヲキク天子(舉措)タチフルマヒハ時トシテハ平生ノ様子トカハル(宦官)オクムキノ役人

モテナスツガハナハタメグミカナイ(左右)ソバツキノモノオホク心ニウレシクモハヌ共々ニ

(為譏間)悪口ヲツケル兩宮遂ニ心ガアハヌ(兩宮ハ英宗ト太后ナリ)宰相ノ韓琦參政ノ歐陽脩ヲ

ガ(調護)ホトヨク取持スルニヨリテ天子モハヤ(康復)病氣本腹シテ政事ヲ自分ニキカレテ太后ハ

(撤簾)政ヲカヘス韓琦アル日ニ(空頭勅)名アテナキ詔書ヲ出ス(僉)歐陽脩モハヤ調印ヲシタ趙

槩ハイマタ調印ヲセヌ(備)二語シテ曰フ(第書之)マ一(關印)セヨト韓公ハキツト其ツケガアラ

ウト韓琦ハ政事スル堂ニ座シ内侍ノ任守忠ヲヨビ庭ノ下ニ立セオキテ曰フ汝ノ罪ハ死刑ニアタ

ルトセメテ斬州ヘトサゴメオク此レハ天子ト

○議崇奉漢王典禮執政欲稱

皇考又以太后詔令上稱親司馬光范鎮呂誨范純仁呂大防呂

公著交論以為不可鎮罷翰林誨純仁大防解言職公著罷侍講

議竟不決

契丹改號大遼

崩在位四年改元者一曰治平年三十八皇太子立是為神宗皇

帝

神宗皇帝名頊母曰宣仁聖烈皇后高氏曹太后之甥也幼與英

○五戒

殺生 盜偷

邪淫 妄語

飲酒

○六根

眼 耳

神宗熙寧二年ハ

日本後三條帝即

位元年ナリ

神宗熙寧六年ハ

日本白河帝即位

元年ナリ

宋神宗皇帝

鼻 舌  
身 意  
○六塵  
色 聲  
香 味  
觸 法  
○三世  
過去 現世  
未來  
○四生  
胎生

韓琦モマタ官  
○王安石爲翰林學士入對首以擇術爲言言必稱堯舜  
王安石翰林學士ノ官ニ拜命シ、朝廷ヘ入テ上ノオタツ子ニコタヘルニ、第一ニ(擇術)天下ヲ治ムルヲアテアラフアラフヲサキトス、ソノ言上スルニハセロ尺、舜ノ治メ方ノスガミチヲ以テシタ  
○富弼同平章事王安石參政安石既執政士大夫素重其名以爲太平可立致呂誨時爲御史中丞將對學士侍讀司馬光亦將詣經筵相遇並行光密問今日所言何事誨曰袖中彈文乃新參也光愕然曰衆喜得人奈何論之誨曰君實亦爲此言邪安石執偏見喜人佞已天下必受其弊光退而思之不得其說摺紳間有傳其疏者往往疑其太過誨言大姦似忠大詐似信安石外示朴野中藏巧詐驕蹇慢上陰賊害物疏其十事上兩降手詔諭誨論之不已遂罷誨安石建議創制置三司條例司議行新法言周置泉府之官變通天下之財後世惟桑弘羊劉晏粗合

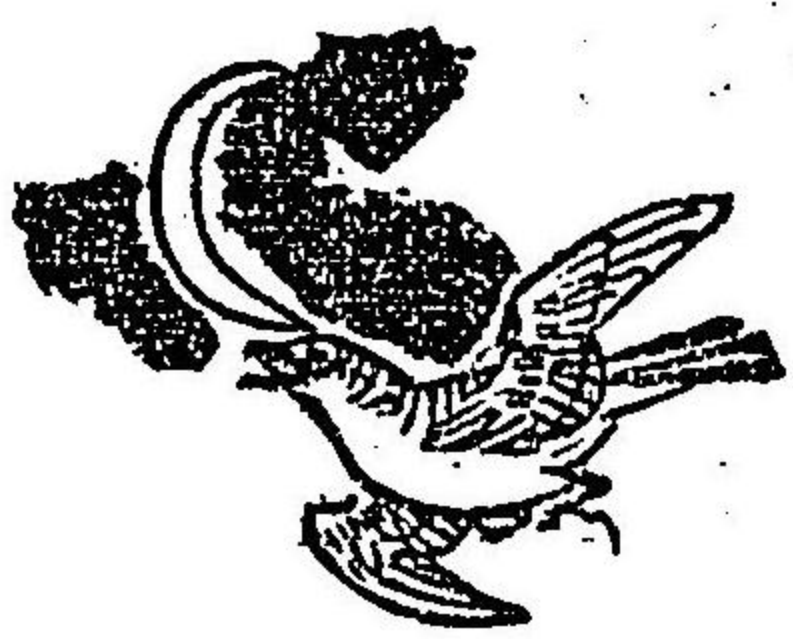
人獸ノルイヲ云フ  
卵生 禽鳥ノルイヲ云フ  
濕生 魚蛙ノルイヲ云フ  
化生 靈顯ノルイヲ云フ  
○十三佛  
不動 釋迦  
文殊 普賢  
地藏 彌勒  
藥師 觀音

此意今當修泉府之法以收利權安石多與呂惠卿謀人號安石爲孔子惠卿爲顏子  
富弼同平章事ト云政ヲトル役トナリ、王安石ハ政事ノ相殺後トナル、ハ、兼テヨリ安石ノロヤウハンヲオンレオモンジテ、皆コ、ロニ思フニハ太平ノ政事トナル「ハ(可立致)シキニテキルデアラフト、呂誨ソノトキニ御史中丞ノ役ナリ、奥向ヘ入りテ申立ントスル「ア、學士侍讀ノ同馬光モマタンノ片ニ(將詣經筵)講釋ヲスル場所ヘユカントス、呂誨ト、モニ出アロ一所ニユク、司馬光ロソカニ問フニ、今日ソナタノ申立ルハ何ノコトガラデアルト、呂誨ガ曰フ、(袖中彈文)ソデノ中ニ持タル人ノ罪ヲタ、ス文章ハ、新參政ナル王安石ノコトデアアル、司馬光(愕然)オドロキテ曰フ、オホクノ人ハヨキ參政ヲエタルトヨロコブニ、ドツシテ貴殿ニハ此ヒトヲ議論セラルト、呂誨ガ曰フ、君實モ(光ノ字ナリ)マタコノコトバヤ云ハレルカト、王安石ハ(執偏見)偏頗ノ心ヲモツテ、人ヨリ己レニヘツラフモノヲスク、カクノ如キ井ハ國家ハソノアシキフウヲウケルト、司馬光カヘリテ其コトバヤ工夫スレバ、呂誨ノ言バノ注意ガワカラヌ、(摺紳間)レキ「ノ役人ノナカニテ、誨ガ安石ヲ駭セシ文章ヲ傳聞スル者アリテ、大概ハ誨ノ論ハアマリニキツスギルトウタカフ、呂誨ガ曰フニ、(大姦似忠)大ナルアクシヲナスモノハ忠義ニ似セル、(大詐似信)大ナルウソハマコトノ様ニ似セルモノデアアル、王安石ハソト向ハ(示朴野)飾リケノナキシヲソナル風ヲミセカケ、コ、ロノ中ハ(藏巧詐)上手ニイツハリタマヌフヲカクシオルハ(驕蹇慢上)氣高クシテ上ヲ慢リ、(陰賊害物)心中ニワルダクミアリテ人ヲソコナヒイタメルト、其惡事ノ十ヶ條ヲイチ「申立タ、天子ニ度マテ自分ニカキシ詔書ヲ下ゲテ、呂誨ヲサトシナタメラル、呂誨ガ議論ヲ立テヌク、ソコデ誨ノ役ヲヤメラル、安石改制ノ議ヲ申立テ、始メテ置三司ノ條例司ト云役所ヲ立オキ、新ニ定メシ法律ヲ行フ「ノ相談ヲナス、王安石ガ曰フニ、昔シ周ニハ(置泉府之官)商賈ノ稅ヲ取立ル官ヲオキ、國家ノ財貨ヲ(變通)自由融通ヲサセル、其後ニハ只漢ノ桑弘羊、唐ノ劉晏ガオキテヲ立タル「ガ、大底今行フ法ノ主意ト同様デアアルト、イマ先ツ周ノ泉府ノ法ヲ行フテ(收利權)商賈ノ利潤ヲ上ヘ取立ントス、安石ノ相談ハ大抵呂惠卿ト云人ニアル、世間ノ人ガ安石ヲ稱ヘテ孔子ト云ヒ、惠卿ヲ稱ヘテ顏子ト云フタ

先是治平中邵雍與客散步天津橋上聞杜鵑聲愀然不樂客問

勢至 阿彌陀

社 鶴



阿闍 大日

虛空藏

四部衆

比丘 比丘尼

優婆塞 優婆夷

八宗

其故雍曰。洛陽舊無杜鵑。今始至天下。將治地氣。自北而南。將亂自南而北。今南方地氣至矣。禽鳥飛類得氣之先者也。不二年上用南土作相。多引南人專務更變。天下自此多事矣。至是雍言果驗云。是ヨリ以前ニ治平ト云フ年號ノ片ニ、邵雍ト云人ガ賓客ト共ニ天津橋ノ上ラアユミテ、ホヌルニ邵雍ガ曰フ、洛陽ノ土地ハ以前ホト、ギスハオラヌ也、今ハシメテコノ鳥ガキタ、全体國ノヨク治マラントスル片ハ、土地ノ氣候ガ北ノ方カラシテ南ノ方ヘ向フモノデアアル、國ガミダレントスル片ハ、南カラ北ヘ氣候ガ向フテユク、今南方ノ土地ノ氣候ガウツリクルト見ヘル、鳥ノルイハ氣候ノカワリヲハヤクウクルモノデアアル故、此洛陽ノ土地ヘウツリキタルナリト、(邵雍ノ言ハ天下太平ナレバ家來ガ北ヘ向テ參朝ス、國ミダレバ君ガ北ヘ向ヒ家來ニシタカレ、家來ガ國政ヲカツテニスルトノ意味ナリ)ソノ後二年ヲスギズシテ、上方南ノ地ノ人ヲ取立テ宰相トシ、オホク南方ノ人ヲ引立テ、モツバラ政事ノ改革ヲイタス、天下コレカラ事オホクナツタ、コノ片ニナツテ、邵雍ノ申タル言ノシルシアル

**安石欲行青苗法以爲周官國服爲息法也**。王安石(欲行青苗法)民ノ米穀ニ不自由ナルノ頃ニ官ヨリ米ヲ貸付ケ置キ秋米ノデキタル片ニ三分ノ利息ヲツケテ、上ヘ取立ル法ヲ行ハント思フ、オモフニ周禮ノ書物ニ云フデアアル(國服爲息法也)生業ヨリナリ立ツルモノ、即チ農ハ米ヲ以テ利息トシ、工ハ器械ヲ以テ利息トシ、**蘇轍曰以錢貸民吏緣爲姦錢入民手**。蘇轍曰、錢ヲ以テ民ニカシ付ケルシテ上ヨリ借りタル金利ヲ償フ法ナリ

**雖良民不免妄用及其納錢雖富民不免違限鞭箠必用州縣不**

律 俱舍  
成實 法相  
三論 眞言  
天台 華嚴  
○四天  
多聞 持國  
增長 廣目  
○京都五山  
足利義滿五山ノ序ヲ定ム  
天龍寺  
靈龜山

勝煩矣參政唐介爭論新法不勝疽發背卒時人有生老病死苦之喻謂安石爲生曾公亮爲老介死富弼議論不合稱病參政趙抃無如安石何惟稱苦苦而已安石折抃曰君輩坐不讀書耳抃曰臯夔稷契何書可讀安石亦不能對。蘇轍ガ曰フ、錢ヲ以テ民ニカシ付ケルタ錢ガ民ノ手ニアレバ善キ人デモ(不免妄用)ムヤミニ使用スルヲヤメラヌ、ソウシテ其錢ヲ上納スル時ニナレバユタカニクラス者トテモ上納日限ヲチガヘルニイタリ、(鞭箠必用)刑法以テムチ打チタ、ケバ、國ヤ郡ニ事ガオホクナリテ面倒デタヘラレヌト、參政ノ唐介ハ新規ニ設ケタル法律アシキアラソシテ論ジテ、議論ガ立タズシテ、ソノ立腹ヨリ腫物ガカラダニデキテ死去シタ、ソノ時ニ人ガ生、老、病、死、苦ノタトヘラ云ヒ、ハヤス、安石ヲ生テサカント云ヒ、曾公亮ヲ年ヨリシリソキタルト云ヒ、唐介ヲ論ニマケテ死シタト云ヒ、富弼ハ見込ガアハズ病氣テ役ヲヤンタト云ヒ、參政ノ趙抃ハ安石ヲ何ニトモ持テ扱ヒ方ガナクシテ、タヤニカクシキコト、稱ヘテ居ルバカリデアアルト云フ、石ガ趙抃ヲ言ヒコメテ曰フ、君タチハ書物ヲ讀マヌ故道理ニクタクシテ難議スルト云、抃ガ抗論シテ曰フニ、昔ノ臯、夔、稷、契ノゴトキ人ハ何ノ書物ヲ讀デヨク國ヲ治メタデアアルゾト云ハレテ、サスガノ安石モソノヘント

**遣使察農田水利**。使者ヲ方々ノクニヘヤリ農田ノ地、又ウニ苦ミツマツタ

**義倉**。糶村ニ米ヲ貯藏シテ、凶年ノ時施ス用ニスル法ヲヤメタ

**行均輸法**。スベテ上ノ入用ニサシ出ス、物品ノ價格高キモノハ、安キ物ト力ヘ、近キ處ニアル物ヲ以テ、遠方ノ物ト引易ヘル

**臺諫劉琦錢顛以議新法**。臺諫ノ劉琦錢顛ガ新法ヲガデキル法ヲ行フタ

**諫院范純仁檢詳文字蘇轍以議**

宋神宗皇帝

相國寺

萬年山

建仁寺

東四山

東福寺

惠日五山

萬壽寺

山号ナシ

○大和七犬寺

東大寺

興福寺

元興寺

大安寺

藥師寺

西大寺

法隆寺

○鎌倉五山

建長寺

巨福山

圓覺寺

瑞鹿山

壽福寺

龜谷山

淨智寺

金峰山

淨妙寺

稻荷山

新法罷

○行青苗法置

常平官

○富弼罷陳升之同平

章事升之初附安石既相頗為異同

○行預買法令諸路預給錢和買紬絹

○趙抃罷抃日所為事夜必焚香告於天

○親試舉人初用策葉祖洽以附會新

法擢為第一

○右正言孫覺御史裏行程顥以議新法罷

裏行張戢以議新法罷

○中丞呂公著

裏行知制詰宋敏求蘇頌李大臨以繳定詞頭罷

○李定為

史知難

○謝景温為御

擬對廷試策議新法忤安石為景温所劾去

○直史館蘇軾以嘗上萬言書及

苗免役等法又與安石書及頌置中書檢正以縮為之鄉人皆笑

○鄧綰上書言陛下得伊呂之佐百姓歌舞青

罵綰曰笑罵從佗笑罵好官我須為之

○曾公亮罷

力詆新法皆報罷

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○范鎮以數議新法及嘗薦蘇軾孔文仲罷乞致仕

○范鎮罷乞致仕

○會公亮罷

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○策制科人呂陶張繪孔文仲

○天竺五山

祇園精舍

竹林精舍

大林精舍

誓多林精舍

那蘭陀寺

○震旦五山

經山寺

育王寺

天龍寺

靈隱寺

淨慈寺

○安居

四月十六日ヲ以テ安居ニ入ル、コレヲ結夏ト云フ七月十六日ヲ以テ安居ヲ解ク、コレヲ解夏ト云凡九十日間ナリ

○法華經ノ字數

六万九千三百八十

○三綱

上座 寺座

都維那

○僧綱三

僧正 僧都

律師

シキヲ由立テ及ビ以前蘇軾、孔文仲ノ二人ヲ上ヘスイキヨセシツケテ以テ、彼ヲヤメラレ、自分ヨリ願フテ隱居シタ

陳升之罷

陳升之之罷

○韓鋒

王安石同平章事

韓鋒ト王安石ト二人同平章事ト云執政官トナツタ

○立保甲法

保甲法ノ人民十家ヲ組シテ一保トナシ、五十

家ヲ組テ大保トシ、其内人望アル者二人ヲ選ビテ、保長トナシ月矢ヲ貯ヘ武藝ヲ習ハセル法ヲ設ケタ

○會布爲中書檢正

會布ト云人ガ中書檢正ト云中書

省ノ事務ヲカサ

○更科學法能詩賦明經諸科以經義論策試進士

試論シテ人ヲ取リ上ゲル法ヲカヘテ、詩文章五經ノ諸記ノ科目ヲヤメ、五經ノ義理ヲ論ズル法ヲ用ヒテ、上ヘ取リ立ル人ヲ試験ス

○司馬光先自學士除樞副力辭不拜數言新法之

害上喻安石曰聞三不足之說否曰不聞上曰外人云朝廷以爲

天變不足畏人言不足恤祖宗法不足守昨學士院進館職策問

專指此三事策問光所爲也光屢請外得永興移許州上言臣之

不才最出群臣之下先見不如呂誨公直不如范純仁程顥敢言

不如蘇軾孔文仲勇決不如范鎮屢請判西京留司御史臺至是

得請後四任提舉嵩山崇福宮

司馬光以前學士ノ役ヨリ樞密院ノ副官ニ拜命ス、

ルヲ言ヒ立テ、オカヌ、上王安石ニサトシテ曰フニ、(聞三不足之說否)三ツノ取ルニタラヌト云フ詳シラキ、シカイカヤヤト、安石曰フキカスト、上ノ曰フ、ホカニテ人ガ云フニ、朝廷ハ天ヨリ見セシメ

ノサイナシモ心配スルニ足ラヌ、人ノイケン申立モキ、入ル、ニ足ラヌ、先代ヨリ立オカレタルサホウモマモルニ足ラヌト、キノフ學士院ヨリ(館職)直學士ノ試験ノ答ヘラ差出ニ、モツバラニコノ三車件ヲサシテ論ズ、コノ試問ハ司馬光ガツクルモノナリ司馬光ハタビ(請外)國ノ知事トナルコト願フ、ソコデ永興ト云土地ノ知事トナリ、マタ許州ノ知事ニ任ズ、書面ヲ天子ヘ奏上シテ曰フ、私ノチエナキコトハ、モツトモ諸ノ家來ノ下テアル、(先見)今ヨリ先キノコトヲ見ヌクコトハ、呂誨ニ及バズ、公平正直ナルハ范純仁、程顥ニ及バズ、(敢言)オモヒキツテ議論スルハ、蘇軾、孔文仲ニ及バズ、(勇決)身ノ進退ヲハヤク決斷スルハ、范鎮ニ及バズト自分ノオチト申上テ、タビ(西京留司御史臺)ノ官ニ上ラレ度ト願フ、是ノ片ニ願フ所ケラレ、其ノ後四度轉任シテ嵩山ノ崇福宮ノ提舉(支配役トナル)

○歐陽修先知青州以擅止給散青苗錢徙知蔡州至是乞

致仕

歐陽修サキニ青州ノ知事トナリ、ワザト青苗錢ヲ人民ヘ貸付ケヌラケニ因テ、ウツサレテ汝州ノ知事トナル、コノトキニナリテ、願フテ役ヲ辭シテ故里ヘカヘル

○富弼先知亳州坐格青苗法徙知汝州

富弼以前ニ亳州ノ知事ヲツトメテ、青苗ノ法ヲ(格)サ、ヘトメシラ罪セラレ

ウツサレテ汝州ノ知事トナル

○中丞楊繪裏行劉摯以議新法罷

中丞楊繪、裏行ノ劉摯、

宋神宗皇帝

百七



○五大尊

不動 降三世

軍荼利 大威德

金剛夜叉

○本邦建戒壇三處

大東寺

中州ノ人ニ便ニス

觀音寺 筑前

西州ノ人ニ便ニス

藥師寺 下野國

東州ノ人ニ便ニス

○寺門二大像

俗ニ二王ト稱ス

則ヲ設 ○行保馬法 (保馬法)保甲ノ馬ヲ飼ハント願フ者ニハ、官ヨリ一匹ヲ給シ或ハ其直役ケタケタヘ、年々馬ノ肥瘠ヲヨクシラセ、若シ病死スルモノアレバ、本文ニツ

規則ヲ設ク ○頒方田均稅法 (方田均稅法)百六十歩ヲ一方ト定メ、年々九月ニ土地ヲ

法ヲ ○置熙河路以王韶爲經畧安撫等使先是韶上平戎策謂欲

平西夏當復河湟今古渭之西瀕河蘭鄯皆漢隴西等郡吐蕃喃

厮囉一族國其間宜併有之以絕夏人右臂安石以爲奇謀始開

熙河之役韶克河洮岷疊宕等州又據青唐咽喉之地邊陲益

斥役兵之死亡甚多 (鞏昌ノ土地ハ熙河路ト云京府ヲ設ケ、王韶ト云人ヲ以テ爲經畧

ヨリ以前ニ王韶ガ(上平戎策)ニヒスラシタガヘル、ハカリコトヲ申立テ云フニ、西夏ノ地ヲオサメントセバ、ナンデモ河湟ヲモトヘカヘシ手ニ入レテバナラズ、只今古渭ノ西ノ土地、熙河、蘭、鄯、都、岷、岷ノ時ニ隨テ西ノ地ヲモトヘカヘシ手ニ入レテバナラズ、其土地ノ近邊ニ都ヲカマヘオトル、ナンデモコレヲアハセトリ、以テ西夏ノ右ノヒザヲ落サシバナラズト、(熙河、蘭、鄯、都、岷、岷)ノ右ニアタル、故ニ右臂ト云フナリ)王安石ノ言ヲ(爲奇謀)人ナミカハツタメツラシキハカリコトシテ、此ノ片ハジメテ熙河ノイクサヲハシメタ、王韶ガ河洮岷疊宕等州ヲ攻メトリ、又鄯州ノ青唐ト云フ地ノ(咽喉)人ノノドクビナル要害トコロニタテコモル、(邊陲益斥)エヒスザカロヘダシク土地ヲトリロケタ、然レテ人夫ノ死スモノハオホシ、○中書檢正章惇察訪湖北

始議經制南北江蠻辰州南北江乃古錦州之地 接施黔牂柯命

章惇措置惇言招諭梅山蠻徭令作省戶皆歡迎其實殺戮浮

屍蔽江 (中書檢正ノ後ノ章惇ト云人ガ湖北ヲ(察訪)メグリシラヘル、後ニカヘリキテハジメテ南

地ヲアツテ、施、黔、牂、柯ノ國々ニツマク、章惇ニ云付テ(措置)處分サセル、章惇云フニ、梅山ノエビス

ヲヨビヨセサトシテ、(作者)民家ノカズヲヘラシテ租稅夫役ノ減少スルトキハ、人民ニナ悅ビムカ

ヒニ出ルト、斯クハイヘテソノマコトハ人ヲコロシツクシ、(浮屍)ソノシカイヲ川ニナケコミテ(蔽

江)中ヲオホヒフ ○置詩書周禮二經義局安石提舉 呂惠卿及安石

子雋等爲檢討 (詩經、書經、周禮ノ三經書ノ義理ヲ講釋スル役所ヲオキ、王安石ガ(提舉)支

トナ ○瀕寧七年天久不雨河東北陝西流民皆流入京城而京城

外饑民尤多監安上門鄭俠畫爲圖上書曰陛下南征北伐皆以

勝捷之勢作圖來上無一人以天下憂苦妻子不相保遷移困頓

遑遑不給之狀爲圖而獻者安上門逐日所見百不及一亦可

流涕况千萬里外哉時以旱故求直言言者皆咎新法上疑欲

○佛生日

二月八日佛生大周子ノ月ヲ以テ正月トス莊王九年四月八日釋迦佛生大是レ陰曆ノ二月ナリ今人夏正今ノ陰曆ノ四月トスルハ誤リナリ

○一身一則

道書一卷ヲ以テ一另トス佛書一條ヲ以テ一則トス

○二諦

諦ハ佛道ヲ云フナ

眞諦

僧ナリ

俗諦

佛書ニ俗人ヲサシテ俗諦ト云フナリ

故事門

蔚藍天

杜甫ノ詩ニ云フコキアホキ天ヲ云フ

九天

淮南子ニ出ツ東方八蒼天西方八皓天南方八光天北方八幽天中央八青天中央八鈞天中央八鈞天

以管窺天

東方朔ノ傳ニ出ツ

罷之安石不悅求去 除知江寧府安石薦韓絳代己爲相呂惠

卿爲參政時號絳爲傳法沙門 惠卿爲護法善神惠卿建議免役

出錢不均 出於簿書之不善 行手實法惠卿既得勢恐安石復

入遂逆閉其途出安石私書有勿令上知之語凡可以害安石

者無所不用其智又數與絳忤絳乘間自上復相安石安石罷不

一年再入聞命不辭自金陵七日至闕下後數月 絳與惠卿相繼

罷 熙寧七年二月天ヨリ久シク旱魃シテ雨ガフラス、河東北、陝西ト云土地ノ(流民)ナンギモノガ、皆ルロウシテ京城ノマチヘ入ルコト、シテ都ノホカノ地ハ、カワエル者ガオホクアル、汴京ノ

安上門ヲ目付スル後ノ鄭俠ノアリサマチエツニカキテ、天子ヘ差出シ曰フニ、陛下ヘハ南ラウチ北ラウチニ、皆(以)勝捷之勢、イクサニカテルヲ、エツニカキ朝廷ヘ献上スレバ、一人モ國ノ民ガナシギクルシ、マ子ガタカヒニ、(不相保)救ヒアフコトナラス、(遷移)困頓(ア)チコチヘウツリユキ、ナンシウシテ(進退)ウロクキマハツテ(不給)今日ラウラスコトナラスアリサマヲ以テ、生タコ、チノナキヤウスラエツニ認メテ進上スルモノガナイ、安上門ニテ(逐日)毎日ミルモノ(百不及)百分ノ一ニモタラス、ソレテサヘモフビシニ思フニ、マシテ千里萬里モ遠方ノ土地ニテハ、ナンキナモノイカバカリカマモロヤラレルナリト、コトキニナカクヒテリマキノワケテ、(求直言)イミハカカラズ上申スルコト沙汰ニナツタ、議論スルモノハミシナ新法ヲ不便トシテトガメル、上コ、ロニウタガヒ新法ヲヤメント思ハル、王安石コ、ロニシマズシテ、朝廷ヲ出テ外ノ役ヲ願フ、ソコテ江寧府ノ知事ニ拜命ス、王安石ガ韓絳ト云人ヲアケテ、自分ノカハリニ宰相トス、呂惠卿ヲ相談役トス、ソノト

葛天

古ノ號

闕天

君子困窮ノ時ナリ仲長統理亂篇ニ闕高天踰厚地ニ

漏天

杜甫ノ詩ニアリ四時晦日ナキヲ云フ

杞人憂天

杞國ノ人天墜チテ身ノ寄ル所ナキヲ憂ヘ寢食ヲ廢ス

夸父逐日

列子ニ夸父日ヲ逐フテ道ニ渴シテ死ス

キニ人ガ韓絳ヲ(傳法沙門)佛法ヲツタヘル僧ト同様安石ノ法ヲ傳ハリ學ブ人物ト評シケリ、惠卿ヲ(護法善神)佛法ヲ守護スル神ニテ、安石ノ新法ヲ守護スル人ト云、惠卿ガ見込ヲ申立ルニハ、人足ラノカレンタメニサシ出ス錢ガ人々同様デナイ、コレハ(簿書)帳面ノフトリシマリデアアル故ナリト、ソコデ(手實法)毎ニ自分ニ田地ノ高ラ審アケシメ、若シ隱シ、或ハ落シテ他人ヨリ發覺スル片ハ其三分一ハ告新人ニ與ヘル法ヲオコナフタ、呂惠卿モハヤイキホロヲ自分ニトリコシ、王安石ノマタト朝ニ入り政事ヲスルヲ心配シテ、ツイニ豫シメ(閉其途)安石ノ朝廷ヘ出ルミチヲフセキ止メントシテ、以前ニ安石ヨリ自分ヘ贈リタル手ガミヲガシテ天子ヘサシマス、テガシノ中ニ天子ニ内々知ラサヌヤウニセヨト云フ言葉ガアル、タイタイ安石ノ害ニナルコトハ、十分ニ其智恵ヲメグラサヌコトハナイ、マタタビ(韓絳)ト中タガヒス、韓絳ガ(乘間)テスキヲウカフテ天子ヘ申上ケテ二ド、王安石ヲ宰相トシタ、王安石役ヲヤメテ一年タ、ズニ、二度入ルコト政ヲトル、此ノ度ハ天子ノ命令ヲシタイセズ、金陵ト云土地カラミチヲインキ七日目ニ朝廷ヘ着シタ、ソノ後四五ヶ月タツテ、韓絳モ呂惠卿モソマイテ官ヲヤメラレタ

○行戶馬法 (戶馬法)保馬ノ法ト同様ニテ河北ノ土地ニテ官馬ヲ預カル法ヲ設ケタ

○判相州韓琦薨

琦天資忠厚 能斷大事治平間爲首相政事問集賢典故問東廳文學問西廳大事則自決之矣 出判相州初言青苗不便朝廷不從即命散給曰藩臣之體當如是在鄉郡八年而終御製碑曰兩朝顧命定策元勳之碑 相州ノ判官ノ韓琦ガ死去シタ、韓琦ハ(天資)生レッキガ忠義デ人一番ノ執政官トナリテ、政事上ハ、(集賢)學士ノ會公亮ニ請子(典故)フルキコトガラハ、(東廳)ヒガシノ役所ノ長官趙鼎ニタツ子、(文學)學問上ニカ、ルコトハ、西ノ役所ニオル長官歐陽脩ニタツ子テオコナヒ、大事件ニ至テハ自分トコレヲサバキケル、ソノ後朝廷ヲ出テ、相州ノ判官トナル、以前ニ青苗法ノキハメテ不都合ナルヲ言上スレバ、朝廷ニハ用ヒラレヌ、即日命令シテ(散給)青苗錢ヲ下

日與長安孰近

晉ノ元帝明帝ニ問

吳牛喘月

水牛ハ江淮ノ間ニ生ズ故ニ吳牛ト曰フ牛ハ熱ヲ畏ル月ヲ見テ日ト疑ヒ喘

桑榆暮景

日西ニ在レバ影ハ木端ニアリ

白虹貫日

荆軻燕ノ太子ノ爲ニ秦王ヲ刺シト爲ル片ノト

二小兒辯日

二小兒日ノ遠近ヲ辯ズル孔子ニ問フ孔子決スル能ハズ

天有耳

張溫奏密ニ問フ答

嫦娥奔月

翠不死ノ藥ヲ西王母ニ請フ其婦嫦娥之ヲ竊ミテ月ニ奔リ身ヲ月ニ託ス之ヲ嫦娥トス後天文志ニ見ユ

廣寒宮

明皇中天師ト八月十五日宮ニ遊ブ廣寒清虛符ノ榜アリ翠色冷相射テ極寒ニテ留ルベカラズ

白氣貫月

湯ノ母扶都之ヲ見

々へ貸付タ、ソウシテ曰フニ(藩臣之體)地方官タルモノハ(當如是)此ノトウリニセ子バナラヌト、一旦昔苗ノ不使ヲ言上シテ、天子聽入レザル片ハ、矢張天子ノ命ニ從ッテ行ハ子バナラヌト、(獫狁)自分出生ノ地相州ニアルヲ八年ニテ死去シタ、(御製碑)天子カ作ラレタル石碑ニ、(兩朝顯命)仁宗、英宗ノイ、オキヲ受ケテ、(定策)天子ヲ立テタ  
○命韓續如河東割地先是遼使屢至言河東沿邊增修成壘起舖舍侵入彼國蔚應朔州界乞行毀撤別立界至蓋遼人見朝廷招高麗建灤河西山植榆柳創保甲築河北城池創都作院降弓刀新樣置界北三十七將疑有復燕之意故以爭地界爲名觀朝廷所以應安石斷之日將欲取之必姑與之東西失地七百里  
○韓續ト云人ニ云付テ、河東ヘテバリテ土地サキ者ガタビクキテ云フニ、河東ノ土地ハヘンビニソフテ(増修成壘)マモリトリテテ増築シ、(起舖舍)家宅ヲタテ、(彼國)遼國ノ、蔚、應、朔ノクニサカヒヘ(侵入)改メイル、願ハクバ(行毀撤)成壘舖舍ヲ取りコホチ、別段ニ(立界至)國ノ境界ヲ定メント、(蓋)ソレハオホカク、遼ノ人ガ朝廷ニハ高麗ノ國ヲメシヨセ、灤河路ノ役所ヲオキ、西山ト云地ヘハ(撤柳)ニレヤナギヲ植付テ以テエビスノ騎馬ヲフセギ、(創保甲)土ノ圍結法ヲ設ケ、河北ノ城ホリヲククリテ、(創都作院)即チ砲兵廠ニテ兵器ヲクフル場處ヲ創立シ、弓ヤ刀劍ノ(新樣)新器ヲクフル兵隊ニ弓ヤ刀ノ工夫ノモノヲ下ケ披シ、國境ノ北方ハ三十七人ノ將軍ヲトメオクテ以テ、燕國ヲトリカヘスコ、ロガアルカトウタガフテソレ故、國ノサカヒメヲ爭フトニ名義ヲヨセテ、朝廷ノヘントウノヤウスヲ試シ考ル、王安石ソノコトノ是非ヲ決斷シテ曰フ、(將欲取之)我レヨリ土地ヲ手ニ入レント思ヘバセヒ、マツ當分ハ彼レニヤリ與フル

ガヨロシト遠ニ東西ノ土地ヲ  
○安石再相二年屢謝病子雋死求去尤力上益厭其所爲出判江寧府遂不復用自安石用事口談先王而專行管商之政知上有富強之志思所以濟其欲謂立法當用小人而後以君子守之不悟其無是理也天下驕然而國未嘗富邊鄙生事徒多喪敗而國未嘗強西鄙自治平末种諤取綏州夏人即欲興兵報復夏主諫祚卒子秉常立大入寇安石雖用王韶取熙河之策徒構怨西蕃致鬼章等屢爲寇患初不能以此制西夏所用沈起劉彝又生釁南方交趾李日遵卒子乾德立起彝相繼知桂州集士丁爲保甲於海濱集舟師教水戰禁止州縣與交人貿易交人大舉入寇圍邕州陷欽廉聲言中國作青苗助役法以困民出兵相救安石怒遣趙高等討之官

テ感シテ湯ヲ生ム

吹花驪柳風

河朔春時大風多シ  
吹花驪柳ト名ク

颶母風

颶風ハ常ニ六七月  
ヲ以テ發ス

黃雀長風

仲夏東南風ヲ云フ

迎梅雨

三月雨ナリ

送梅雨

五月雨ナリ

榆莢雨

春雨ナリ

濯枝雨

仲夏大雨アレハ枝  
ヲ濯フ故ニ名ツク

豆花雨

八月雨ナリ

黃雨

桂花雨ナリ

列缺

天際ノ電光ナリ

滕六

雷神ノ名ナリ

六出

凡花五出ナリ惟雪  
花ハ六出ナリ

箕畢

星ノ名ナリ月箕星  
ヲ經レハ風多シ畢  
星ヲ離レハ雨多シ

軍死者十六兵禍訖安石之去而未已吳充王珪繼安石為相充

先在政府數言政事非便既代安石蔡確鄧潤甫等共攻之不能

去王安石二度目ニ宰相デアツターガ二年ナリ、タビ、病氣ヲ申立テ免官ヲ願フ、子ノ夢ガ死シ

テ、猶更役ヲヤメ朝ヲサルヲ子ガフターテ申出ル、天子モダシ、其所業ヲキラヒ、朝廷

ヲ逐ヒ出シ江寧府ノ判官トシテ、マタト朝政ノ官ニハツカハレヌ、王安石政事ヲトリテカラハ、口ニ

ハ(詭先王)號、雖ノヨキマツリコトヲハナシテ、ウザ前ハモツバラ(管商之法)管仲、商鞅ガ詐術ヲ以

君ニ事シ仕方ヲ用ニ、安石ハ天子ノ國ヲトマシ兵ヲヨクセント思ヒオルヲ承知シテ、天子ノ好ミ通

リヲナシトゲサセント思案シテ、云フニ法則ヲ定ルニハ(用小人)トト、ウリノ人ヲツカヒ、ソノ後ス

カレタル人物ヲ以テソノ法則ヲマモリアツカハセルガヨロシト、安石ハソノヤウナル道理ハナキハ

ツツサトラス、天下(顯然)サハガシク亂レキテモ、國ハマダトミサカヘヌ、(邊鄙)クニザカヒハ征伐

ノコトヲハジメダシ、イタツラニオホク(喪敗)土地ヲウシナヒ、軍ヲ敗リ、ソウシテ國ハマダツヨク

ナラス、(西鄙)ニシノエビスザカヒ、治平ノ年末ニ、神諺ガ蘇州ト云土地ヲ取テ手ニ入レタ、夏ノ人ヲ

怒テスグニ兵隊ヲサシ向ケテ、(報復)ヘンボウカヘシヲセントオモフ、然ルニ夏ノ君諺昨ガ死テ、ソ

ノ子乘常ツイニ立ツ、ソコデ大勢ウチ入り亂暴ヲナス、王安石ハ王韶ノ申立タル閬州ノ土地ヲトリ

△手ヲテナセ、無益ニウラミラ、西ノエビスニ結ビテ、西ノ野蠻ノ首長鬼章ヲガタビ、(爲寇患)

アリアゲシ所ノ沈起、劉彝ガマタ(黎)ナカタガヒラ南ノ方ノクニト引キオコシタ、交趾ノ李日遵死

シ、子ノ純德ガアトヲツグ、沈起、劉彝アヒツキテ桂州ノ知事トナル、(土丁)土人ノ壯年者ヲアツメ

テ、(爲保甲)徵兵トシ、ウミキハニ於テ(集舟師)舟手ノ人數ヲアツメ、水上ノイクサヲ習ハセテ、國ヤ

縣ノ者ニハ交趾ノ人ト(貿易)ウリカヒスルヲトメ、交趾ノ兵卒ガ大勢引ツレテウチ入り、邕州

チカコシ、欽、廉ノ二州ヲセメオトシ、(謫言)イヒフヲシテ云フニ、中國ニテハ青苗助役ノ法ヲオコナ

ヒテ、人民ヲナンギニアハセル、ヨツテ兵卒ヲサシ向ケタスクニヤルト、王安石立腹シテ趨高ト云人

ヲヤツテ、交趾ノ兵卒チウチハラハセル、官軍ノイクサニ死セシ者八十人ノナカデ六人モアル、世

ノ中ノ兵亂ハ王安石ノ官ヲヤメ朝廷ヲ出ル頃マデモマダヤマヌ、吳充、王珪ガ王安石ノアトヲツギテ

○元豐元年知湖州蘇軾安置黃州先是中丞李定言軾自熙寧

以來怨謗君父舒亶亦言軾議時事陛下發錢本以業貧民則曰

贏得兒童語音好一年強半在城中明法以課試群吏則曰讀書

萬卷不讀律致君堯舜終無術興水利則曰東海若知明主意應

教斥鹵變桑田謹摺蔡則曰豈是聞韶解忘味邇來三月食無

鹽其他觸物則事無不以譏謗爲主乃追軾繫御史獄詔定與張

璪推治王珪言軾有不臣意舉軾檜詩根到九泉無曲處世間惟

有蟄龍知陛下飛龍御天而軾彼求之地下之蟄龍非不臣而

何上曰彼自詠檜何豫朕事上本無意罪軾吳充王安石禮皆勸上

容之獄成而有是命弟轍亦坐救軾而貶坐軾詩案黜罰者張方

羊角

旋風ヲ帽フナリ

蚩尤旗

彗星ナリ

鞠陵

天荒ノ中ノ山ナリ  
日月ノ出ル所ナリ

兔園

梁王兔園ニ遊ビ雪  
ヲ賞ス謝惠連賦ア  
リ

映雪讀書

晋ノ孫康ノ故事

溪返舟

晋ノ王子猷山陰ニ  
居リ雪夜興ニ乘ジ  
テ載送ヲ剡溪ニ訪  
ヒ門ニ入ラズシテ  
返ル

平司馬光以下二十二日上實憐賦尋移汝州且復用矣為蔡確

張璪等所沮 元豐元年、湖州ノ知事蘇軾ヲ黃州へ安置禁錮ス、是ヨリ以前ニ中丞ノ李定

マタ言フニ、軾ハ(曠時事)トキノ政事ヲソシル、(陛下)君上ガ金錢ヲ出シテ百姓ヘカシツケルハ、モ  
ト(業貧民)ナシギナ人民ノ家業ノ立チ行クヲハカルタメナリ、然ルニソノアレバ、蘇軾ハソレヲ詩  
ニ作テ曰フ、(瀛得)ダイブシマシナルハ、(兒童語音好)金錢ヲ借リニキテ大概ハ都會ニオル故ニ、借  
リタル金錢ハジキニナクナルモ、小兒ヲハ都ノ言葉ヲナラヒテヨクナツタハ、(一年強半在城中)都ニ  
一年ノ半分餘モオリテ、ワカ家ニ居ヌ故也ト、(明法)法律ニアキラカナル科目ヨモツテソレノ役  
人ヲ(課試)試験ヲスレバ、蘇軾ガ詩ヲ作テソレヲ曰フニハ、(讀書萬卷)書物ヲタクサンヨミテモ、(不  
讀律)法律書ヲヨマズバ、(政君難)昔シノ弊ヲ如キヨキ天子ニイタスニハ、(終無術)ウイニイ  
タシカタガナイ、(興水利)水路ヲホドヨクスレバ、詩ヲ作テ曰フニ、(東海若知明主意)東ノウミノ神  
ガヨキ天子ノコ、ロラクミトラバ、(應教斥鹵變桑田)シホケアル土地モカハツテ桑バタケトナルデ  
アラフト、(鐵鑿)シホケアル規則ヲキビシクスレバ、ソノコト詩ニ作テ曰フニ、(豈是開詔解志求)  
孔子ハ樂ミテ肉ノアチヲ忘レタレバ、ソノコトハ思ヒモヨラス、(邇來三月食無鹽)鹽禁ノ詔出シヨリ  
ソノ後三月モ食事ニシホケガナイト、其外(餽物)モノニフレ、(即事)コトニアタツテ 言フ「ハ」以  
謗)カミソソシルヲ以テ主意トセヌ「ハ」ナイ、ソコデ蘇軾ヲトラヘテ御史臺ト云彼所ノゴクヘ入ツナ  
ギオキ、李定ト、張璪トニ云付テ(推治)オシタカシテ罪狀ヲ定メサセル、王珪ト云人ガ云ニハ、蘇軾ハ  
君ニソムクコ、ロカアル、軾ガ作リタルヒノキノ詩ヲ差出シテ曰フ、(根到九泉無曲處)キノ根ハ地ノ  
ソコノ水ノアルトコロマデイテモマカラヌガ、(世間惟有藝龍知)世間ニハソレヲ知ルモノナクレバ  
地中ニカクレ居龍ガヨク知テオルト、天子ハ(飛龍御天)時ヲウケタ龍ガ天上ニアルト同様徳ノアル  
ニ、而ルニ蘇軾ハ天上ニアル龍ニモトメズシテ、却テ地下ノ龍ニモトメル、此レソノコ、ロハ君ニソ  
ムク者デナクテナンデアルゾ、天子ノ曰フ、彼レハ自分ニ槍ノ詩ヲ詠シタルノミニテ何ニモ我レノコ  
トニ關係ガアラフゾト、天子ハモトカラ軾ヲ刑罰ニアタルニ了見ハナイ、而シテ吳充、王安禮、ラミナ  
トモ、(天子)ニス、メテ(容之)軾ノ罪ヲルサレルヨウニシナス、(獄成)罪ノ狀ハモハヤキマリ  
テアルナレバ、吳充等ノ言上ニヨツテ(有是命)黃州へ(錮禁)スル寛大ノ命令ガサガツタ、弟ノ軾モマタ

柳絮

謝大傅安雪日兒女  
ヲ樂メ自雪ノ降ル  
ハ何ニ似ルト問フ  
兄子朗曰ク鹽ヲ空  
中ニ撒スルニ似タ  
リト兄女道韞曰ク  
柳絮ノ風ニ因テ起  
ルニ似タリト

東郭履

東郭ハ東方朔ノ号  
ナリ雪中ヲ行ク履  
上アリテ下ナシ足  
盡ク地ヲ踐ム

盛雪送親知

汁中ノ風俗毎歳新  
雪ニ遇ヘハ盆子ニ  
雪ヲ盛り親知ニ送  
リ以テ喜慶トス又  
酒ヲ送テ歡飲ス

撥亂撲春蟲

東坡雪後句

職ノ罪ヲスクヒタスケルトガニアテラレテ、官ヲサケラレタ(詩案)蘇軾ノ詩ノ草稿ヲ寫スカ、リア  
ロニテ、(黜罰者)官ヲサケラレレ成ハ刑法ニカ、ルモノハ、張方平、司馬光ヲ以下二十二二人デアル、天子  
マコトニ蘇軾ヲフビシニ思ヒ、ソイテ汝州ヘウツシタ、マタモ軾ヲフタ、ピ官ニ用ヒント思ハレタナ  
レバ、(蔡確、張璪)ヲノタメ  
○吳充罷踰月而卒 吳充ト云人ガ官ヲヤメラレテ、  
一月バカリタチテ死去シタ  
○元豐

元年大正官名元豐五年官制成改平章事為左右僕射以王珪  
蔡確為之參知政事為門下中書侍郎章惇張璪為之置尙書左  
右丞蒲宗孟王安禮為之以三省統領百職中書取旨門下覆奏

尙書施行珪為相人謂之三旨宰相凡事惟曰取聖旨得聖旨則  
曰領聖旨退書之則曰奏聖旨而已上厭之確謂珪曰上久欲取

靈武公能任責則相位可保也珪喜如其言命內侍李憲等分道  
伐夏國攻靈州不克士卒死及凍餒者十五六憲上再舉之議徐

禧又議築永樂新城夏人大舉攻城城陷禧等蕃漢官及諸軍死  
者萬三千上聞奏慟哭

元豐三年ニ、大改革シテ官名ヲタマシカヘタ、元豐五年ニ、官ノ  
規則ガデキアガル、平章事ノ役名ヲカヘテ左右僕射トシ、王珪

豺祭獸

霜降日豺祭ヲナス

伯奇鼓琴

伯奇ハ尹吉甫ノ子ナリ甫後妻ノ言ヲ听キ伯奇ヲ逐フ自ラ霜ヲ履ミ無罪ヲ傷ミ琴ヲ鼓ス

鄒衍哭降霜

鄒衍燕ノ惠王ニ事ス魯ニ遊ブ時天ヲ仰テ哭ス夏六月霜下ル

堅氷至

霜ヲ履テ堅氷ニ至ル

美人虹

古ヘ夫妻アリ荒年

察確ヲ以テ左右ノ僕射トス、參知政事ノ役ヲ門下中書侍郎ト改メテ、章惇、張璪ヲ以テ其役官トス、尙書左右丞ト云フ行政官チオキテ、捕宗孟、王安禮ノ二人ヲ以テ其役人トス、中書、門下、尙書ト云三役所ヲ以テ(統領百職)諸官ヲス、(中書取旨)中書ノ役所ハ天子ノ主意ヲ取り次グ、門下ト云(役所ハ、(覆奏)諸役人ノ旨上書ヲカヘス)シラベテ奏問ス、尙書ト云フ役所ハ、(施行)政事ヲ施コスナリ、王珪カ宰相トナリテ、八カ三旨ノ宰相ト云フタ、ソノワケハ(凡事)スベテソコトガラハ、(日取聖旨)天子ノ御思召ラウカバフト云ヒ、(將聖旨)天子ノミコトノリガ下レハ、ソレチ(日領聖旨)天子ノ御思召ラウケタト云ヒ、(詔)役所ヘカヘリテソコトバツカキノセルルハ、(日領聖旨)天子ノ詔ヲウケテコトヲ行フト云ハカリナリ、天子ハコレヲイヤニ思フ、察確カ王珪ニ詔シテ云フニ、天子ハマヘカテ(武)ノ土地ヲ手ニ入ント思ハル、貴公カ宜シク征伐ノコトヲ引ケケラレタナラバ、宰相ノ位ハ(可保)イッモ身ニツキソウチ安シクアルト、王珪ヨロコビテ其コトバノトウリニシタ、(内侍吳)ツトメノ李憲ヲニ云付テ、道中スガテ手分シテ夏國ヲ征伐ス、靈州ヲセメテイクサニカタズ、兵士兵卒、ウチ死シ、ソノ上(凍餒)ウヘコヘテ死スルモノガ十八ノ中ニ五六人モアル、李憲、フタ、兵隊ヲサシムケルハカリフチ申立ル、徐禧マタ相談シテ永樂ノ新城ヲウクリテマモラシム、夏ノ兵隊ガ大勢引ツレ來テ、新城ヲセメテ、城ハウチトラレタ、徐禧ヲ始メ(蕃僕官)ニビスノ降參シテ役人トナル者ヤ、中國ノ役人及ビモロクノ軍兵ノ死スルモノ一萬三千人モアル、天子ソノ申立ヲキ、(慟哭)カナシミニナ

○富弼上遺表言忠諫杜絕詔諛日進興利之臣爲國歟

怨又言西事大可憂望留聖念弼早有公輔之望名聞夷狄遠使

每至必問其出處安否忠義之性老而彌篤家居一紀斯須不忘

朝廷至是薨

富弼ガ死ニキハノ書面ヲ天子ヘタテマツル、ソノ旨ニ(忠諫杜絶)天子ノタメスル(興利之臣)利慾ヲハカル役人ハ、人民ヨリ(歛怨)ウラミラトル、又イフニ、(西事)西夏ノイクサハ大ナル心配デアル、仰ホキ願クバ(留聖念)ヲ氣ヲ付ケラレタシ、富弼ハヤクカラシテ(有公輔之望)執

奎星

靈儀推歩星曆ニ替シ庶多遙揚微之ニ謂フテ日ク丁卯ノ歳五星奎ニ聚ルメシ奎ハ文明ヲ主ルメ此ヨリ天下始メテ大平ナリ

居諸

日月ヲ云フ

五嶽

東嶽ハ泰山西嶽ハ華山南嶽ハ衡山北嶽ハ恒山中嶽ハ嵩山ナリ

五湖

鄱陽湖ハ鄱州ニアリ青草湖ハ岳州ニアリ丹陽湖ハ潤州ニアリ洞庭湖ハ鄂州ニアリ有

菜色シテ死ス俱ニ化シテ青糝トナル云フ

政役トナル人望ガアル、ソノ評判ハ短キモヒスノクニマデモキコヘワタル、遠國ノ使者朝廷ヘクルタビニ、ゼヒ富弼ノ(出處安否)出テ役ヲラントメシカ引テ隱居セシカ、サテハ病氣デアアルヲ尋ツ子ル、(忠義之性)君ノタメ國ノタメヲ思フ心ハ、年老テダシクト手アツシ、隱居シテ家ニオル、(一紀)十二年ナリ然ルニ(斯須)シバシバノ間モ、朝廷ノコトヲ思ハヌ日ハナイ、コトニナツテ死去シタ

○宰相同對上有無人才之歎蒲宗孟曰人才半爲司馬光邪說

所壞上不語視宗孟久之曰蒲宗孟乃不取司馬光邪宗孟尋罷

司馬光資治通鑑成上即位之初己嘗御製序至元豐七年書始

上初官制將行上欲取新舊人兩用之曰御史大夫非司馬光不

可蔡確曰國是方定願少遲之既而上有疾又曰來春建儲當以

司馬光呂公著爲師保公著夷簡子也在位十八年改元者二曰

熙寧元豐厲精求治日昃不暇食平生不御畋游不治宮室惟

勤惟儉將以大有爲也奈何濶寧以來誤於安石元豐以後用事

者終始皆安石之黨竟爲天下患憤北狄倔强慨然有恢復幽

燕之志欲先取靈夏滅西羌乃圖北伐及安南失律喟然歎赤子

ニアリ太湖ハ蘇州ニアリ

金谷園

晋ノ石崇此園ヲ作リ亭館ノ宏麗ヲ極メ王謝潘丘ノ輩ニ十四人ト會宴ス

藏春塢

宋ノ刀納致仕シテ作り日ニ其中ニ遊ブ

芙蓉園

魏ノ文帝之ヲ開キ多ク芙蓉ヲ植コ

梁園

梁王屯園ニ遊ブ雪降ル司馬ヲシテ梁園ノ賦ヲ作ラシム

以下次卷

無罪而死永樂之敗益知用兵之難始息念征伐卒無一事如意  
崩年三十八皇太子立是爲哲宗皇帝

マニアフ人物ガナキゾナケカハシト、補宗孟ガ曰フ、ヨキ人物ハ半分ホト司馬光ガ(邪説)スゾ道ニタガフタ説ニ從テソコナハレタト、天子ソノコトバニ返答セズ、宗孟チナガメシル(久之)シバシ、テ曰フニ、補宗孟ヨソノ方ハ司馬光ノヤウナ人物ヲトラスカト、宗孟ソノ後免役シタ、司馬光ノ編集スル資治通鑑ト云フ書物ガデキタ、天子ノ位ニツカレタルハジメ、モハヤ以前(御製序)天子ノ認メシ序文アリ、元豐ノ七年ニナワテ、通鑑ヲハジメテ朝廷ヘ献上シタ、此ノ以前ニ新規改制ノ役員ヲトリ定ントス、天子ニハ(新舊人)新シキ人物ト、以前ヨリ出仕ノ人物ト取り交ゼ用ヒント思フテ曰フ、御史大夫ノ役ハ司馬光デナケレバ(不可)マニアハヌト、蔡確ガ曰フ、(國是方定)一國ノ輿論ガ正シクキマツテアル故ヘ願クハ光ヲ用フルコトハ少ク延引シタシト、トヤカクスル内天子病氣ニカ、ル、天子又曰フニ、來年ノ春ハ(建儲)太子ヲ立ツルハツナリ、ツイテハナシテモ司馬光、呂公著ヲ以テ(師保)ツキモリノ役ト致サバナラヌト、公著ハ夷簡ノ子デア、天子位ニアルコトガ十八年、年號ヲカヘタコトガ二回、熙寧、元豐ト曰フ、(風精求治)心ヲコメテ大平ヲイノル、(日昃)日影ノクレルマデモ食事ノヒマガナキトホ勉強セラル、(平生)ソノ子(不御政務)カリアンビニ行カレヌ、(不治宮室)御殿ノフシシラセズ、タヤ政事ニツトメ、タヤ事物ニケンヤクシテ、(將)コレカラシテ大ナル改革ヲセントス、(奈何)ナントモシカタノナキハ熙寧年間ノ後、王安石ニタマサレ、元豐年間以後ノ政事ヲトルモノハ、アトサキミナ王安石ノナカマノモノニテ、ソマリ國家ノナシキトナツタ、北方ノエビスノ(僞強)ムヤミニツヨキヲ立腹シテ、(慨然)ナゲキ奮發シテ、幽、燕ノ國々ヲ(恢復)トリ戻サント思ヒコム、ツイテハ先ツ一番ニ靈、夏ノ地ヲセメトリ、西羌ヲセメホロボシテ、北方ノエビスヲ征伐セント思フ、(安南失律)沈起、劉葵ガ安南ヲウチ、軍律ヲ取り亂シテ敗北スルニツキ、(嗚然)フビシニモ、(赤子)百姓ノトガモナクシテ殺サレタルヲナゲキ、永樂ノトキノ敗北ヨリハ、猶更イヨク兵ヲ用ヒ征伐スルノナシギヲ知り、ハジメテ征伐スルノ念慮ヲヤメタ、ソマリ一ト事モ思ヒノマ、ニナルコトナシ、死去セラレタル片年ガ三十八、皇太子ガ位ヲツグ、是ヲ哲宗皇帝トナス

明治十九年五月廿八日板權免許  
同 年十一月 日出板

定價金三拾五錢

口述者

藤江卓藏

筆記者

兵庫縣士族

小西兵之助

出版人

阪井省三

同

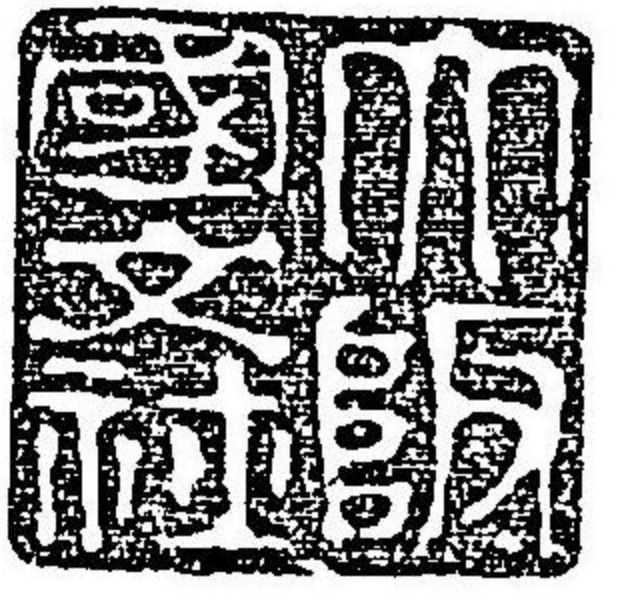
藤江逸志

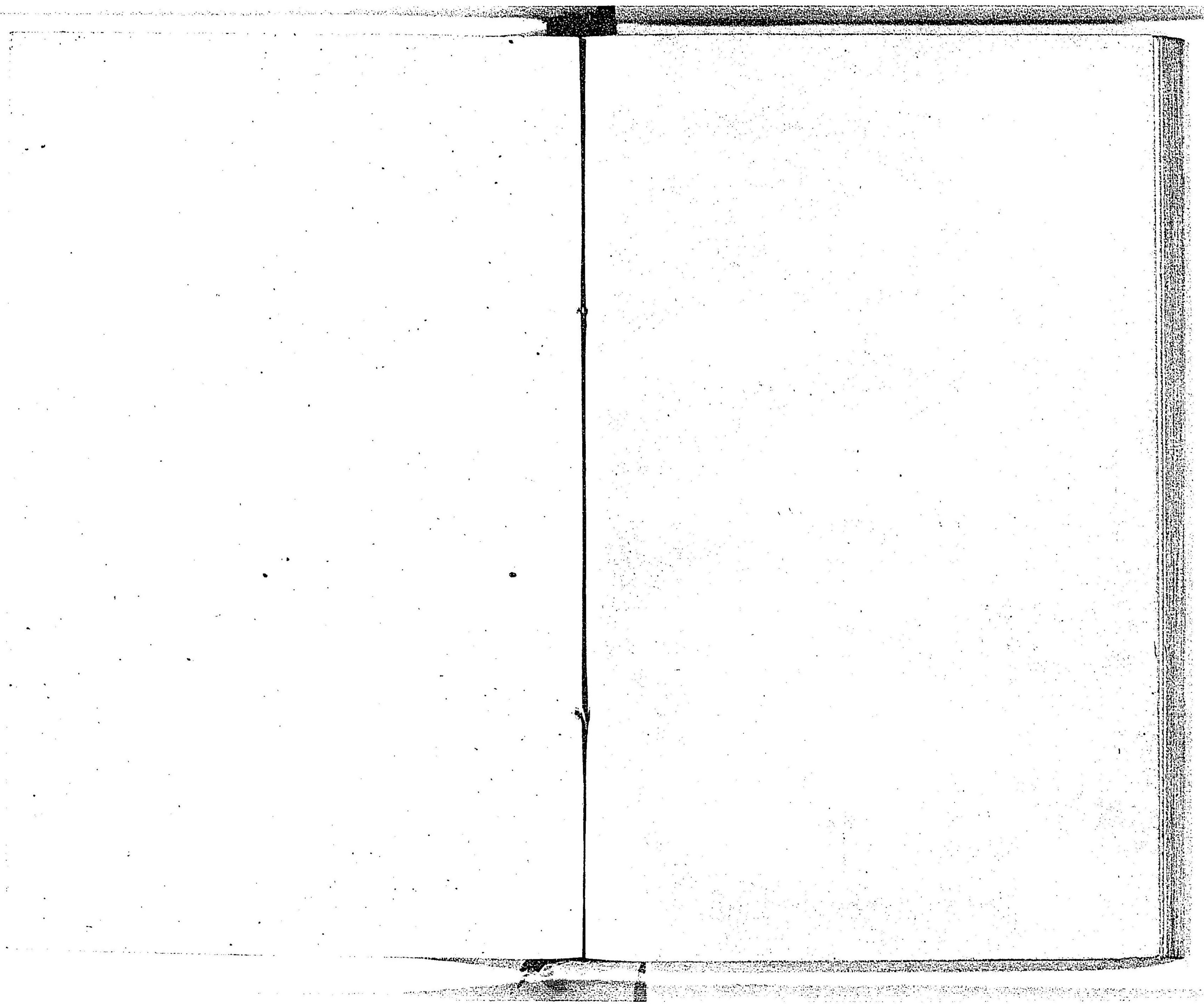
印刷兼發賣所

大阪國文社

大阪東區本町一丁目十七番地

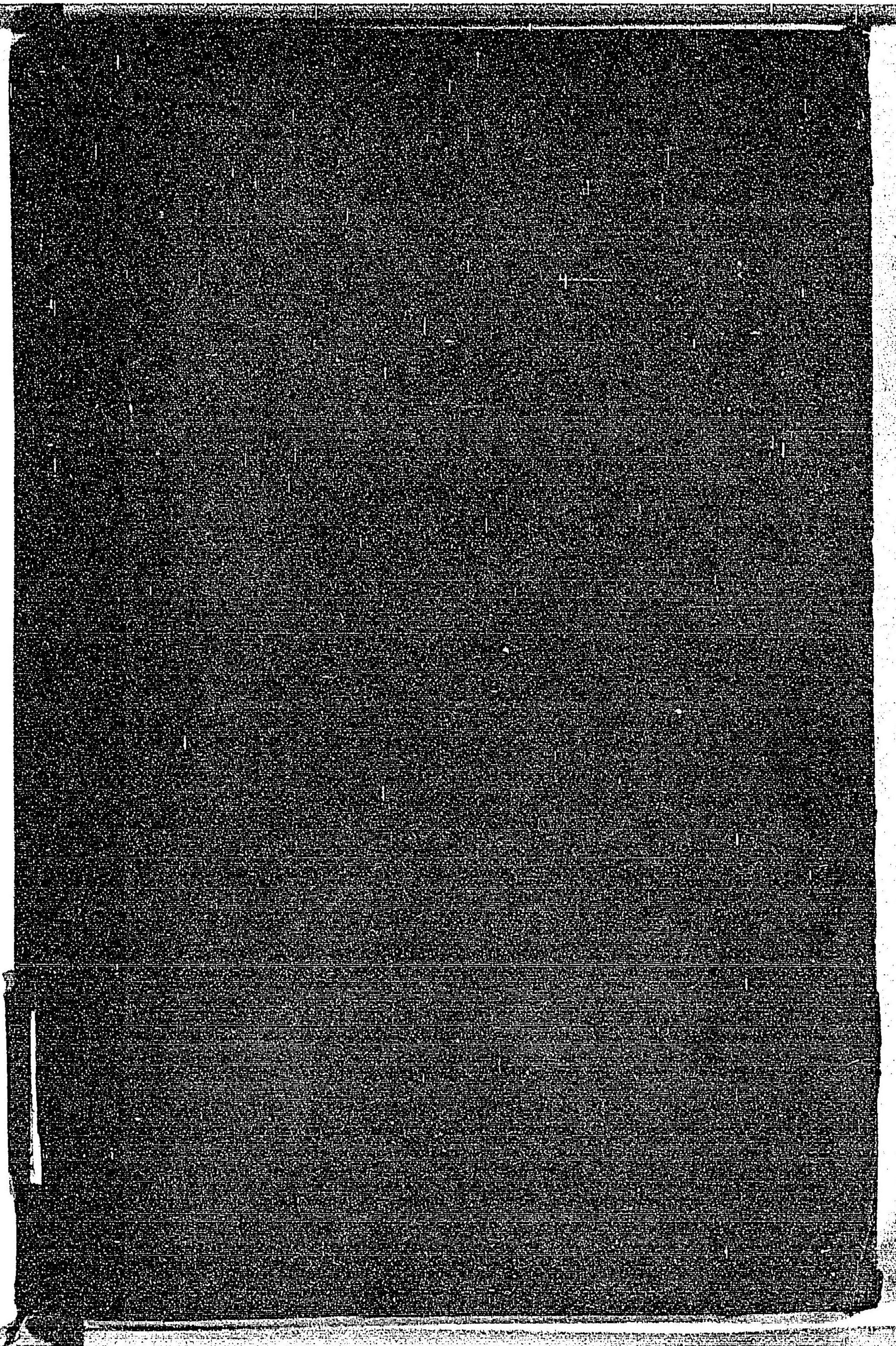
西成郡川崎村四百九番地







大日本製本會  
第 108 號  
昭和 26 年 7 月



293

11

